

OKI

溶剤インク カラーインクジェットプリンター

IP-7900-22/23

基本操作ガイド

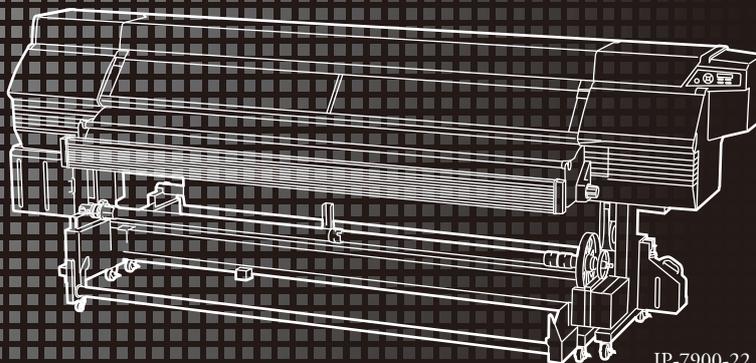
ご使用前に、本書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。

また、お読みになった後も、必要なときにすぐに見られるよう、大切に保管してください。

1

Document number

ColorPainter H3-104s



IP-7900-22

印刷する前に

印刷してみる

メンテナンス

こんなときには

ふろく

Copyright© 2014 株式会社沖データ
無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

「JISC61000-3-2 適合品」

JISC61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

警 告

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条等

はじめに

このたびは、IP-7900-22/-23 溶剤インク カラーインクジェットプリンター（以後、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、USB インタフェースを搭載し、104 インチ幅までのメディア対応の溶剤インクを採用したカラーインクジェットプリンターです。

本書、「**IP-7900-22/-23 溶剤インク カラーインクジェットプリンター 基本操作ガイド**」では、本機の特徴や各部の名称など、ご使用前に知っておいていただきたい情報と電源のオン/オフやメディア・インクのセット方法など基本的な取扱いについて説明しています。

本書に記載の次の事項は、本機を正しく安全にお取り扱いいただくために、本機をご使用になる前に必ずお読みください。

- ・ **安全にお使いいただくために**
- ・ **納入品**
- ・ **マニュアルの表記について**

また、本書はお読みいただいた後も、必要なときにすぐ見られるよう、大切に保管してください。

本書は、FW バージョン 5.00 以降、CP_Manager バージョン 2.70 以降に対応しています。

目的別もくじ



基本操作ガイド

本機を初めて使う場合にまずはお読みください。
メディアのセット方法、印刷から印刷物の回収、使用後のメンテナンス方法など、日常的な使用方法を説明しています。

とりあえず印刷したい！

参照ページ
📖 24 ページ

いろんなメディアで印刷したい！

📖 50 ページ

両面印刷をしたい！

📖 56 ページ

プリンターのメンテナンス方法は？

📖 60 ページ

インクカートリッジを交換したい！

📖 129 ページ

廃インクボトルを交換したい！

📖 127 ページ

エラーメッセージが表示された！

📖 116 ページ

メディアジャムになった場合は？

📖 115 ページ



応用操作ガイド

細かい設定や調整など、本機の性能を十分に発揮させ、効果的に本機をご使用いただくための内容を説明しています。

プリンターの細かい調整をしたい！

参照ページ

📖 74 ページ

メディアを登録したい！

📖 26 ページ

印刷物にスジ、カスレ、ニジミがある！

📖 55 ページ

長時間プリンターを OFF にしたい！

📖 8 ページ

シートメディアに印刷するには？

📖 42 ページ

印刷中にヒーターの温度を変えたい！

📖 69 ページ

もくじ

はじめに	3
安全にお使いいただくために	7
機器上のシンボルの説明	7
マニュアルの表記について	12
納入品	14
使用条件	16
◆設置スペース／保守スペース	16
◆使用環境	17

印刷する前に 18

各部の名称とはたらき	18
◆本機前面（排紙側）	18
◆本機背面（給紙側）	18
◆本機内部	19
◆操作パネル	20
◆ヒーター	20
オンラインとオフライン	21
◆オンライン	21
◆オフライン	21
CP_Manager について	22
パネルの操作	22
付加機能	22
印刷できるメディアの特徴	23
◆塩ビ	23
◆ターポリン	23
◆メッシュターポリン	23
◆電飾ターポリン（FF）	23
◆ソルベント用コート紙	23

印刷してみる 24

メディアジャム注意点	25
印刷までの基本操作	26
◆印刷のながれ	26
メディアの取り外し	44
◆排紙側のメディア	44
◆給紙側のメディア	47
◆スクローラフランジの取り外し	49
メディアを変えて印刷する	50
◆このメディアで印刷したい	50
◆メディアをたるみ巻きで巻き取る場合	52
両面印刷する	56

メンテナンス 60

日常メンテナンス	60
開始前のメンテナンス	66
◆メディアのしわ確認	66
◆開始前のメンテナンス実行	67
◆スピットケース／スピットユニットの交換	68
◆ダストフィルターの交換	71
◆排気ファンフィルターの交換	74
◆キャリッジのクリーニング	77
◆外装（フロントカバー）のクリーニング	79
◆スピット液の補充	81
◆メディアエッジガードの清掃	83
◆ワイパークリーニング液補充	85
◆ワイパーブレードのきず、汚れ確認	87
◆ヘッドガード汚れ確認	89
◆自動印刷調整用のセンサー表面の清掃	92
◆キャッピングユニットの清掃	95
◆廃インクボトルのチェック	98
◆ツウジョウクリーニングの実施	99
◆ノズルプリントの実施チェック	101
◆ノズルマップの設定	103
その日使い終わったら	104
◆シートマウントクリーニング	105

こんなときには 112

故障？と思う前に	112
メディアジャムの処理のしかた	115
エラーメッセージが表示されたとき	116
印刷中にインク切れになったとき	121
スキューが検出されたとき	122
メディアのしわが検出されたとき	123
警告メッセージが表示されたとき	125
本機を移動させたいとき	126
廃インクボトルの交換	127
インクカートリッジの装着・交換	129
ワイパーブレードの交換	131
ワイパークリーニング液の交換	135

ふろく 138

基本仕様	138
消耗品	139
オプション	141
サービス拠点	143
◆本機に関するお問い合わせ	143
索引	144

安全にお使いいただくために

本書では、本機を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意を喚起しています。

これらの記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解して、これらの記号が表示されているところの記載事項については、必ずお守りください。

 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
左の表示例は安全上の「警告または注意事項」があることを表しています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左の表示例は「分解禁止」を表しています。



●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。
左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。

この装置は、子供がいる可能性が高い場所での使用には適していません。

機器上のシンボルの説明



高温になることがあるため触れないように注意していただくための表示です。



警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからお使いください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしてください。火災や感電の原因になります。



本機をアース接続してください。アース接続されないと使用しますと、万一漏電した場合は火災や感電の原因になります。



電源コードを接続するときは、電源プラグを根本まで押し込んでください。また、電源コードをはずすときは、プラグ部またはコネクタ部を持ってください。コードを引っ張るとコードに傷が付き、火災や感電、故障の原因になります。



変換プラグは使用しないでください。



本機を分解したり、改造したりしないでください。事故や故障の原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工、加熱したりしないでください。また、束ねたり、重い物をのせたり、引っ張ったりしないでください。破損した電源コードを使用し続けると火災や感電、故障の原因となります。破損した場合は新しいものに交換してください。



湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。火災や感電や故障の原因になります。



本機の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼさないでください。火災や感電、故障の原因になります。



濡れた手で、電源コードなどを接続したり、はずしたりしないでください。感電の原因になります。



次のような場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サービス拠点に修理をご依頼ください。異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。また、お客様による修理危険ですから絶対にお止めください。

◇異臭がする、発熱した、煙が出た、または異常音が発生したとき

◇本機の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入ったとき

◇サービス拠点で対処する異常が発生したとき



インクカートリッジおよびサブカートリッジは、絶対に火気に近づけないでください。引火した場合は、火災の危険があります。



インク、保管液、洗浄液、キャップクリーニング液ワイパークリーニング液、廃インクは飲んだり、目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。

もし目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。

また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず直ちに医師の手当てを受けてください。



本機をぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。



本機のヒーター部は高温になります。やけどに注意してください。



インクカートリッジ、サブカートリッジおよび廃インクボトルは、子供の手の届かない場所に保管してください。



注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからお使いください



手のはさまれたり、巻き込まれたりする可動部の周辺では、注意して作業してください。



作業場所は換気をしてください。換気しないとインクの臭いで気分が悪くなる恐れがあります。気分が悪くなったときは、風通しの良い場所で安静にしてください。



ロールメディアおよびスクローラは重いので、取り扱うときは台車などの運搬器具を使って、落としたりしないように注意してください。足の上に落としたりすると、けがをする恐れがあります。



インクが肌や衣服に触れないように注意してください。インクが肌に付着した場合は、直ちに石鹸と水ですぐに洗い流してください。

注意

◆ ロールメディアは重量物ですので、保管には安全対策を施してください。転がったり、倒れたりするとケガにつながる場合があります。

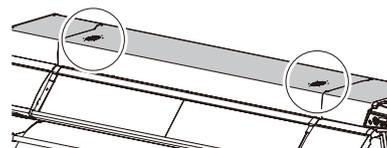
このほか、各項で示す警告、注意事項についてもお守りください。

電源についての注意

1. 本機はコンセント近傍に設置し、緊急時に電源プラグを抜くために、そのコンセントへは容易に手が届くようにしておいてください。
2. モーターなどのノイズ発生源となる機器と同じ系路から、電源をとらないでください。
3. ご使用電源は、本機やオプションの仕様に合わせてお使いください。
4. 一ヶ月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。
 - ①電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていること
 - ②電源プラグの端子やコンセントに細かい埃がついていないこと。埃は乾いた布で除去してください。

プリンター本体についての注意

1. 本機の上に物を置いたり肘をついたりしないでください。特に図の排気口をふさがないように注意してください。
2. 無理な力をかけたり衝撃を加えないよう丁寧に扱ってください。
3. 印刷中は、フロントカバーを開けたり、加圧操作ノブを開放しないでください。印刷が終了してしまいます。
4. カバーの表面をベンジン、シンナーなどで拭かないでください。塗装がはげたり変質することがあります。また、カバーの汚れは柔らかい布などで軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布でよく絞ってから拭き取ってください。そのまま放置すると、装置の表面塗装がとれてしまう場合があります。
5. 弊社指定外の付属品、オプションの使用は、画質等に影響を与えるばかりでなく、故障の原因になり、保守ができなくなりますので使用しないでください。



本機のメンテナンスについての注意

溶剤インクの性質上、定期点検保守を必ず行ってください。(詳細は、 60 ページ「メンテナンス」以降のメンテナンスを参照してください。)

1. 毎日、作業開始前は、開始前のメンテナンスを行ってください。
2. 以下の内容は特に注意してください。
 - ワイパークリーニング液、スピット液は、定期的に補充してください。
 - 1ヶ月毎にシートマウントクリーニングキットA (IP7-225) を使ってプリントヘッドのクリーニングを行ってください。
 - プリントヘッドは、精密機器です。ノズル面の直拭きはしないでください。
3. 本機を長時間(2週間以上)電源断状態で放置する場合は、サービスクリーンを行ってください。
4. サerviスクリーンを行い、本機が放置され、再びプリントする場合には、必ずヘッドウォッシュとインク充填を行ってください。

消耗品についての注意

1. 指定のインクを使用してください。指定のインク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担となります。
2. インクには、品質確保のため有効期限が設定されています。それぞれの消耗品については有効期限内にお使いください。有効期限を過ぎた消耗品を使用すると、故障の原因となります。
3. 使用後のインクカートリッジおよび廃インクは、産業廃棄物として処理してください。また条例などで処理方法に規制がある場合は、その規則に従って処理してください。
4. インクは、冷暗所に未開封の状態で保管してください。絶対に高温や直射日光のあたる場所には保管しないでください。印刷品質が低下する場合があります。
5. インクカートリッジおよびサブカートリッジは分解・改造は行わないでください。故障の原因になります。
6. インクカートリッジおよびサブカートリッジを落としたり、強く叩いたりしないでください。インクが漏れる場合があります。

メディアについて

■ メディアの種類

以下に示す種類の溶剤インク用市販メディアをご使用いただけます。ただし、設置環境やメディアのロットなどにより、印刷条件が変わる場合があります。事前に印刷テストをすることをお勧めします。

詳しくは、弊社営業所または、代理店にお問い合わせください。

- 塩ビ
- ターポリン
- メッシュターポリン
- 電飾ターポリン (FF)
- ソルベント用コート紙

■ メディアを保管する際の注意

- メディアを保管する際は、開封前／開封後に関わらず、直射日光や水濡れを避け、ほこり等が付かないよう梱包箱（袋）に入れて冷暗所にて保管してください。
- 急激な温湿度変化を避け、結露しないように保管してください。
- 立てた状態で保管すると、ロールの自重によって巻きずれが起こったり、メディア端部が傷つく場合がありますので、ご注意ください。
- ロールを積み重ねないでください。
- ロールメディアは重量物ですので、保管には十分気な安全対策を施してください。ロールメディアが転がったり、倒れたりするとケガにつながる場合があります。

■ メディアを廃棄する際の注意

- メディアおよび印刷物を廃棄する際は、廃棄地域の実態に合わせて、分別、回収、廃棄処理してください。また条例などで処理方法に規制がある場合は、その規則に従ってください。

■ メディアを使用する際の注意

- 開封した状態での温度湿度変動は避けてください。使用環境に3時間以上馴染ませてから、セットしてください。またエアコンのオン／オフによる湿度の変動にもご注意ください。
- メディアの特性上、低湿下ではカールが、高湿下ではシワが発生しやすくなります。常温常湿（23℃ 50% RH 付近）にてご使用ください。
- メディアに傷、シワ、めくれ、あるいはゴミの付着がある場合は、その部分を使用しないでください。特にメディアのエッジ（両端部）はメディア搬送上重要なので、傷んだメディアは使用しないでください。また、落下させたり、水などに濡らしたりしないでください。画質等に影響を与えるばかりでなく、故障の原因になる場合があります。
- 印刷面に手を触れず、余白部を持つようにしてください。手の皮脂や汗などの付着により画質が劣化する場合があります。
- セット時に、ロールに巻きずれが生じることがあります。ずれを修正してから使用してください。

■ 印刷物を取り扱う際の注意

- インクが乾燥するまでは印刷面に触れないでください。取り扱い時は余白部を持つようにしてください。印刷後、24時間以内は特にご注意ください。
- 印刷面をこすると色落ち、色移りします。また印刷面同士を重ねると色移りする場合がありますので重ねないでください。
- コピーやレーザープリンターなどの印刷物と重ねないでください。インクまたはトナーなどにより貼り付く場合があります。
- 表面を強くこすったり、引っ掻いたりした場合や、メディアを折った場合は、印刷面が剥がれることがあります。
- 水に濡れた状態でこすったり、放置したりすると、印刷がにじんだり、落ちたりすることがあります。

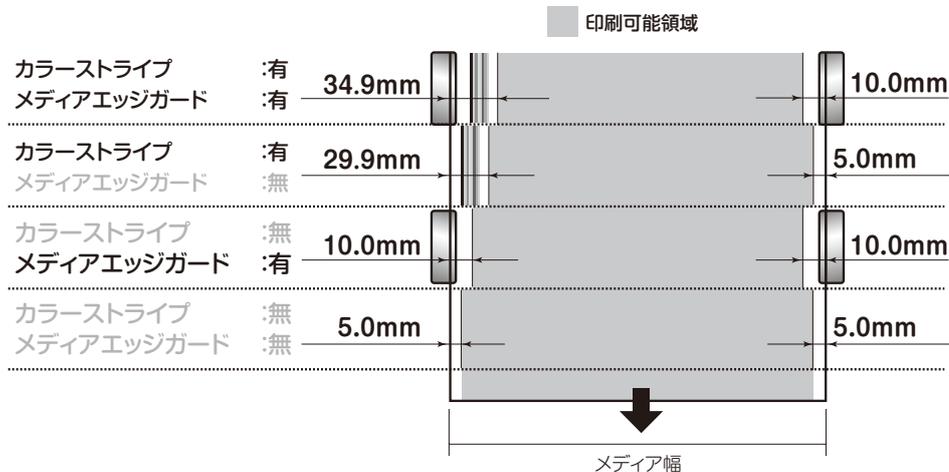
■ その他の注意

- メディアは古くなるにつれ色褪せ、変質します。メディアの状態を確認し、状態のよいものをお使いください。
- メディアを切断すると紙粉などが発生し、ラミネート浮きの原因になる場合がありますので、ご注意ください。
- 糊付きのメディアを使用した際に、プラテン等に粘着剤（糊）が付着することがあります。その場合は、中性洗剤を湿らせた柔らかい布できれいに拭き取ってください。粘着剤がつくと、ジャムの原因になる場合があります。

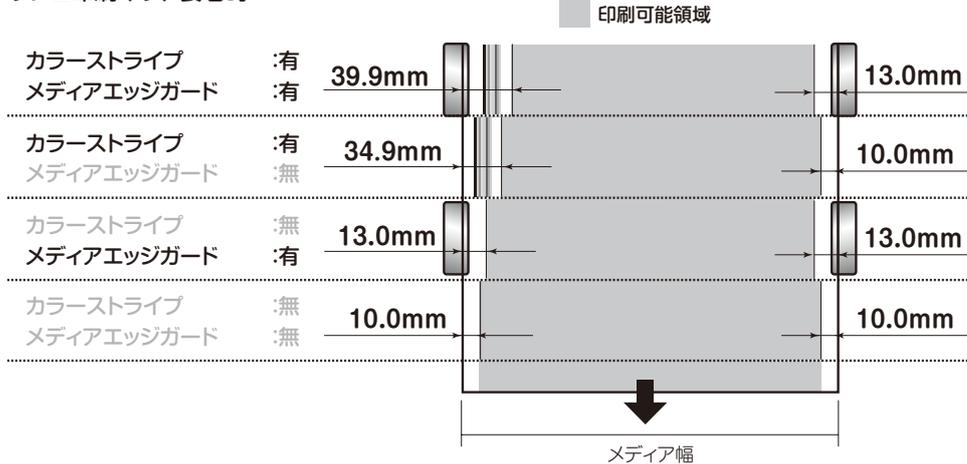
■ メディアの印刷可能領域

メディアの印刷可能領域（主走査方向）は、メディア幅とメディアエッジガードの有無、カラーストライプの有無で決まります。通常はエッジガード有・カラーストライプ有の条件で左端から 10.0mm 内側・右端から 34.9mm 内側が印刷可能領域です。ただし、オプションのメッシュ印刷キット装着時あるいはプラテンシート添付の幅広エッジガード装着時は印刷可能領域が変わります。

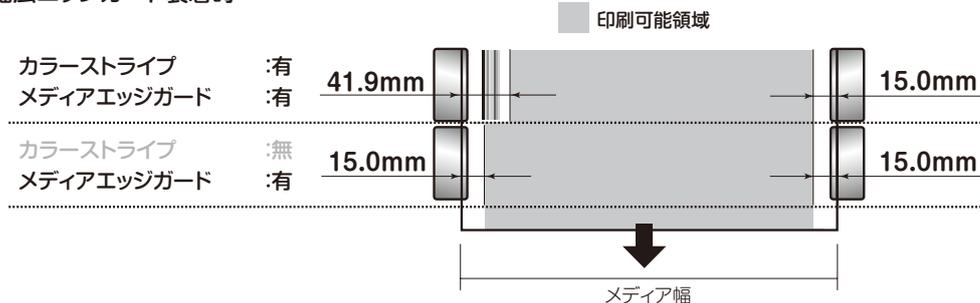
・オプション未装着時



・メッシュ印刷キット装着時



・幅広エッジガード装着時



マニュアルの表記について

本書で説明に使用する、マーク、キー／LCD／LEDなどの表記ルールを以下に示します。

マーク表記について

警告

◆「安全にお使いいただくために」における「警告」に相当する内容を説明しています。

注意

◆「安全にお使いいただくために」における「注意」に相当する内容を説明しています。



参考文

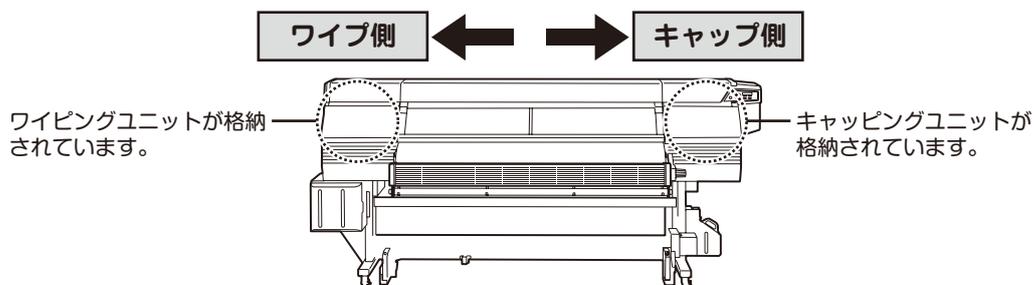
◆ 知っておくと便利なこと、操作などの補足事項、重要な操作を記載しています。

📖 「参照」マークです。
このマークの後に、参照項や参照ページを示しています。

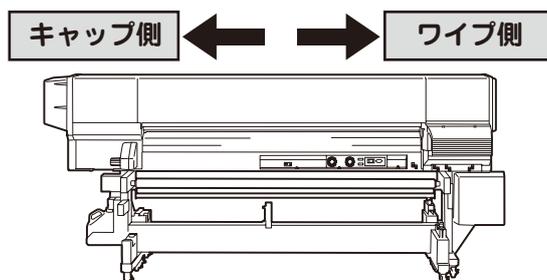
「キャップ側」、「ワイブ側」について

本書では、本機の左右方向を下図のように表記しています。

■ 本機前面（排紙側）から見た場合



■ 本機背面（給紙側）から見た場合



サンプルページ

操作パネルのLCDをあらわします。

◆ スピット

■ 作業場所

■ 使用する消耗品

手袋 スピットケース スピット液A スポイト

表面の汚れ具合を目安として、3ヶ月に1回、スピットケースを交換してください。スピットケース交換時に、スピットユニットおよびチューブのセットをお持ちの場合は、合わせて交換をしてください。(IP7-167には、スピットケース4個に対しスピットユニット1個、チューブが1本ついています) また、スピット液も同時に交換してください。

こんなときは換えます

- ◆ スピットケース 表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている時が交換時期です。

操作メニューから「スピットケース/スピットユニットの交換を実施する場合、手順1から始めてください。[#カインマエメンテナンス] から実行する場合は、手順4から開始します。3ヶ月または、2.5 Km) 行すると、開始前のメンテナンスのガイダンスで交換が促されます。

1. [全バットフード/クリーニング] [フィード/サビ] キーを押す

2. [カインマエメンテナンス] キーを押して「#メンテナンス」を選択する

3. [メンテナンス] [スピットケース/ユニット] キーを押す

4. [カインマエメンテナンス] キーを押す フロントカバーを開ける

5. [スピットユニット交換] YES: [OK] / NO: [CANCEL] キーを押す 手順6以降の交換が完了したあとに [OK] キーを押す

6. [スピットユニット交換] キーを押す フロントカバーを開けてから、キャップカバーを開ける

7. [スピットユニット交換] キーを押す スピットユニットのツマミネジ1本を外し、スピットユニットを取り外す

8. [スピットユニット交換] キーを押す 新品のスピットユニットを取り付ける

9. [スピットユニット交換] キーを押す スピット液が入っているケースの手前のノブを押して外し、手前を持ち上げてスピット液を奥側へ排出する

排出したスピット液は、廃液ボトルに入ります。排出が終わったら、スピット液のケースは元の位置へはめ込んでください。

注意

◆ 手袋を付けて作業を行ってください

キー操作なしにLCD画面が矢印方向に自動的に変わることをあらわします。

PDF上でこのアイコンを押すことで、作業の動画が見れることをあらわします。

キー操作を行うことでLCD画面が矢印方向に変わることをあらわします。

サイドインデックスです。
表紙のインデックスと連動しています。
(右ページのみ)

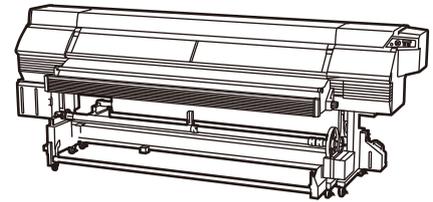
印刷する前に必ずご確認ください

納入品

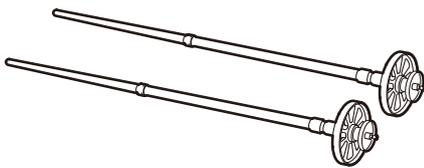
本機の種々構成部品は、オプションを含め本機の据え付け時に、全て本機に取り付けられます。次のものが納入されますので確認してください。

万一、不足品や破損品があった場合は、お買い上げになった販売店または最寄りのサービス拠点にお問い合わせください。

- 基本構成品 プリンター本体 <1台>
 - ・ USBインタフェース搭載
 - ・ 給紙装置、巻き取り装置付き



■ 同梱品



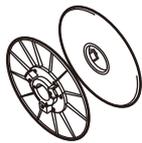
スクローラ
<2本>



紙管104" (巻き取り装置用)
<1本>



ペーパーセットゲージ
<1個>



紙管フランジ
<2個>



スペーサーラバーA,B,C
<各1個>



固定リング
<2個>



廃インクボトル IP6-109
<1個>



テンションバー
(ギヤ付き 1本)
(ギヤなし S: 2本, M: 1本, L: 1本)
(ギヤなし L(light): 1本)
<3本>



テンションバー用フランジ
<2個>



テンションバー用フランジ(ねじ付き)
<1組>



テンションバー用ジョイント
<2個>



+ドライバー



廃液ボトル (ワイパークリーニング液)
IP5-299
<1個>

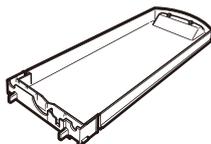
■ 付属品



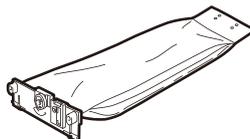
電源コード
<2本>



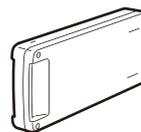
USB2.0ケーブル
<1本>



インクトレイ
IP7-123
<8個>



ダミーカートリッジ
<8個>



サブカートリッジ
<8本>
Y, M, C, K, Lm, Lc, Gy, Lgy (各1個)



ダストフィルター
<1ロール>



ワイパークリーニング液A
<一式>
ワイパークリーニング液A (300ml) : 2本



スピット液A
<一式>
スピット液A (300ml) : 1本



漏斗
<1個>



日常メンテナンスキットA
IP7-230
<一式>
・キャップクリーニング液A :300 ml
・ワイパークリーニング液A :200 ml
・スピット液A :100 ml
・クリーニング棒 :10本
・クリーニング棒(大) :30本
・スポイト :10個
・ピンセット :1本
・スピットケース :1個
・手袋 :30個
・袋 :1包



排気ファンフィルター
<12枚>



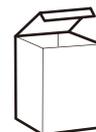
クイックリファレンスガイド
<1部>



CD-ROMインストール手順書
<1部>



CD-ROM
<1部>

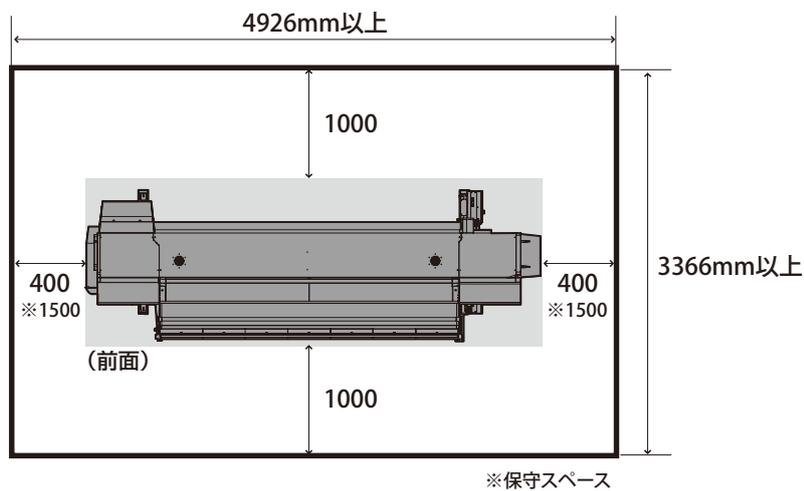


シートマウントクリーニングキットA
IP7-225
<一式>

使用条件

◆設置スペース／保守スペース

本機の前後左右には、消耗品の交換や出力物を処理するためのスペース、換気のためのスペースなど、通常運転時に必要なスペースだけでなく、故障の修理で部品を交換するためのスペースが必要となります。下図に示すスペースを確保してください。



高さ方向:2200
(単位:mm)

◆使用環境

■ 使用温湿度範囲

本機は、下記の温湿度範囲内でお使いください。

温度：15℃～30℃
湿度：30%～70%

- より良い画質を得たい場合は、20～25℃の範囲でお使いいただくことを推奨いたします。20℃未満で印刷する場合、印刷速度が落ちる場合があります。
- 安定した印刷品質を得るために、プリントヘッドの温度が40℃を超えた場合は、印刷速度を落として印刷します。

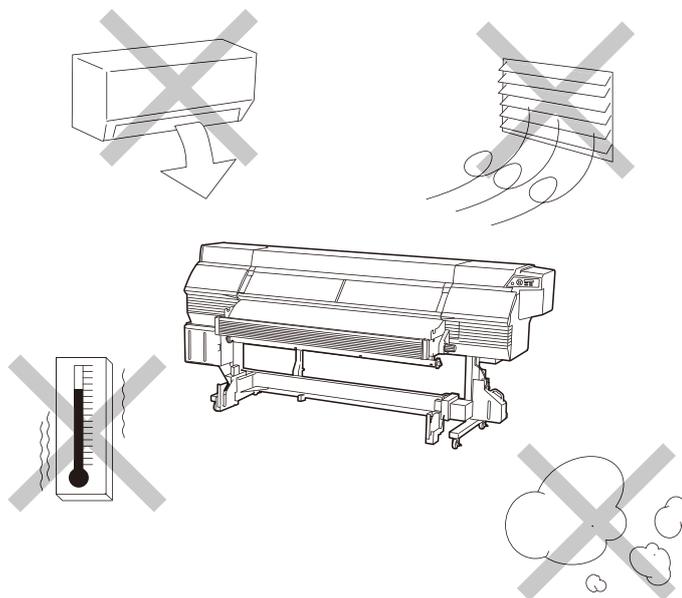
! 注意

- ◆ 使用温湿度範囲外で使用した場合、印刷が停止したり、画質が乱れることがあります。

■ 設置禁止環境

次のような場所には設置しないでください。

- 火の近くの場所
- 直射日光が当たる場所
- 振動のある場所
- ホコリの多い場所
- 温度、湿度の変化の激しい場所
- 冷暖房機器の近く
- 水のかかる可能性のある場所
- 通風口などからの風が当たる場所
- ジアゾ複写機などから発生するアンモニアガスの影響が強い場所
- 換気の悪い場所
- 不安定な場所

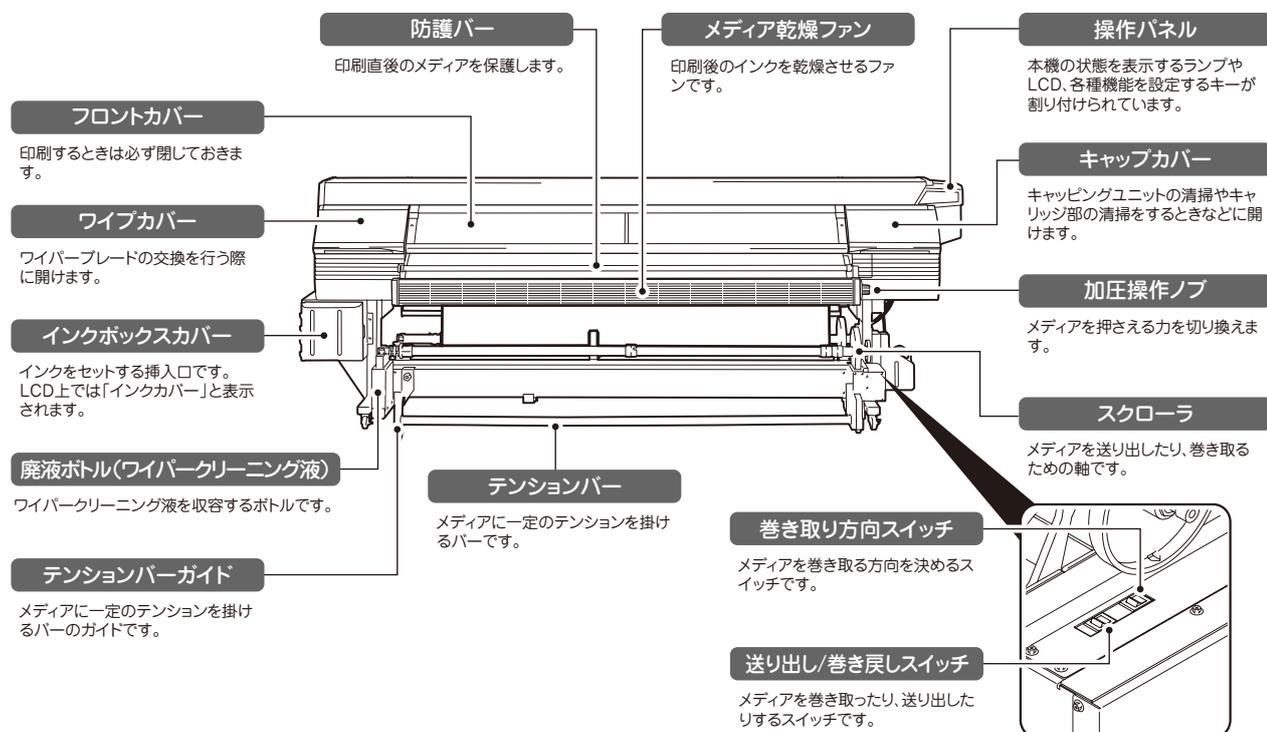


印刷する前に

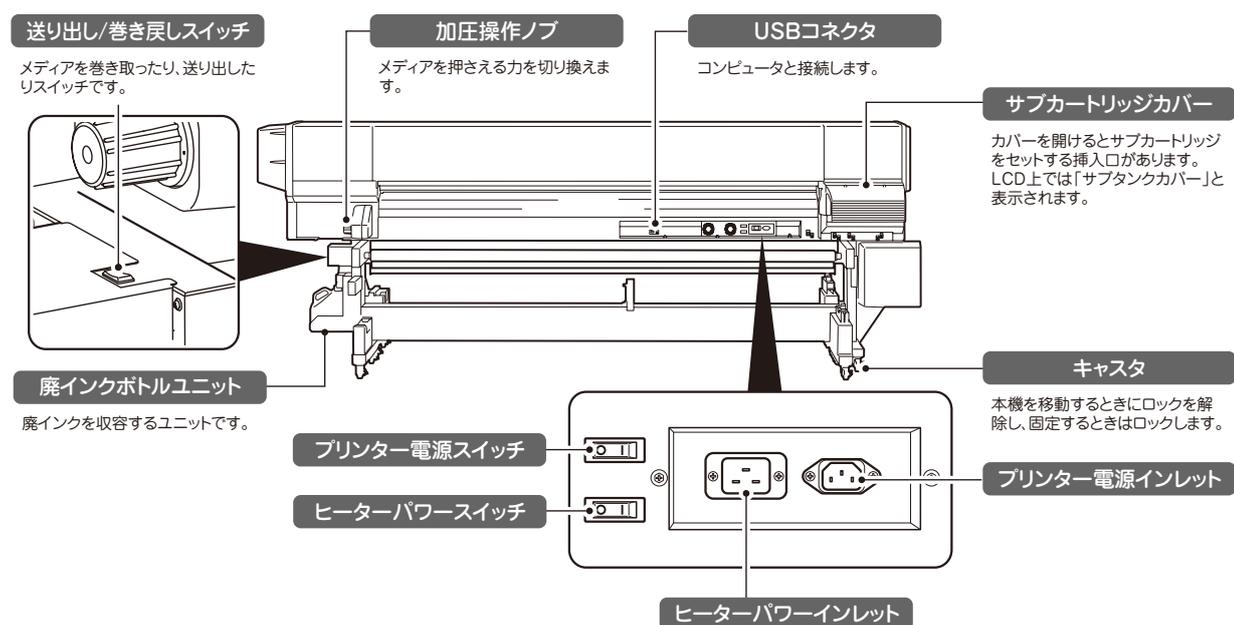


各部の名称とはたらき

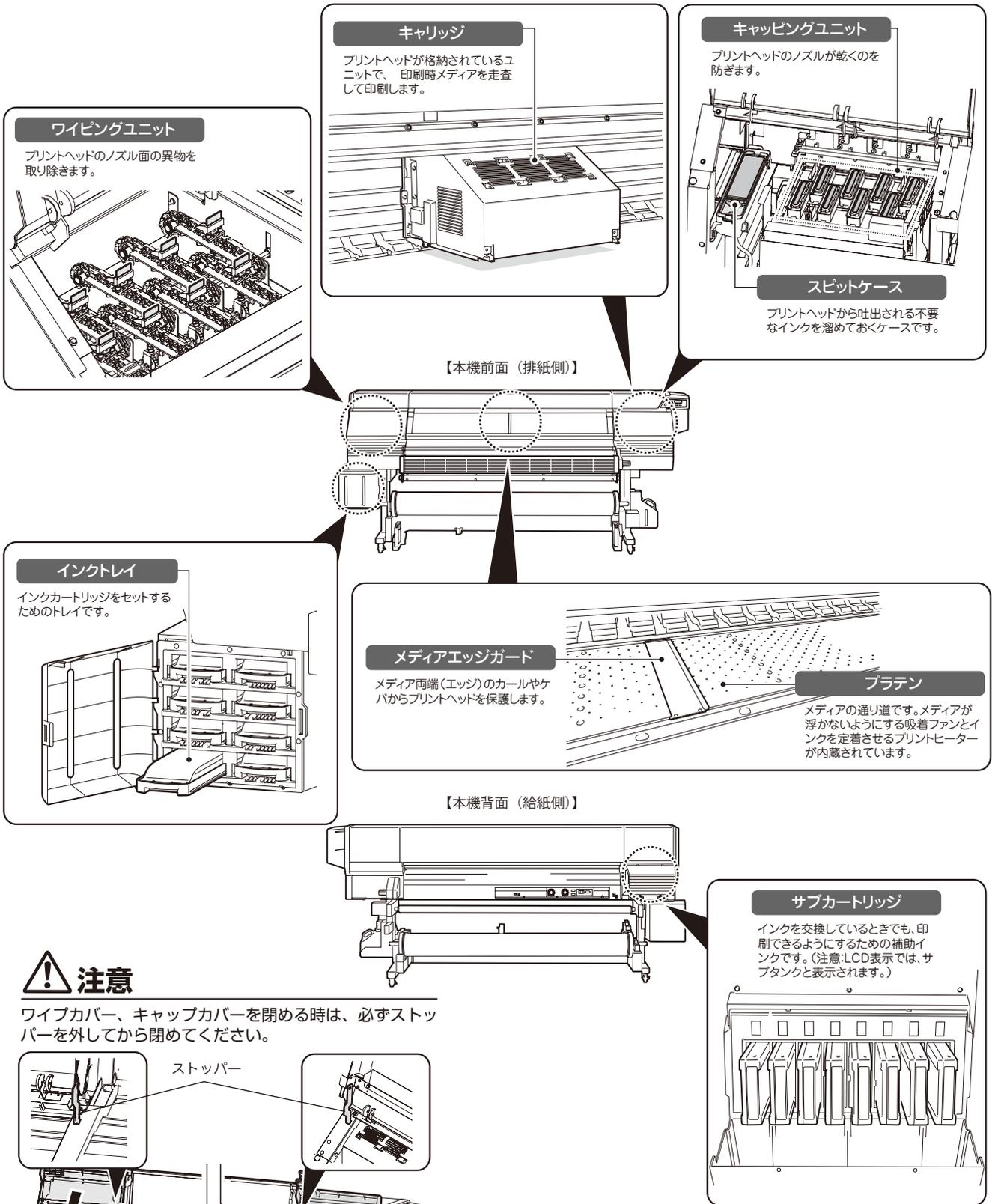
◆本機前面（排紙側）



◆本機背面（給紙側）

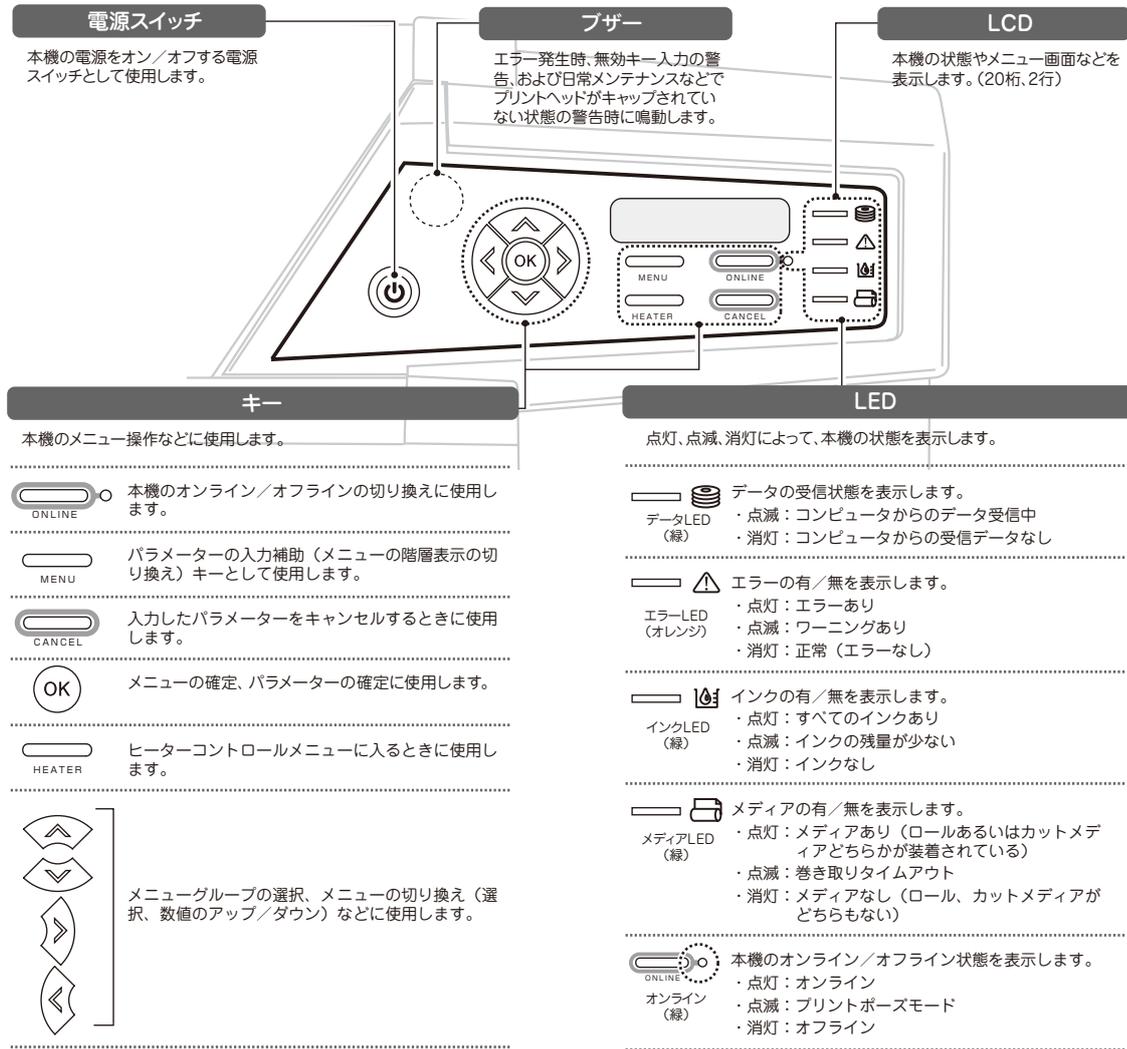


◆本機内部



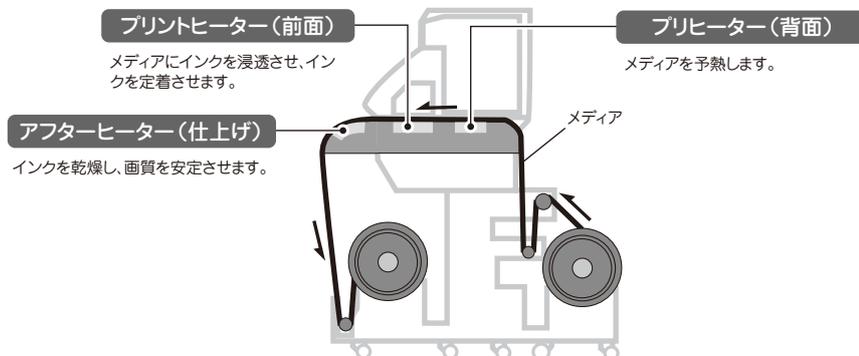
◆操作パネル

本機の操作パネルには、キー、LED、LCDが下図のようにレイアウトされています。なお、エラー時や無効キー入力時には、ブザーで通知する機能もついています。



◆ヒーター

本機には、印刷メディアへのインクの定着・画質の安定化のために3つのヒーターを搭載しています。



- * 3つのヒーターは各々独立にコントロールされます。
ヒーター温度はパネル、ソフト RIP および CP_Manager からコントロールできます。

⚠警告

- ◆ 各ヒーター面は熱くなりますので、決して触らないでください。火傷をするおそれがあります。

オンラインとオフライン

本機はオンライン/オフラインを切り替えて使います。

オンライン：コンピュータ（ソフト RIP）からの印刷が可能

オフライン：操作パネルからメニュー操作が可能

ONLINE キーを押すとオンライン/オフラインを切り替えることができます。

◆オンライン



オンライン LED が点灯しているとオンラインです。



データ LED が点灯していると印刷中です。

オンライン（アイドルモード）



スマートパス
L: 弱
M: 中

濃度
ND: 通常濃度
HD: 高濃度

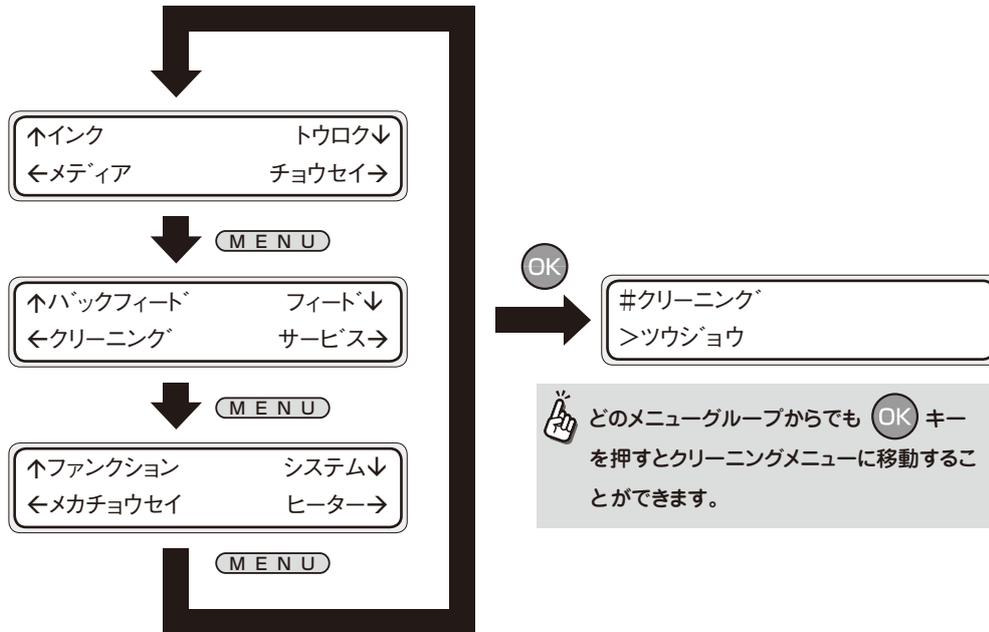
◆オフライン



オンライン LED が消灯しているとオフラインです。

LCD にメニューグループが表示され、メニュー操作が可能な状態です。

メディアの登録や日常メンテナンス、プリントヘッドの調整など、本機のさまざまな設定ができます。



オペレーターコールエラーが表示されているときは…

◆ オペレーターコールエラー（ 117 ページ）が表示されている場合でも、**ONLINE** キーを押すとオフラインになり、メニュー操作が可能です。

※ **ONLINE** キーを押しても操作できない状態もあります。

CP_Manager について

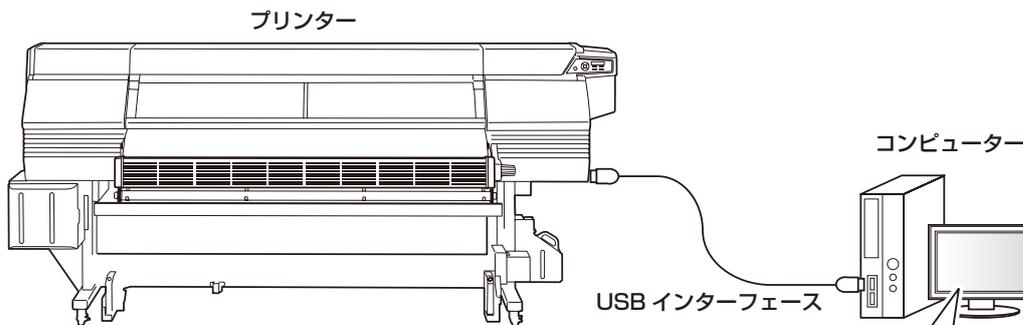
本機はパソコンでプリンターの状況がひと目で分かるソフトウェア「CP_Manager」に対応しました。CP_Manager™ では、以下の操作を行うことが可能です。

パネルの操作

- ・プリンターの状態表示
- ・メディア登録、補正值の入力
- ・ノズルプリント、各種調整印刷の実行
- ・メンテナンス時期の通知、メンテナンス動作の実行

付加機能

- ・取扱説明書（PDF）の表示



CP_Manager 表示例



CP_Manager™ は本機に付属の CD-ROM を使ってインストールしてください。

印刷できるメディアの特徴

◆塩ビ

表面が塩化ビニール素材のメディアです。一般的には裏面に糊がついていて、剥離紙をはがしてそのまま貼ることができます。表面の光沢の程度により、光沢塩ビ（ツヤ有り）・光沢なし塩ビ（ツヤ消し）・半光沢塩ビなどの種類があります。

また糊にも、透明糊の他に重ね貼りで下地が見えないようにできる「グレー糊」などがあります。表面の塩ビ素材が透明や半透明なタイプのものもあり、電飾看板などに使用されています。

◆ターポリン

ポリエステル系繊維の織物を表裏両面から塩化ビニールなどの合成樹脂フィルムでコーティングしたシートです。防水性があり、引き裂きにも強いので、主にテント生地や建築用養生材に使われており、インクジェット用のメディアとしてバナー広告などにも使われます。表面の光沢の違いにより、光沢（グロス）・マット・半光沢（セミグロス）などの種類があります。

◆メッシュターポリン

網目状に穴が開いたターポリンのことをさします。開いた穴から風が通り抜けることで、風による引き裂きに強く、強風時でも破損しにくいメディアです。ライナーと呼ばれる、インク吸収用の裏紙が付いているタイプと付いていないタイプがあります。ライナー付きのものは、通常のメディアと同様に印刷できますが、ライナーなしのものはメッシュ印刷用のオプションが必要になります。

◆電飾ターポリン (FF)

FFとはフレキシブルフェイスの略です。一般的に乳白色（半透明）のターポリンのことをさします。透過性があるので、主に内照式の電飾看板に使用されています。アクリル看板と比べて、軽量なので取り付け易く、風に対する引き裂き強度も高く、風圧により割れることもないので安全性が高いのが特徴です。

◆ソルベント用コート紙

紙をベースに、ソルベントインクが鮮やかに定着するよう、印刷面にコーティングを施した用紙です。製品によって様々な厚みのものがあります。また、重ね貼り（経師貼り）した際に下地が透けないように、裏面が着色されているもの（ブルーバックペーパー）もあります。



メディア実績の詳細は

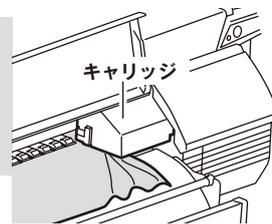
- ◆ 弊社 Web サイト (<https://www.oki.com/jp/printing/>) にも印刷実績のあるメディアのリストを公開しています。



メディアジャム注意点

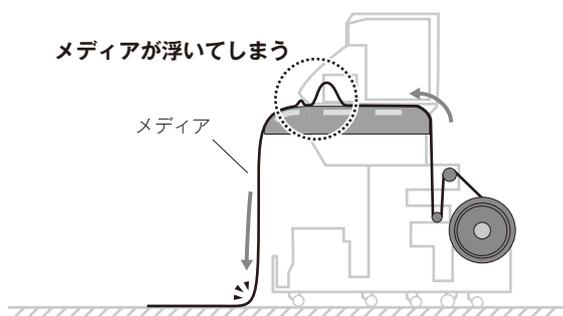


メディアが浮いてしまうと、移動中のキャリッジがメディアの浮いた部分に衝突し、プリンターを破損してしまう恐れがあります。



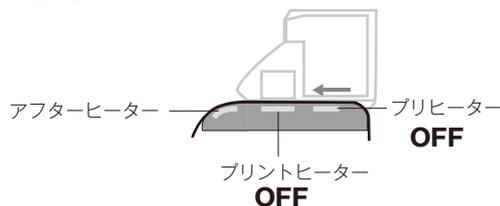
メディアを巻き取らないで印刷する場合

印刷中にメディアが床につき、プラテン上のメディアが浮いてしまう恐れがあります。

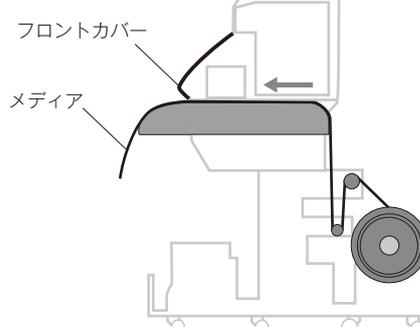
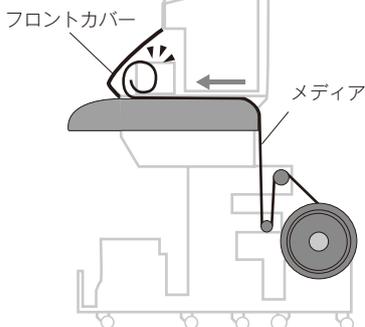


紙系メディアで印刷する場合

アフターヒーター以外に熱を加えるとシワになりやすいので、プリヒーターとプリントヒーターはOFFにして印刷してください。



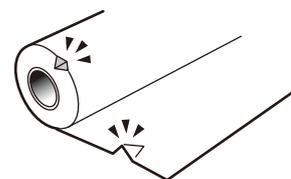
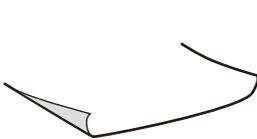
メディアをセットする際、メディアの先端がフロントカバーより前に出るようにセットする



メディアの仕立て／管理にご注意ください

以下のようなメディアはメディア浮きやスキューの原因となります。

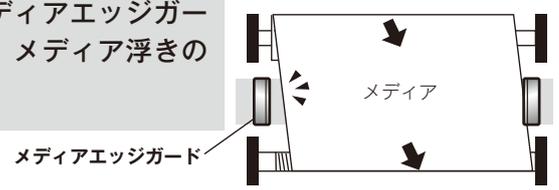
- ・ タケノコ状に巻かれているもの
- ・ 左右のエッジがカールしているもの





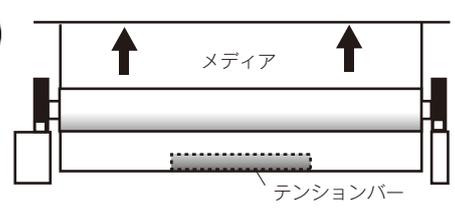
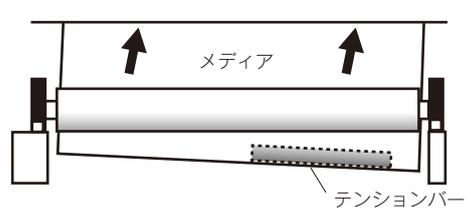
メディアがスキューすると、メディアエッジガードからメディアが外れてしまい、メディア浮きの原因となります。

【上から見た図】

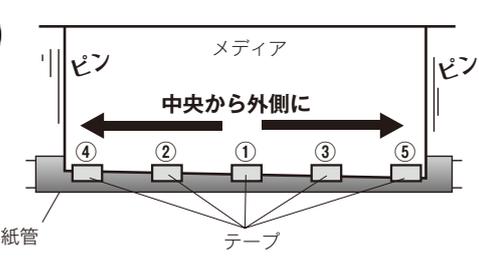
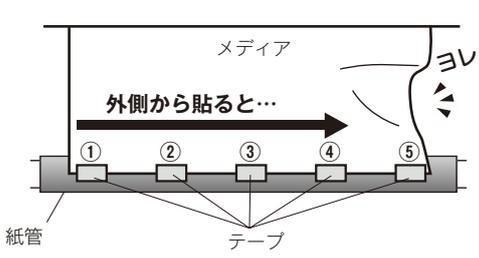


テンションバーはメディアの中央にセットする

給紙側テンションバーは、メディアの中央にセットしてください。

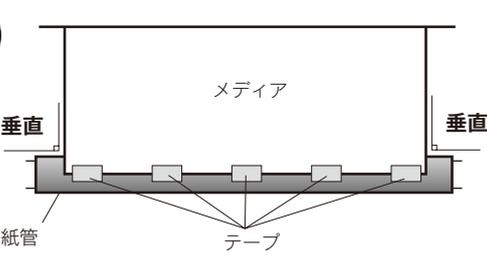
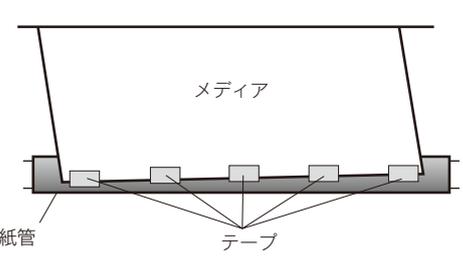


巻き取り紙管にメディアを貼り付ける際は、中央から外側に向かってテープを貼る



巻き取り紙管にメディアを垂直に貼り付ける

紙管に対して垂直にメディアを貼らないと、巻き取りが曲がっていき、プラテン上のメディアが浮いてしまう恐れがあります。

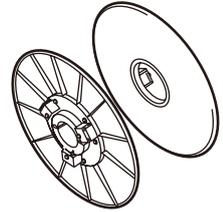


メディアを「たるみ巻き」で巻き取る場合

必ず紙管フランジを使用してメディアを巻き取ってください。

紙管フランジを使用しない場合、巻きズレが発生してメディアジャムにつながる恐れがあります。

紙管フランジ



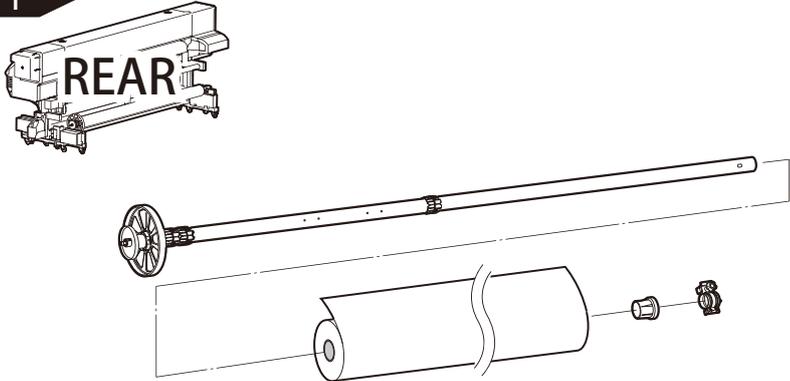
印刷までの基本操作

⚠ 注意

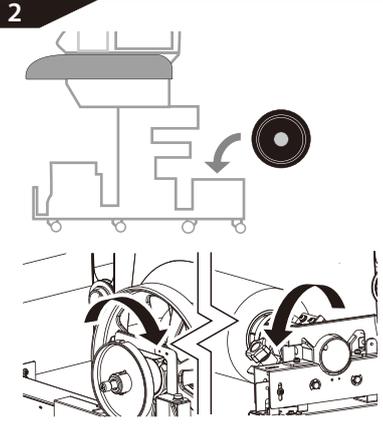
◆ 重量物の取扱いには十分注意して下さい。(8 ページを参照してください。)

◆ 印刷のながれ

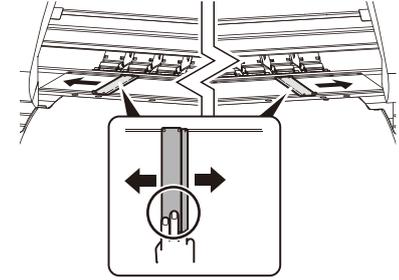
1



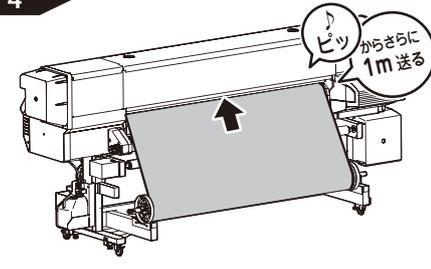
2



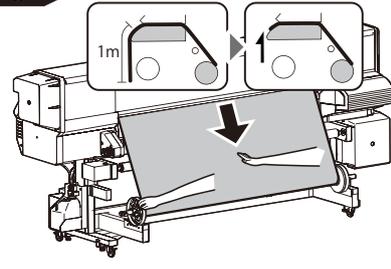
3 FRONT



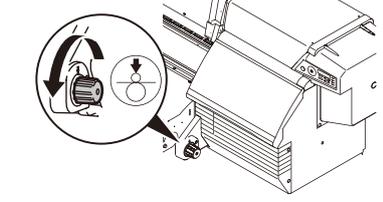
4



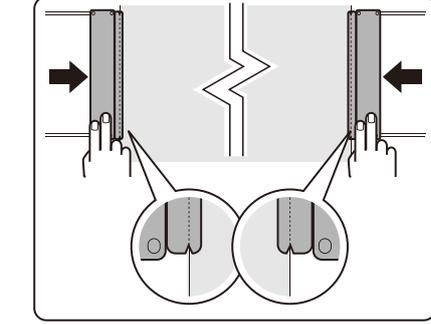
5



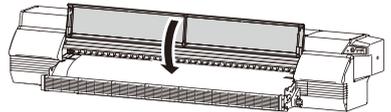
6 FRONT



7 FRONT



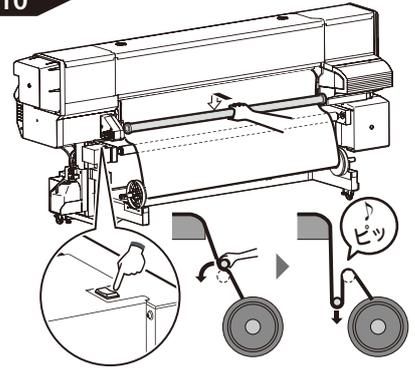
8 FRONT



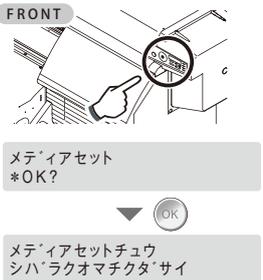
9 FRONT

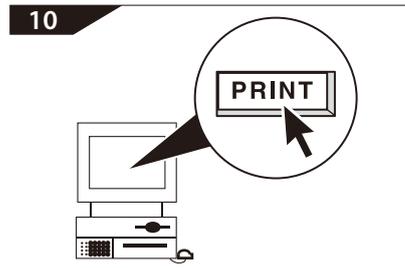
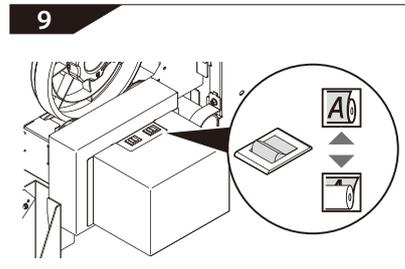
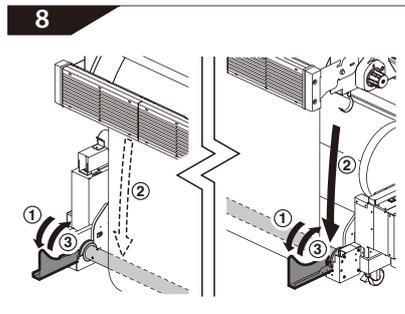
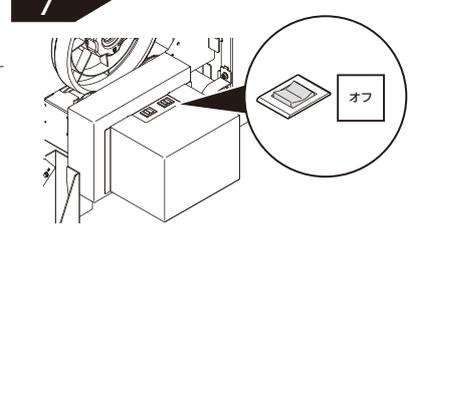
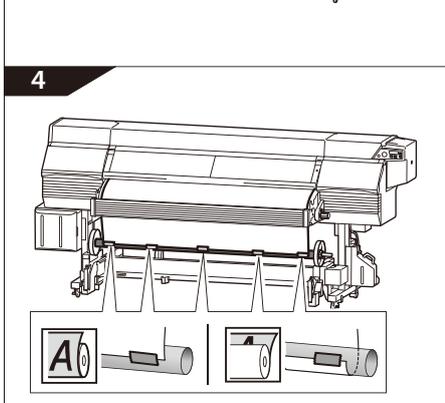
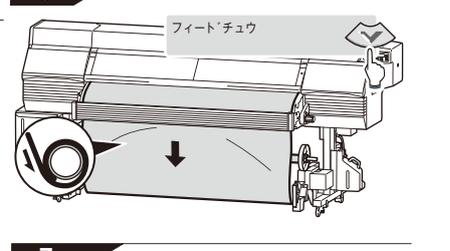
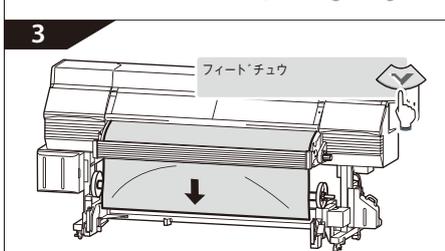
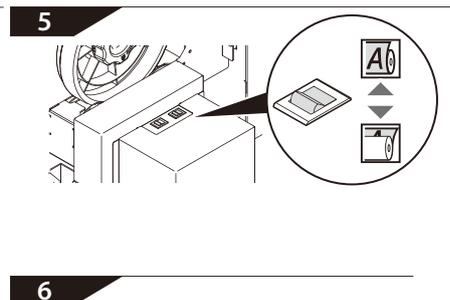
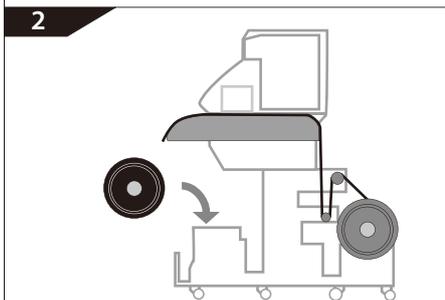
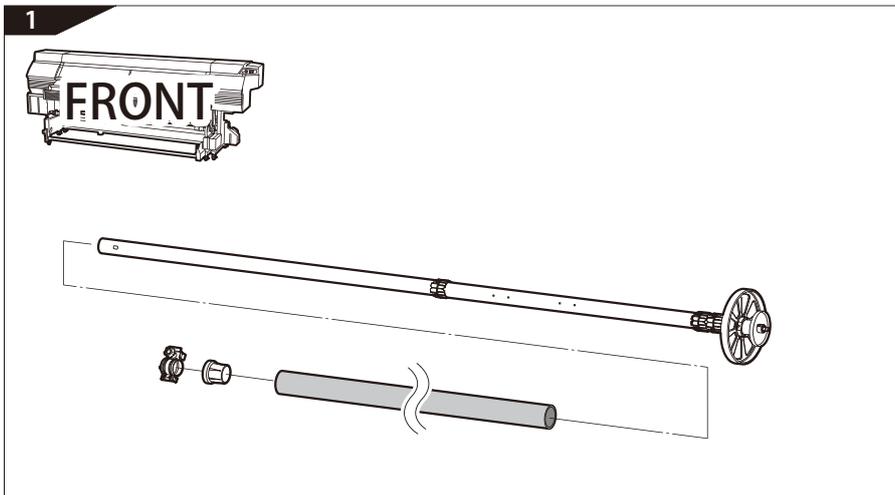


10

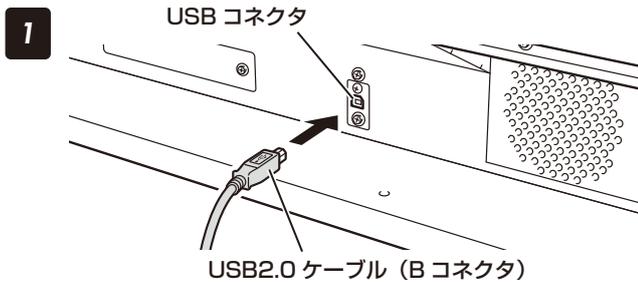


11 FRONT





● USBケーブルを接続する

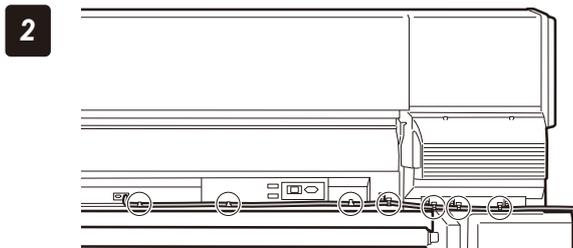


本機背面にある USB コネクタに専用ケーブルを接続する



下記のものをお使いください

- ◆ 接続ケーブルは、USB2.0 ケーブルを使用してください。
- ◆ USB ハブを使用する場合は、USB2.0 対応の製品を使用してください。
- ◆ USB 接続に用いるケーブルやハブ、またその系に接続する USB 機器は USB-IF 認証品を使用してください。USB 認証品ではないケーブル、ハブ、その他機器を接続した場合は正常に動作しない可能性があります。
- ◆ 1 本のケーブルの最大長は 5m です。それ以上の距離で使用される場合はハブを使用してください。最長構成はハブの 5 段接続です。ケーブルのみで 5m を越える長さにした場合や、単にケーブルをつなぎ合わせた場合は、正常に動作しない可能性があります。



専用ケーブルを本機のワイプ側にクランプする

USB コネクタ保護の為、必ず本機にクランプさせてください。



クランプさせないと…

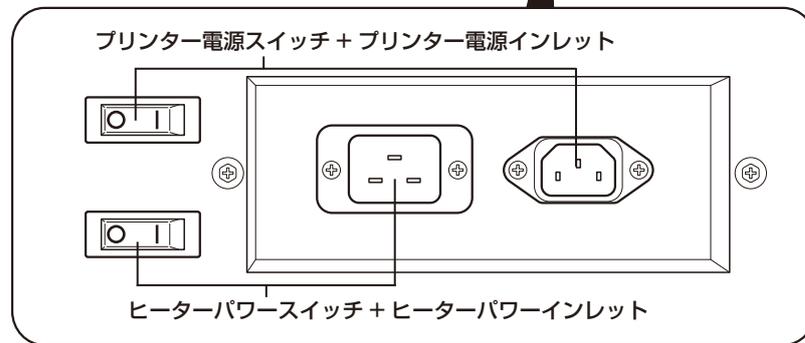
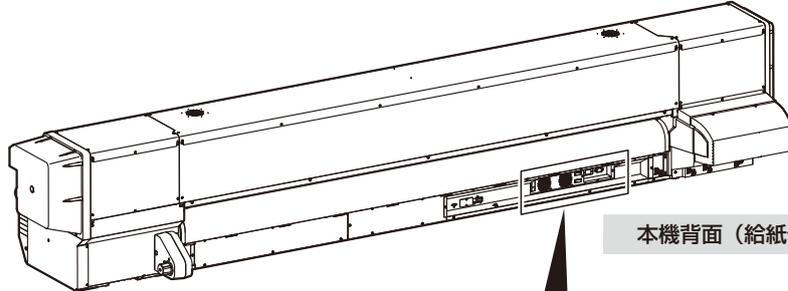
- ◆ USB ケーブルが垂れ下がり、給紙センサーが誤検出してしまう場合があります。

● 電源をオンする

電源は2系統ともに200Vです。

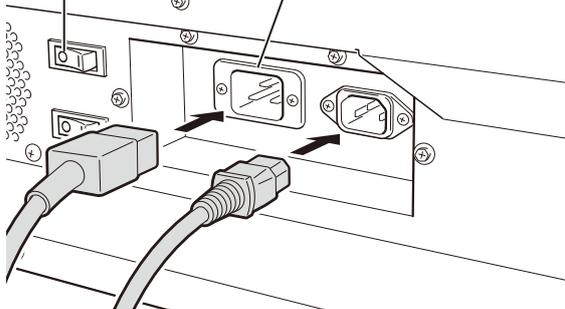
⚠ 注意

- ◆ 本機には、付属の電源コード以外は使用しないでください。
- ◆ 付属の電源コードは、AC200V専用ケーブルです。プラグの形状がAC100Vとは異なりますので、ご注意ください。
- ◆ 電源コードは必ずクランプに固定してください。固定しないと電源コードがスクローラフランジに巻き込まれて、感電や本機が破損する恐れがあります。



プリンター電源とヒーターパワースイッチをオンにし、その後のオフ/オンは、本機の操作パネル上の電源スイッチで行います。

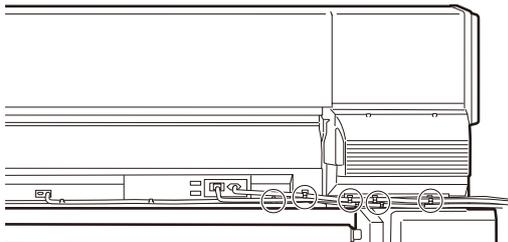
1 スイッチオフ（0） 電源インレット



付属の電源コード2本を本機の電源インレットと電源供給コンセントに差し込む

本機の背面にあるプリンター電源スイッチとヒーターパワースイッチがオフ（0）になっている状態で差し込みます。

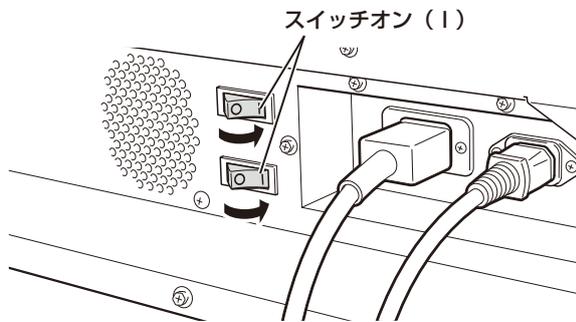
2



電源コード（2本）を本機にクランプする

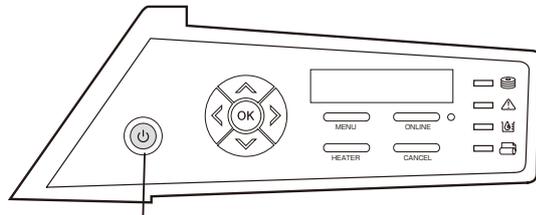
電源コード保護の為、必ず本機にクランプさせてください。

3



本機背面のプリンター電源スイッチとヒーター
パワースイッチをオン (1) にする

4



電源スイッチ

Booting up...



シヨキカチュウ
シハ^{*}ラクオマチクタ^{*}サイ



メテ^{*}ィアヲセツシテクタ^{*}サイ

操作パネル上の電源スイッチを押してオンにする

スイッチをオンにすると電源投入時の自己診断が行われ、次のように操作パネル上にメッセージが表示されます。



エラーメッセージが表示されたら…

- ◆ 「こんなときには」を参照し、対処してください。
- ◆ 本機背面のプリンター電源、ヒーターパワースイッチ、操作パネル上の電源オン/オフスイッチをオンにしても、操作パネルのLEDが点灯しない場合は、電源に問題があります。

⚠ 注意

- ◆ 緊急時を除いては、電源オフは、“プリントデキマス”が表示されている時に行ってください。“シヨキカチュウ”や“クリーニングチュウ”の表示中にむやみに電源をオフにすると、インクのボタ落ちやプリントヘッドの故障の原因になるおそれがあります。また、セーブされていたパラメーターが消失する可能性もあります。



● 電源をオフする

1

シャットダウンチュウ
シバラクオマチクダサイ

プリンターの電源をオフにするには、操作パネル上の電源スイッチを2秒押し続けてオフにします

上記のようにLCD表示され、シャットダウン処理の実行中であることを示し、シャットダウン終了後、電源が切れます。

ただし、本機は、装置の状態を良好に保つために、自動でメンテナンス動作を行います。そのため、本機の電源は常にオンのままにしてください。

もし、緊急時やプリンター清掃などで一時的に電源オフにする必要がある場合は、下記の方法でオフにすることができます。

方法1：
電源スイッチを2秒押し続ける

通常はこの方法でオフにしてください。シャットダウン時に、プリントヘッドの状態を良好に保つために、フィルキャップ動作（キャップの中をインクで満たしている状態）が実行されます。

方法2：
「キャンセル」キーを押しながら、
電源スイッチを2秒押し続ける

短時間（1時間未満）のオフに限って、この方法でオフにすることも可能です。フルキャップ動作を省略して電源オフします。

⚠注意

- ◆ 電源スイッチをオフにしてから再度オンする時は5秒以上経過してから行ってください。
- ◆ プリンターは、プリントヘッドの状態を良好に保つため、プリンターが待機状態になると周期的に、自動でフィルキャップ動作を行います。
操作パネル上の電源スイッチをオンのままにしておくことを推奨します。

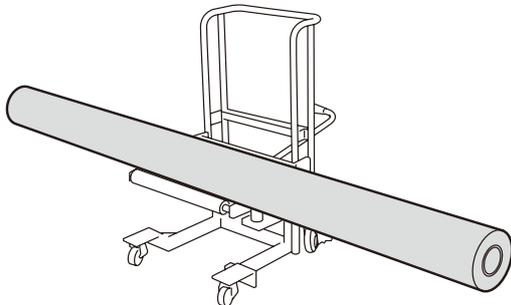
● メディアを本機に取り付ける

取り付けメディアはターポリンを例として説明します。

⚠注意

- ◆ メディアおよびスクローラは重量物です。これらを持ち上げる際はケガ防止のため、必ず2人以上で作業し、足の上に落とさないよう十分注意してください。また、重たいと感じたときは、作業者を増やすなどの対応を取ってください。無理をすると身体を痛める場合があります。
- ◆ 本機へのメディアの取り付け、メディア交換を行う場合は、ケガ防止のためリフター付台車（推奨台車）を使うようにしてください。

1



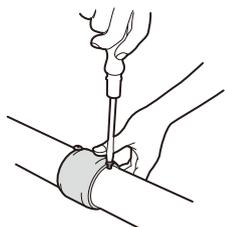
メディアを台の上のせる

台車をご使用される場合は、弊社の推奨品をご利用頂くことをおすすめします。（詳しくは弊社までお問い合わせください。）

注意

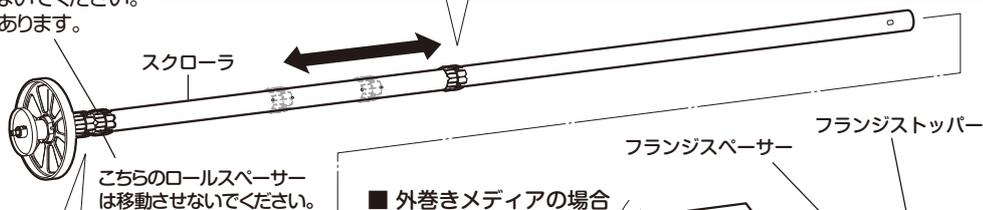
- ◆ こちらのロールスペーサーはつかまないのでください。突起物があります。

ねじ 2 本をはずし、メディアの中心にくるようにロールスペーサーを動かします。ねじ止め位置は 3 ヶ所あります。



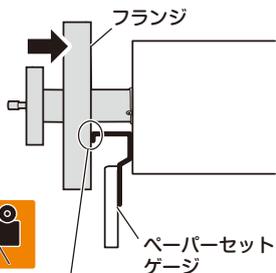
ロールスペーサー

ロールスペーサーは、メディアの重さによってロールの紙管がたわむのを防止します。たわみが発生するメディア (100 インチ程度のも) を使用する場合に移動させてください。また、幅の狭いメディアを使うときに、フランジスペーサーの邪魔になる場合は移動させてください。



こちらのロールスペーサーは移動させないでください。

スクローラをロールメディアの紙管に通し、メディア端とフランジの間隔を決めます。



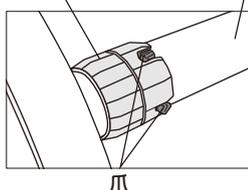
ペーパーセットゲージのフランジ側はフランジのスポーク面に当てます。



ハンドルを時計方向に止まるまで回し、スクローラを固定します。



ハンドル ロールスペーサー スクローラ



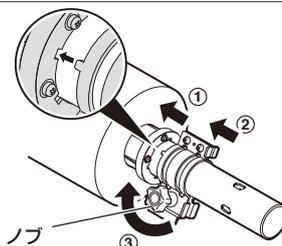
注意

- ◆ スクローラの爪部分には触らないでください。

■ 外巻きメディアの場合



■ 内巻きメディアの場合

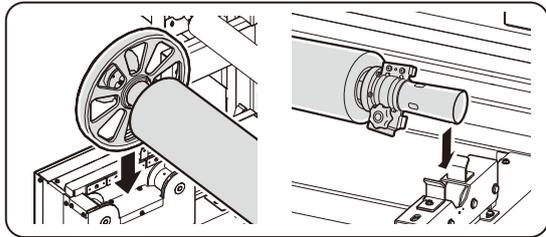


- ① フランジスペーサーには歯がついていいますので、止まるまで押し込んでください。
- ② フランジストッパーをフランジスペーサーの爪の位置に合わせて取り付けます。

注意

- ◆ フランジストッパーを移動させる時は、ノブを持って移動させて下さい。それ以外を持って移動させるとけがをする場合があります。
- ③ ノブを時計方向に回して固定します。

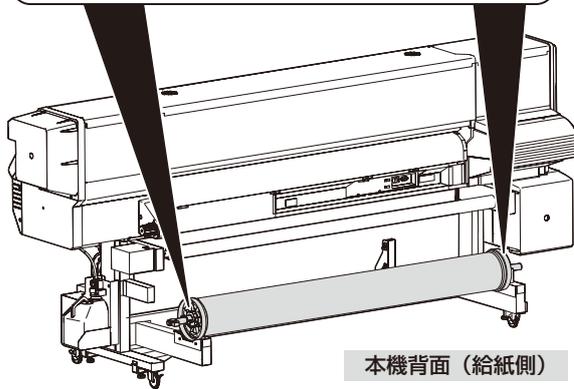
3



メディアを本機背面（給紙側）に取り付ける

⚠️ 注意

- ◆ 本機とスクローラシャフトとの間に手や指を挟まないよう注意してください。

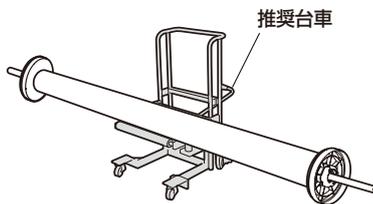


本機背面（給紙側）

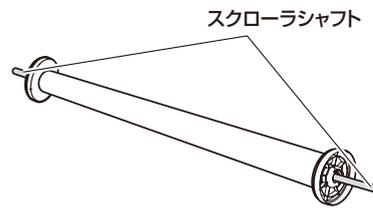
⚠️ 注意

- ◆ メディアおよびスクローラは重量物です。これらを持ち上げる際はケガ防止のため、必ず2人以上で作業し、足の上に落とさないよう十分注意してください。また、重たいと感じたときは、作業者を増やすなどの対応を取ってください。無理をすると身体を痛める場合があります。
- ◆ 本機へのメディアの取り付け取り外し、メディア交換を行う場合は、ケガ防止のためリフター付台車（推奨台車）を使うようにしてください。手で運ぶ場合はスクローラシャフトを持って下さい。
- ◆ 本機とスクローラシャフトの間に手や指をはさまないように注意してください。

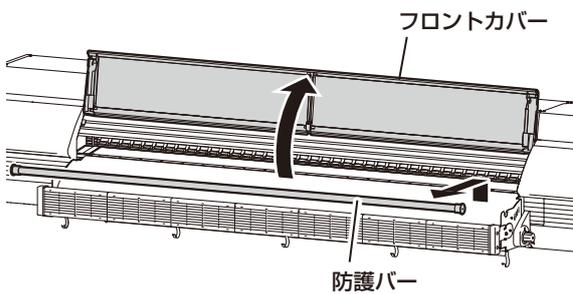
● 一人で運ぶ場合



● 二人以上で運ぶ場合

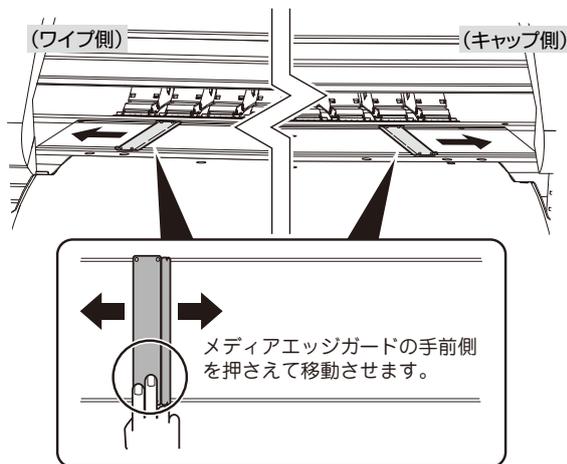


4



防護バーを取り外し、フロントカバーを開ける

5



メディアエッジガードを両サイドに移動させておく

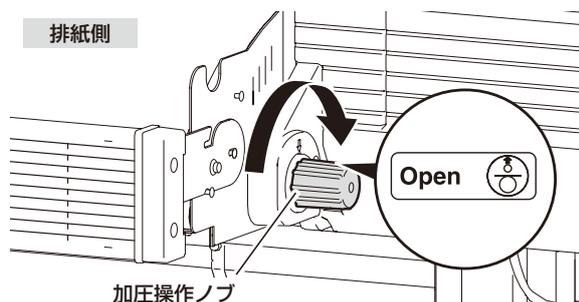
メディアエッジガードがメディアの下にならないようによけておきます。メディアエッジガードの手前側を押さえて移動させてください。



⚠️ 注意

- ◆ メディアエッジガードは、必ず手前側を押えて移動させてください。
プレートのエッジ部分を強く押えて指を滑らせると怪我をする恐れがあります。

6



加圧操作ノブを回して、「Open」に合わせる

このとき **MENU** キーを2秒押し続けると、メディアをワイブよりはずらしてセットする「オフセットモード」に移ります。

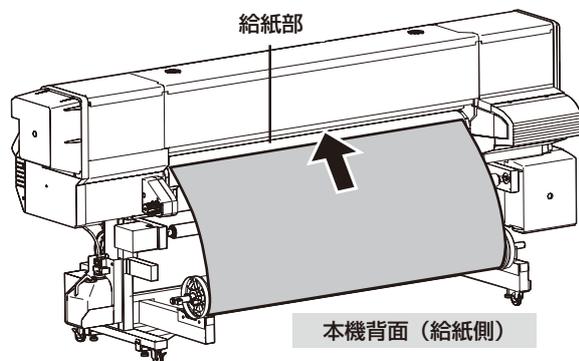
操作パネルに「オフセットモード カクニン」が表示されたら、オフセットモードで使用する場合は **OK** キーを、使用しない場合は **CANCEL** キーを押してください。



「オフセットモード」には…

- ◆ オフセットモードでメディアをセットするには、オプションの「オフセットローディングキット 104」が必要です。

7



メディアの先端を給紙部に挿入する

メディアにシワが入らないように手で伸ばしながら、挿入します。

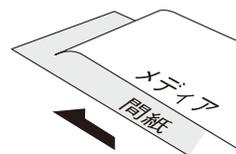
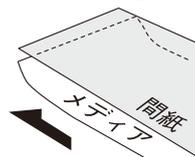


メディアに巻き癖がある場合

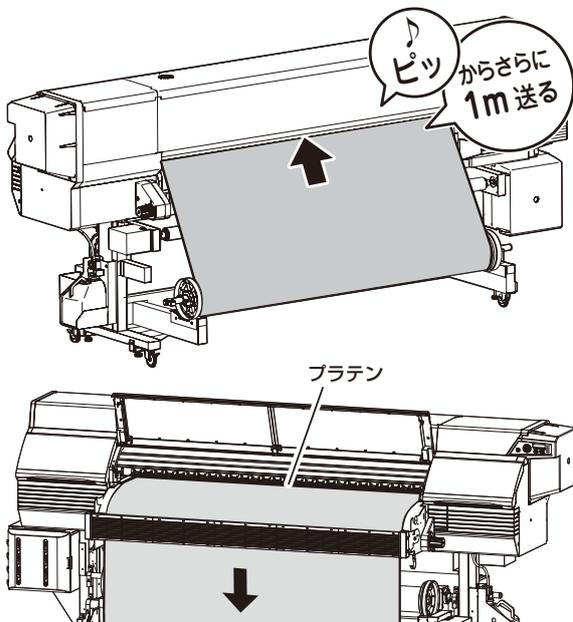
- ◆ メディアに巻き癖があって給紙部に差しづらい場合は、別紙（間紙）を使用してメディアを差し込んでください。

・アップカール

・ダウンカール



8



「ピッ」という音が鳴ってから、さらに 1m メディアを送る

このとき、メディア中央部のシワが無くなるように、プラテン上で両サイドに向けてメディアをならします。

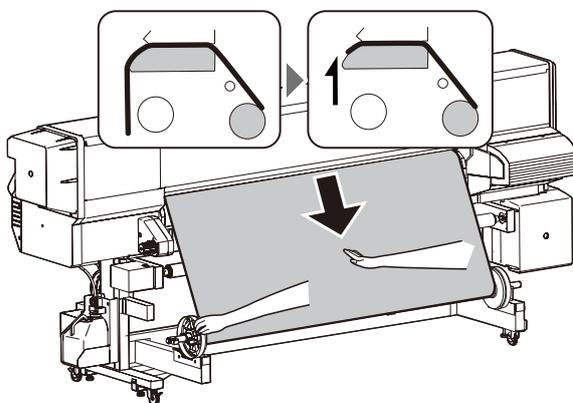


確認してください



- ◆ メディアが斜めだったり、シワが入っていたりするとメディアジャムやスキューの原因になります。

9



メディアを巻き戻す

給紙側でメディア中央を軽く押さえながら戻します。メディアの先端がフロントカバーを閉じた所から約 30cm 出るようにしてください。



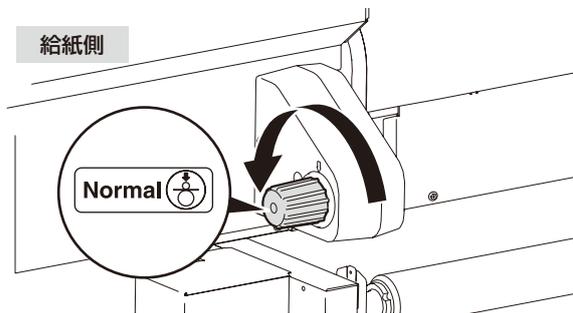
重要です！



- ◆ この作業はメディアをまっすぐセットするために行う重要な作業です。

10

給紙側



加圧操作ノブを回して、「Normal」に合わせる

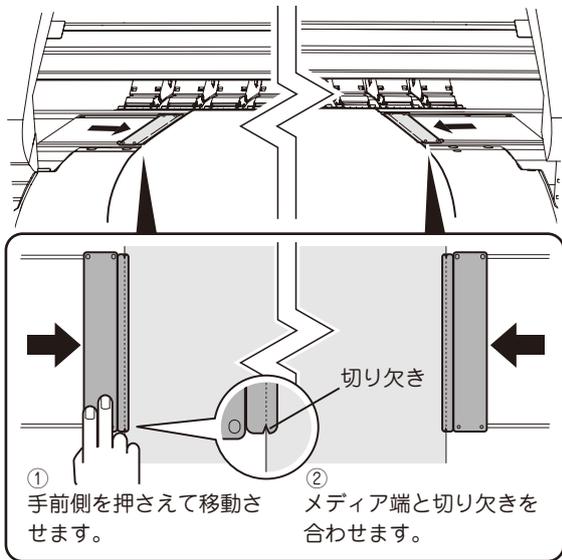


再度確認してください



- ◆ プラテン上のメディアに浮きやシワがないか確認してください。

11



メディアエッジガードをセットする

- ① メディアエッジガードの手前側を押さえながら移動させます。
- ② メディア端とメディアエッジガードの切り欠きを合わせます。



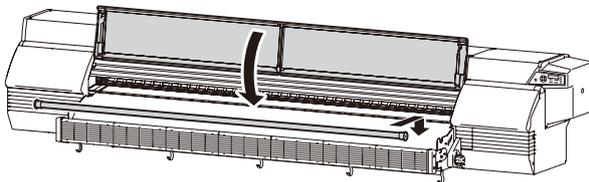
メディアエッジガードがメディアの下に入り込んでいたり、厚いメディアを無理に差し込んで引っかかったりしていないか確認します。

⚠注意

- ◆ メディアエッジガードを使用しないと、メディアジャムが起こる場合があります。
- ◆ メディアエッジガードは、必ず手前側を押えて移動させてください。
プレートのエッジ部分を強く押えて指を滑らせると怪我をする恐れがあります。

フロントカバーを閉め、防護バーを取り付ける

12



13

エッジガードのカクニン
*OK?



14

メディアセンタクシテクタ'サイ
メディアセンタク:ロール



15

シュルイヲセンタクシテクタ'サイ
シュルイセンタク:PAPER



シュルイヲセンタクシテクタ'サイ
シュルイセンタク:Banner



16

サンリョウヲセットシテクタ'サイ
****m



タルミハ'ツファヲ
カクニンシテクタ'サイ

OK キーを押す

OK キーを押す

「Banner」を選択し、OK キーを押す

⏪ キー、⏩ キーで登録されているメディアの種類を選択します。

メディア残量を入力し、OK キーを押す

本機に取り付けたメディアの残量を入力してください。

メディア残量が分からない場合は、そのまま OK キーを押します。

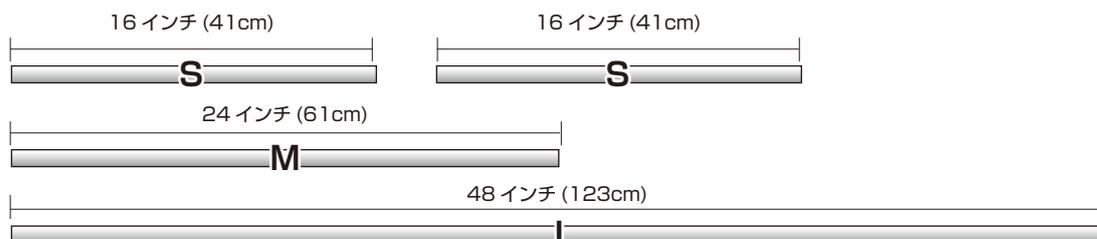
17 給紙側のテンションバーの長さを調整する

- テンション巻きの場合：メディア幅と同じ長さのテンションバーを使います。
下表に記載のテンションバーの長さを参考にして、近いサイズをお使いください。
- 14 ページに記載のギアなし 1 のテンションバーを使います。

ターボリンで印刷する場合は…

- ◆ ターボリンに印刷する場合は、テンション巻きで使用することをおすすめします。

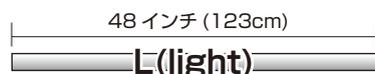
テンションバーの長さ



テンションバー組み合わせ例

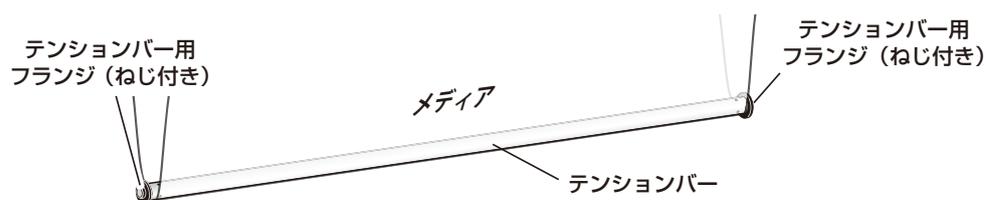
メディア幅	使用サイズ	
	テンション巻き	テンション巻き以外
36～38 インチ	S、S	L(light)
39～44 インチ	M、S	
45～52 インチ	L	
53～60 インチ	M、S、S	
61～68 インチ	L、S	
69～76 インチ	L、M	
77～82 インチ	L、S、S	
83～94 インチ	L、M、S	
95～104 インチ	L、M、S、S	

- 巻き取りをしない場合：L(light) のテンションバーを使います。
巻き取りしない場合と、塩ビメディア、ソルベントコート紙の場合に使います。
- 14 ページに記載のギアなし 1 のテンションバーを使います。

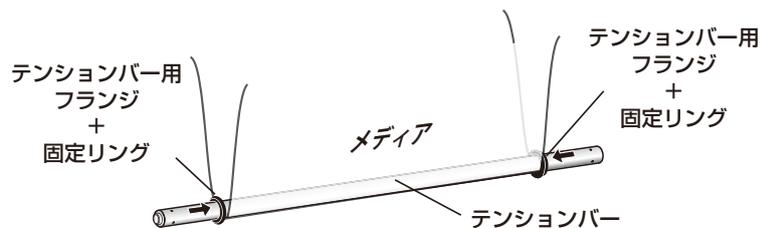


- たるみ巻の場合：□ 52 ページを参照してください。

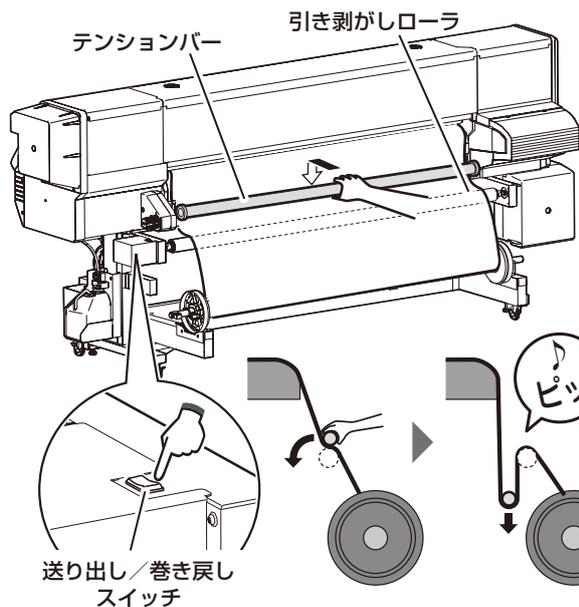
メディア幅と同程度の長さのテンションバーを使用する場合は、テンションバー用フランジ（ねじ付き）を取り付けてお使いください。



メディア幅より少し長いテンションバーを使用する場合は、テンションバー用フランジと固定リングをテンションバーに取り付けてお使いください。



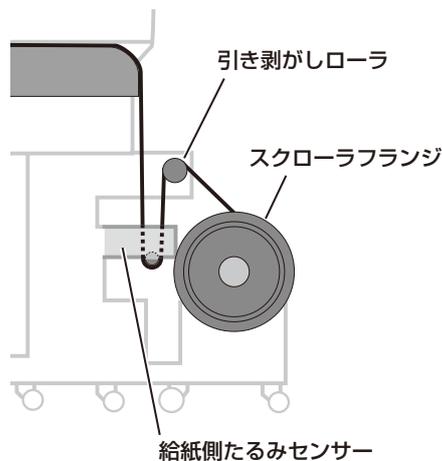
18 たるみを作り、テンションバーをセットする



- ① テンションバーを引き剥がしローラ上部に押しあてる
- ② 送り出し/巻き戻しスイッチを押して、たるみを作り、テンションバーを奥へ送りこむようにしてセットする

給紙側たるみセンサーより下まで、たるませてください。

たるみがセンサーに反応する位置までくると、パネルから「ピッ」と音がします。



⚠️ 注意

- ◆ 引き剥がしローラを、手で回さないでください。無理に回転させると、故障の原因となる場合があります。引き剥がしローラは、必ず、送り出し/巻き戻しスイッチを使って回してください。

19

メディアセット
*OK?



メディアセットチュウ
シバラクオマチクダサイ

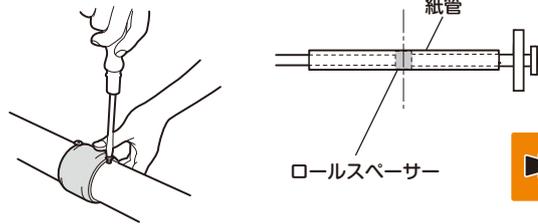
OK キーを押す

●巻き取り装置にメディアを巻き付ける

ここでは、「テンション巻き」を例にして説明します。

1 紙管を用意し、スクローラに取り付ける

ねじ2本をはずし、紙管の中心にくるようにロールスペーサーを動かします。
ねじ止め位置は3ヶ所あります。

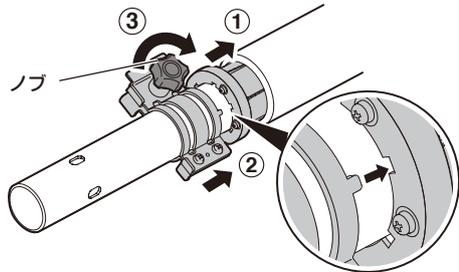
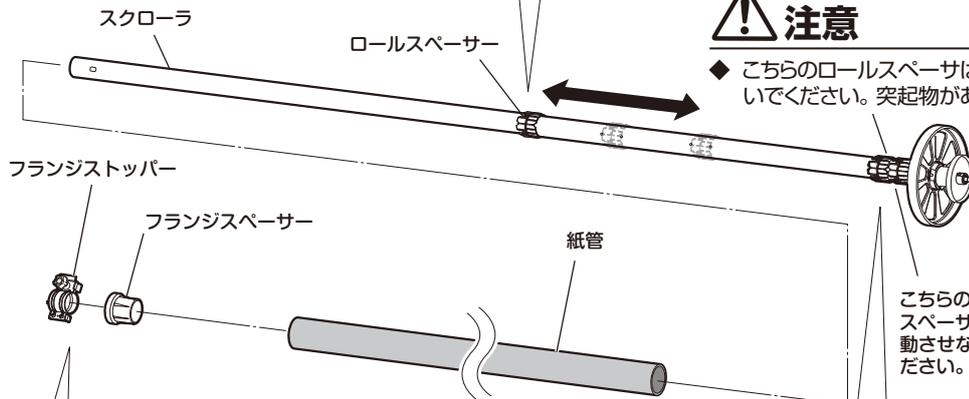


メディアの重さにより紙管が中央でたわむのを防止します。
たわみが発生するメディア(100インチ程度のもの)を使用する
場合に移動させてください。
また、幅の狭いメディアを使うと
きに、フランジスペーサーの邪魔
になる場合は移動させてくだ
さい。



注意

◆こちらのロールスペーサーはつかま
ないでください。突起物があります。



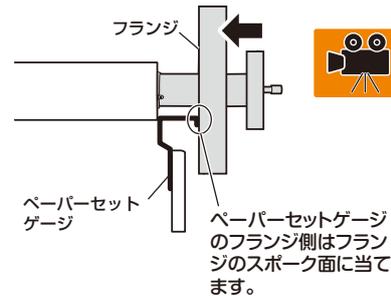
- ① フランジスペーサーには歯がついていま
すので、止まるまで押し込んでください。
- ② フランジストッパーをフランジスペーサーの
爪の位置に合わせて取り付けます。
- ③ ノブを締めて固定します。



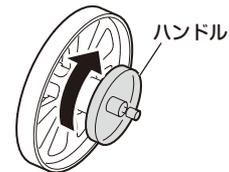
注意

◆ フランジストッパーを移動させる時は、ノブを
持って移動させて下さい。それ以外を持って移
動させるとけがをすることがあります。

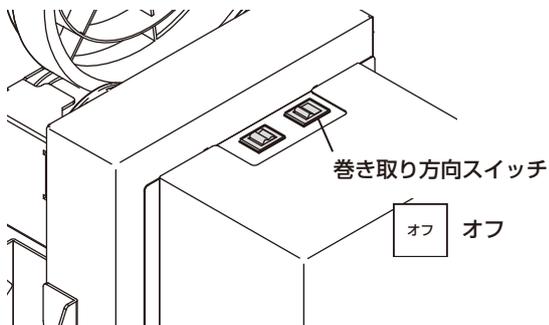
ペーパーセットゲージを使い、紙管の
エッジとフランジの間隔を決めます。



ハンドルを時計回りに止まるまで
回し、スクローラを固定します。



2

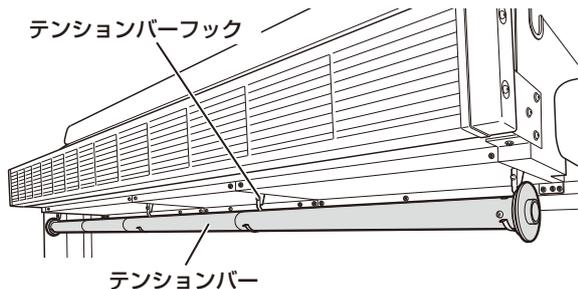


巻き取り方向スイッチを「オフ」にする

! 注意

◆ 巻き取り方向スイッチを「オフ」にしないで次の操作に進むと、スクローラフランジが固定されないため、手をはさむ原因となります。

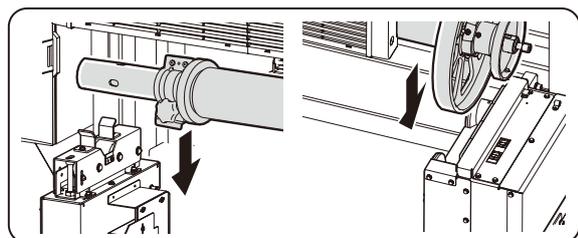
3



テンションバーをテンションバーフックに掛けておく



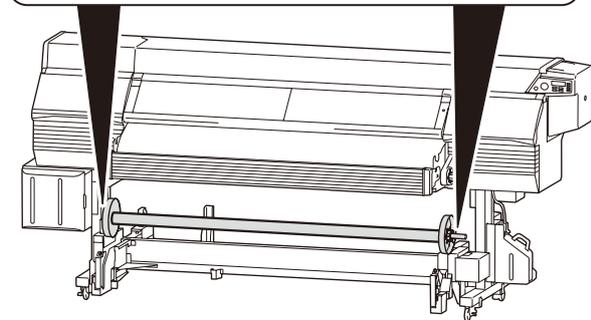
4



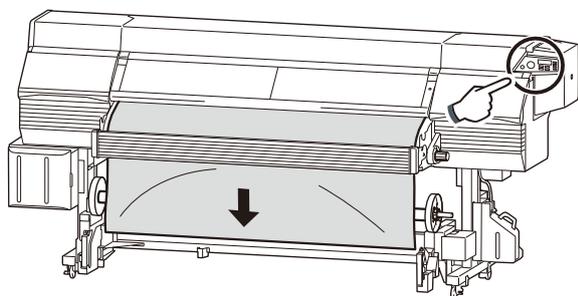
スクローラフランジを本機のローラ溝に合わせて取り付ける

! 注意

◆ 本機とスクローラシャフトとの間に手や指を挟まないよう注意してください。



5

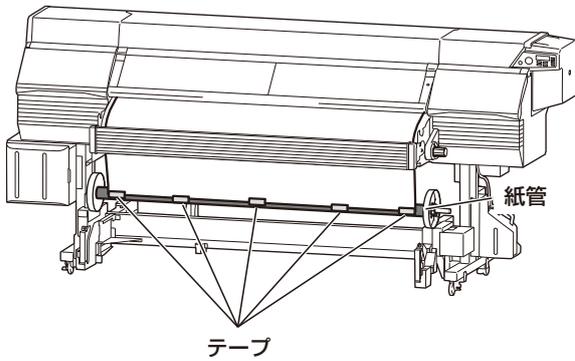


✓ キーを押して、メディアを巻き取れる程度まで送る



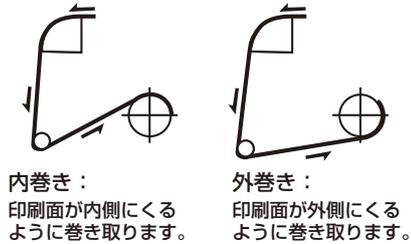
フィードチュウ

6



引き出したメディアを紙管に貼り付ける

- ① 巻き取る方向を確認し、メディアのたるみを取り、給紙側と巻き取り側でメディア位置にズレがないことを確認してください。
- ② テープを使って、最初に中央部分を、次に両端に向かって止めてください。(中央と両端、計三カ所以上をテープ止めしてください。)



内巻き：
印刷面が内側になるように巻き取ります。

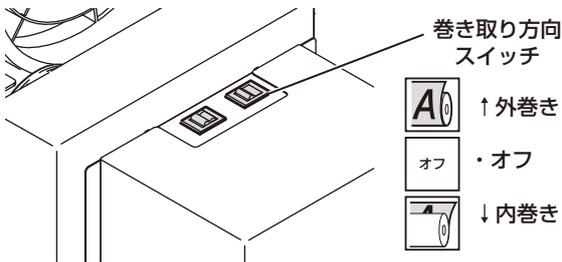
外巻き：
印刷面が外側になるように巻き取ります。



巻き取りについて

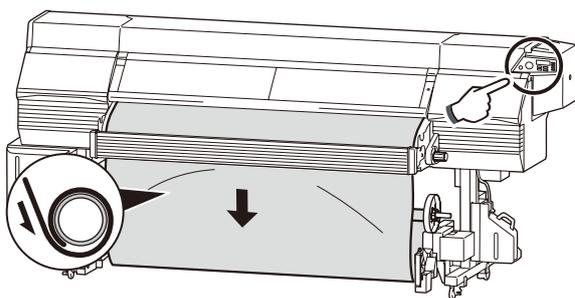
- ◆ メディアを紙管に対して斜めに取り付けると、メディアのスキューの原因となりますのでご注意ください。
- ◆ メディアの巻き取り方向を「内巻き」にセットした場合、巻き径が太くなると印刷後のバックフィードができませんので、あらかじめトウロクメニューのメディアモードで「モトサナイ」を選択してください。(「モトス」のままバックフィードをすると、モーターが空転し故障の原因となります。)

7



巻き取り方向に合わせて、巻き取り方向スイッチを押す

8



✓ キーを押して、メディアを送り、紙管に1周分巻き付ける

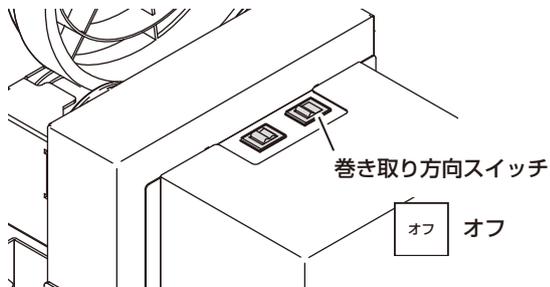


フィードチュウ

⚠ 注意

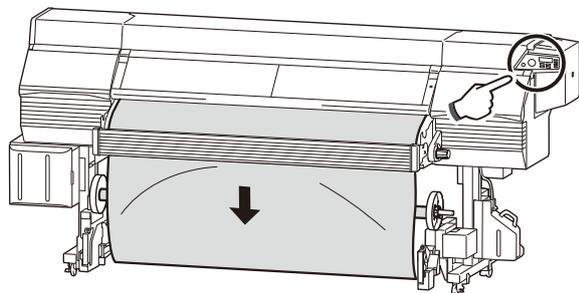
- ◆ メディアを1周分巻き取らずにテンションバーを取り付けると、テープがはがれてしまいます。

9



再度巻き取り方向スイッチを「オフ」にする

10



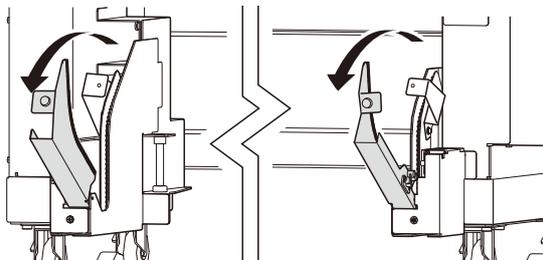
✓ キーを押して、たるみが作れる程度までメディアを送る



フィードチュウ

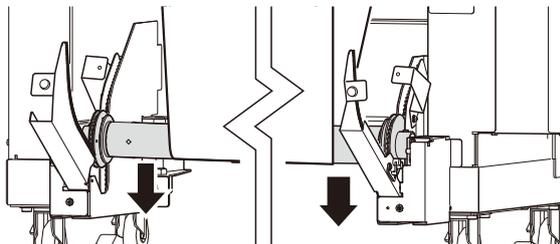
テンションバーがテンションバーガイドの底部にのせられるくらいに、十分なたるみを作ってください。

11



テンションバーガイドのカバーを開ける

12



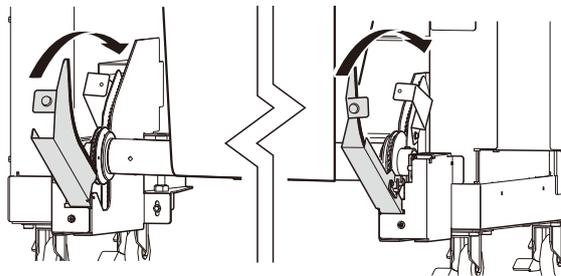
テンションバーをテンションバーガイドの底に置く



テンションバーが底まで届かない…

◆ たるみが足りず、テンションバーがテンションバーガイドの底に届かない場合は、操作パネルのフィードメニューでメディアを送り、テンションバーがテンションバーガイドの底に確実に届くようにメディアを送り出してください。

13



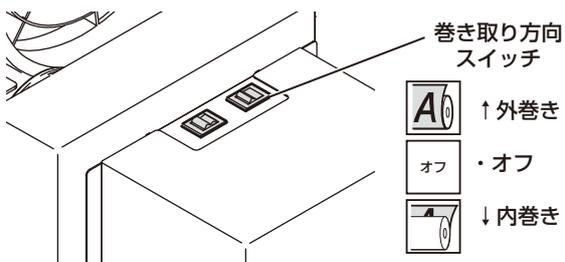
テンションバーガイドのカバーを閉じる



たるみが多すぎると…

◆ 巻き取り時間が所定値を越え、巻き取りタイムアウトエラーが発生する場合があります。エラーが発生した場合は、巻き取り方向スイッチをオフにしてから再度押してください。

14



巻き取り方向
スイッチ

-  ↑外巻き
-  ・オフ
-  ↓内巻き

巻き取り方向に合わせて、巻き取り方向スイッチを押す

15

RIP にデータを入れる

印刷する前に

印刷してみる

メンテナンス

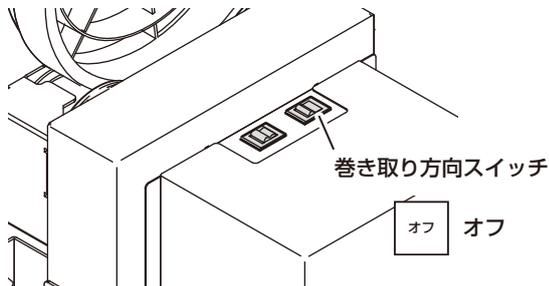
こんなときには

ふろく

メディアの取り外し

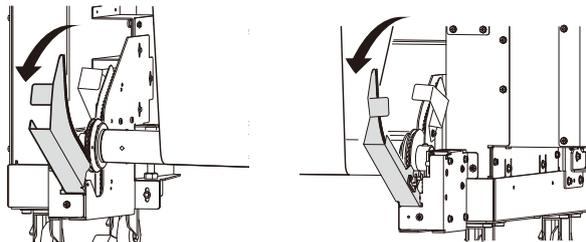
◆排紙側のメディア

1



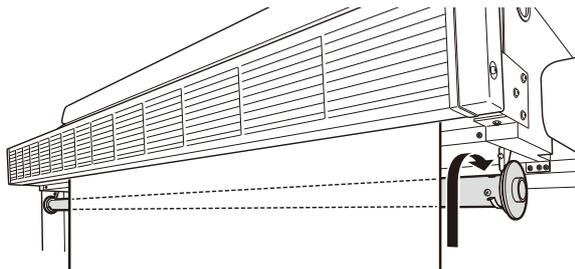
巻き取り方向スイッチをオフにする

2



テンションバーガイドのカバーを開ける

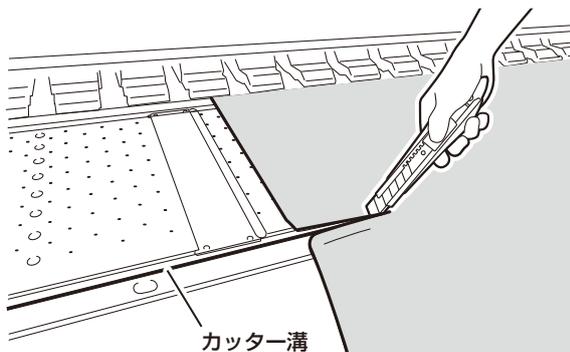
3



排紙側のテンションバーをテンションバーフックにかける

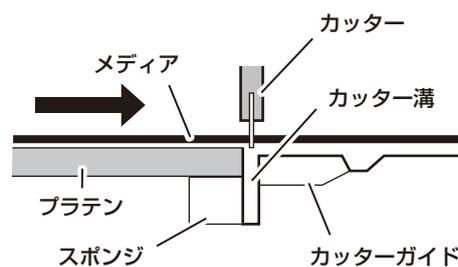


4



フロントカバーを開け、メディアをカットする

カッター溝にカッターナイフの刃を入れて、メディアをカットすることを推奨します。



⚠注意

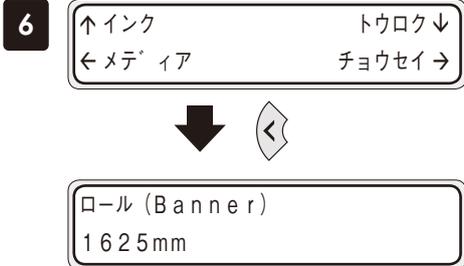
- ◆ 給紙側、巻き取り側のペーパーガイドには、それぞれメディアが貼り付かないようにするためのネットが貼られています。これらのネットは取り外さないようにしてください。
- ◆ メディアをカットする際はペーパーガイドネットを傷つけないようにしてください。
- ◆ 印刷済みのメディアが床に落下して汚れないように、ご注意ください。

5



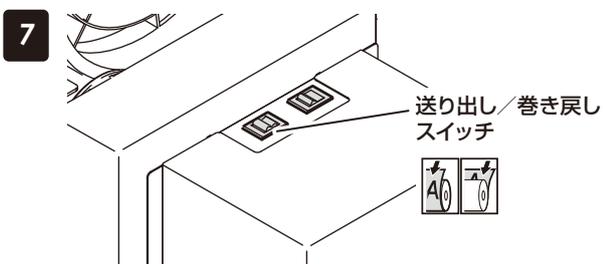
ONLINE キーを押して、オフラインにする





キーを押す

メディアメニューを選択し、巻き取り装置の巻き取り方向スイッチをオンにすることにより、送り出し／巻き戻しスイッチが有効となります。

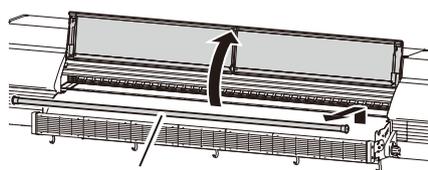


排紙側の送り出し／巻き取りスイッチを使ってメディアを巻き取る

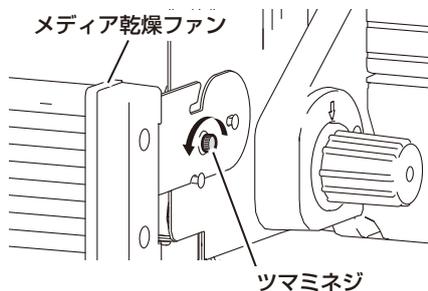


巻き取ったメディアの径が大きく、乾燥ファンにぶつかってしまう場合

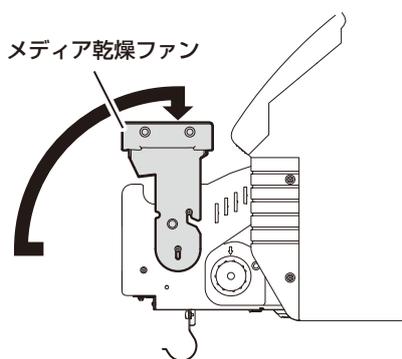
◆ 以下の手順で乾燥ファンを避けておいてください。



① 防護バーを取り外し、フロントカバーを開けます。



② 可動式のメディア乾燥ファン横のツマミネジ（左右1本ずつ）をゆるめます。



③ メディア乾燥ファンを手前に引いてから、上へ90度回転させます。

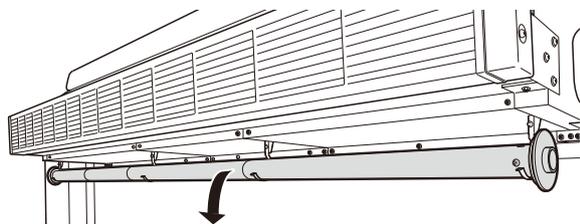


メディア乾燥ファンを上へ回転させると、やや下がって固定されます。

メディア乾燥ファンを戻すときは、上へ引き上げてから手前に倒し、奥へ押し込みツマミネジで固定してください。

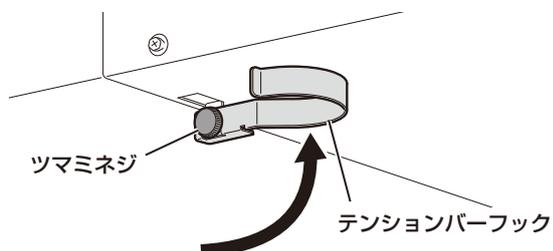
◆ メディア乾燥ファンを接続するケーブルが加圧操作ノブや横の支えの板金に引っかからないよう注意してください。

8



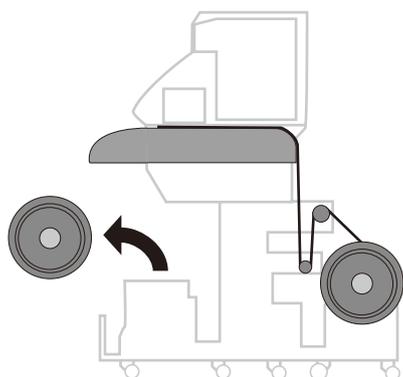
テンションバーをテンションバーフックから取り外す

9



各テンションバーフックのツマミネジをゆるめ、横にはね上げる

10



メディアを本体から取り外す

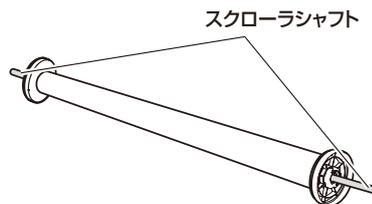
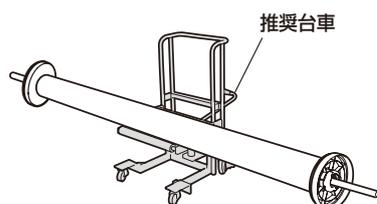
⚠️ 注意

フロントカバー

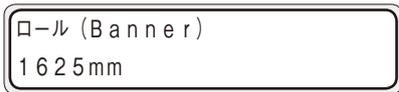
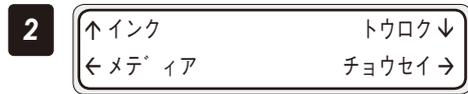
- ◆ メディアおよびスクローラは重量物です。これらを持ち上げる際はケガ防止のため、必ず2人以上で作業し、足の上に落とさないよう十分注意してください。また、重たいと感じたときは、作業者を増やすなどの対応を取ってください。無理をすると身体を痛める場合があります。
- ◆ 本機へのメディアの取り付け取り外し、メディア交換を行う場合は、ケガ防止のためリフター付台車（推奨台車）を使うようにしてください。手で運ぶ場合はスクローラシャフトを持って下さい。
- ◆ 本機とスクローラシャフトの間に手や指をはさまないように注意してください。

● 一人で運ぶ場合

● 二人以上で運ぶ場合



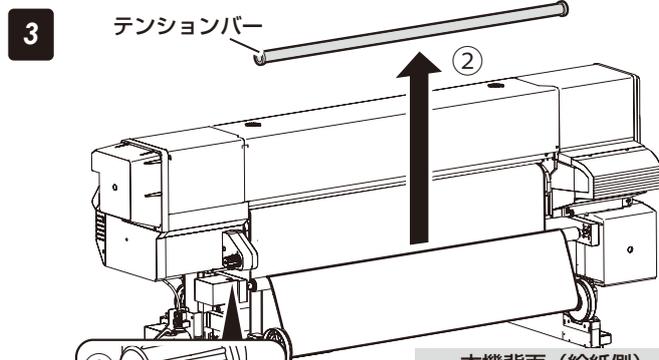
◆給紙側のメディア



ONLINE キーを押して、オフラインにする

◀ キーを押す

メディアメニューを選択し、給紙側の送り出し/巻き戻しスイッチが有効となります。

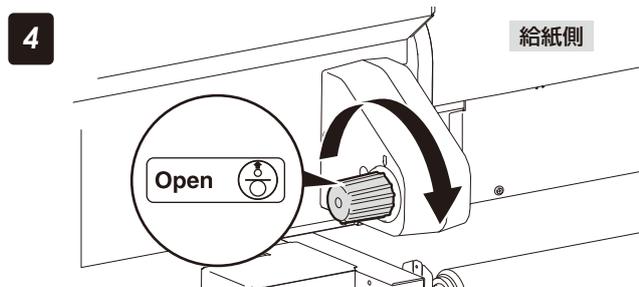
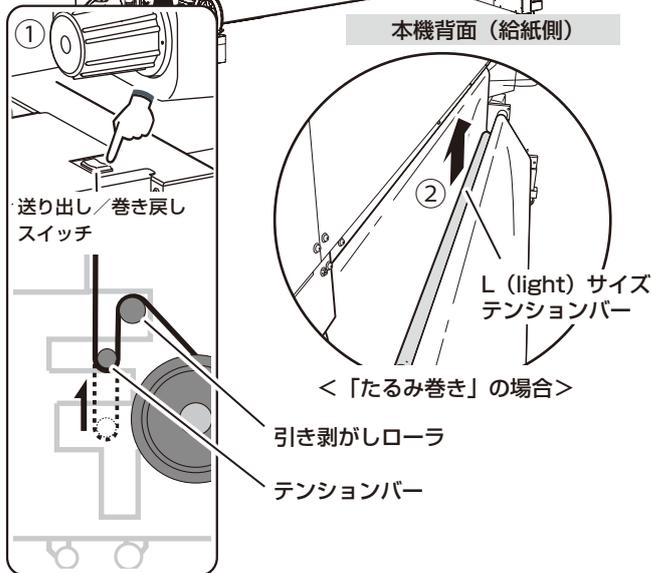


給紙側のテンションバーを取り外す

- ① 送り出し/巻き戻しスイッチを押して、たるみ部分を持ち上げます。
- ② 給紙側のテンションバーを取り出します。

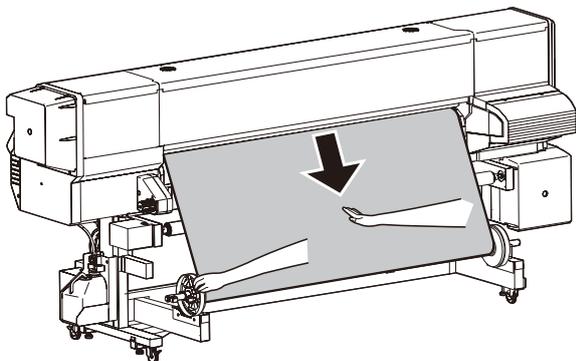
⚠注意

- ◆ 引き剥がしローラを手で回さないでください。無理に回すと故障の原因になる場合があります。



加圧操作ノブを回して、「Open」に合わせる

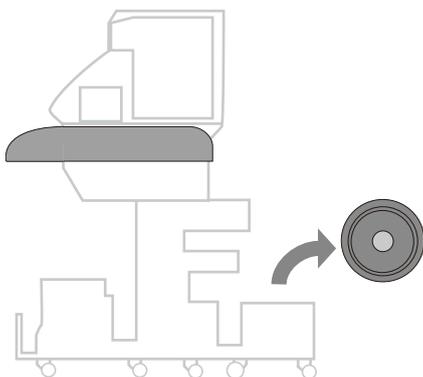
5



手動でスクローラを回転させてメディアを巻き取る



6

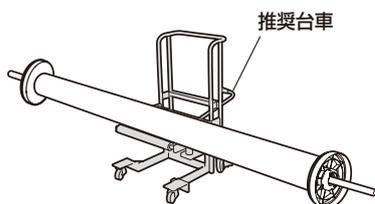


メディアを本体から取り外す

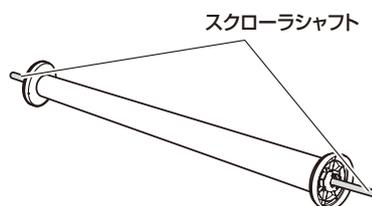
⚠️ 注意

- ◆ メディアおよびスクローラは重量物です。これらを持ち上げる際はケガ防止のため、必ず2人以上で作業し、足の上に落とさないよう十分注意してください。また、重いと感じたときは、作業者を増やすなどの対応を取ってください。無理をすると身体を痛める場合があります。
- ◆ 本機へのメディアの取り付け取り外し、メディア交換を行う場合は、ケガ防止のためリフター付台車（推奨台車）を使用するようにしてください。手で運ぶ場合はスクローラシャフトを持って下さい。
- ◆ 本機とスクローラシャフトの間に手や指をはさまないように注意してください。

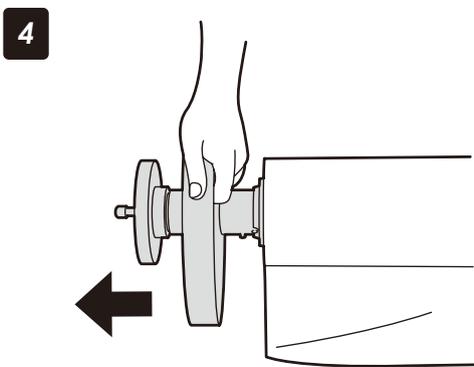
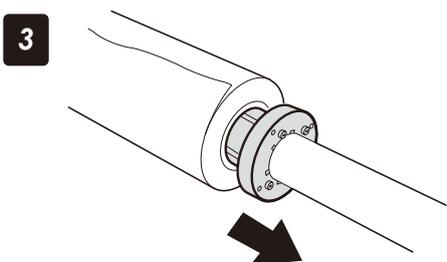
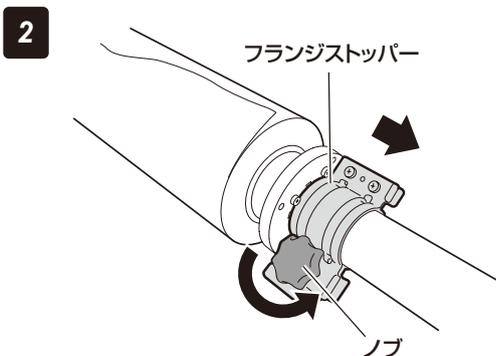
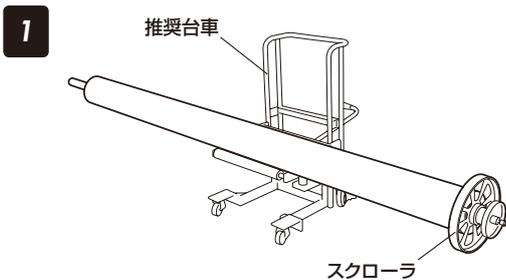
● 一人で運ぶ場合



● 二人以上で運ぶ場合



◆スクローラフランジの取り外し



メディアロールを台の上に乗せる

フランジストッパーを取り外す

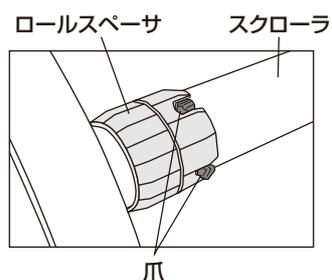
⚠注意

- ◆ フランジストッパーを移動させる時は、ノブを持って移動させて下さい。それ以外を持って移動させるとけがをすることがあります。

フランジスペーサーを取り外す

スクローラを取り外す

- ① ハンドルを反時計方向に回します。
- ② ハンドルとスクローラ軸の間に隙間ができたなら、スクローラを取り外します。



⚠注意

- ◆ スクローラの爪部分には触らないでください。

メディアを変えて印刷する

◆このメディアで印刷したい

塩ビ

- 巻き取り方式

たるみ巻き

- 給紙側テンションバーのサイズ

L(light)サイズ

- 本機の設定

光沢塩ビの場合

シュルイフセンタクシテクダ'サイ
シュルイセンタク:Glossy

メディアの種類:「Glossy」

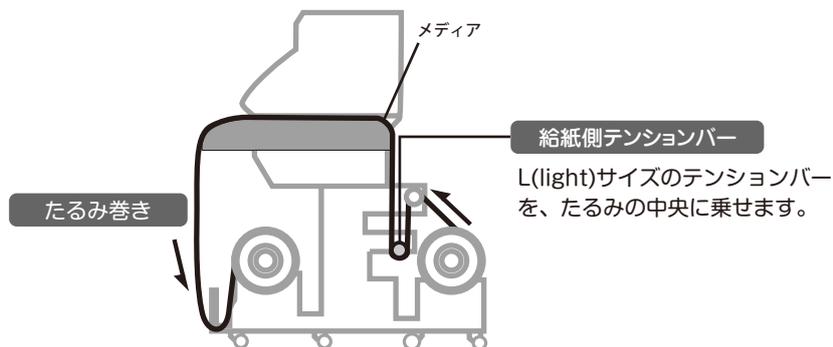
光沢なし塩ビの場合

シュルイフセンタクシテクダ'サイ
シュルイセンタク:Matte

メディアの種類:「Matte」

#メディアモード'シモード'
>01:モード'ス

メディア戻しモード:「モード'ス」



ターポリン

- 巻き取り方式

テンション巻き

- 給紙側テンションバーのサイズ

メディア幅と同じ長さ

- 本機の設定

シュルイフセンタクシテクダ'サイ
シュルイセンタク:Banner

メディアの種類:「Banner」

#メディアモード'シモード'
>01:モード'ス

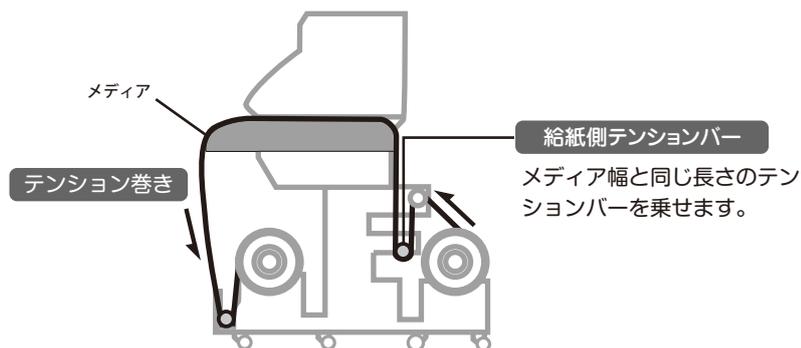
メディア戻しモード:「モード'ス」

#メディアオクリモード'
>01:シーケンス2

メディア送りモード:「シーケンス2」

#キューチャクファン
>01:ジャク

吸着ファン:「ジャク」



メディアジャムを防ぐために…

- ・アフターヒーターの温度を50℃以下に設定することをおすすめします。
- ・必ず巻き取り装置を使用してください。
- ・巻き取り方式はテンション巻きで使用してください。
- ・メディア送りモードは「シーケンス2」で使用してください。
- ・吸着ファンは「ジャク」で使用してください。

メッシュターポリン (ライナー付き)

- 巻き取り方式

テンション巻き

- 給紙側テンションバーのサイズ
メディア幅と同じ長さ

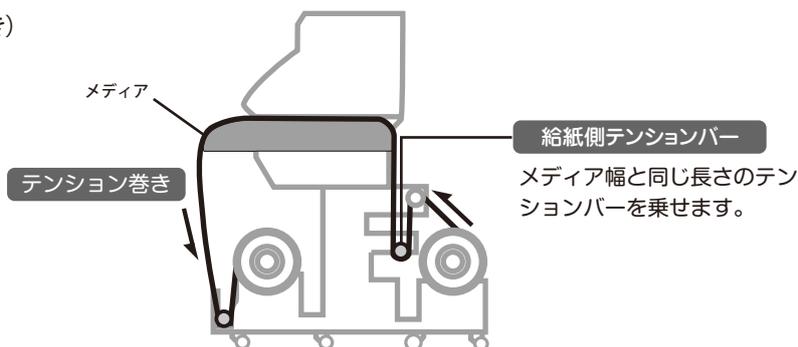
- 本機の設定

シュルイラセンタクシテクタ`サイ
シュルイセンタク: Banner

メディアの種類:「Banner」

#メデ`イアモド`シモード`
>01:モド`ス

メディア戻しモード:「モドス」



メディア幅と同じ長さのテンションバーを乗せます。



ライナーなしメッシュターポリンは?

オプションの「メッシュ印刷キット」が必要です。メディアの取り付け方法は付属の取扱説明書を参照してください。

電飾ターポリン (FF)

- 巻き取り方式

テンション巻き

- 給紙側テンションバーのサイズ
メディア幅と同じ長さ

- 本機の設定

シュルイラセンタクシテクタ`サイ
シュルイセンタク: BLT_B

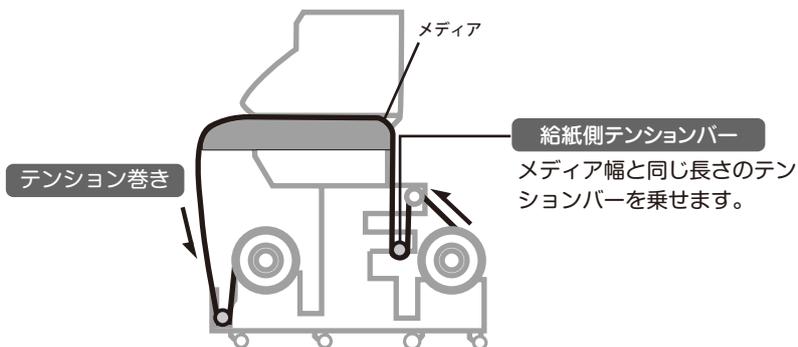
メディアの種類:「BLT_B」

#メデ`イアモド`シモード`
>01:モド`ス

メディア戻しモード:「モドス」

Aft 50 Prn 40 Pre 45
C) 50 C) 40 C) 45

アフターヒーター:50℃/プリントヒーター:40℃/
プリヒーター:45℃



メディア幅と同じ長さのテンションバーを乗せます。

ソルベント用コート紙

- 巻き取り方式

たるみ巻き

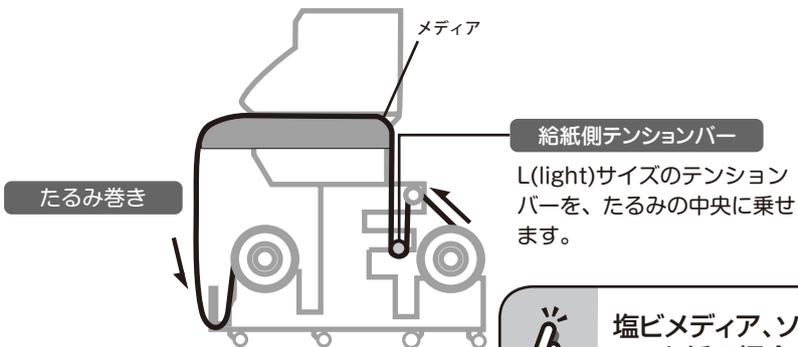
- 給紙側テンションバーのサイズ
L(light)サイズ

- 本機の設定

#メデ`イアモド`シモード`
>01:モド`ス

メディア戻しモード:「モドス」

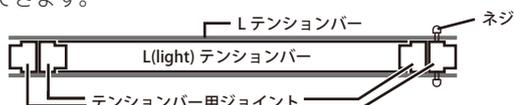
#メデ`イアオクリモード`
>01:シーケンス4



L(light)サイズのテンションバーを、たるみの中央に乗せます。



Lテンションバーは、分解して、中にL(light)テンションバーを入れることで、重さを調整することができます。



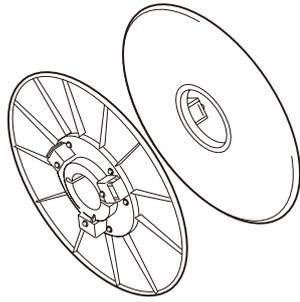
塩ビメディア、ソルベントコート紙の場合

メディア幅にかかわらず、L(light)のテンションバーを使います。

◆ L(light)にはジョイント部分がなく、他のテンションバーと組み合わせることはできません。塩ビメディア、ソルベントコート紙専用です。

◆メディアをたるみ巻きで巻き取る場合

メディアの巻きズレを抑える為に、紙管フランジをスクローラに取り付けます。紙管の長さに応じてスペーサーラバーを取り付けてください。



紙管フランジ (2個)



スペーサーラバーA (1個)



スペーサーラバーB (1個)



スペーサーラバーC (1個)

■ 紙管の幅がメディア幅より広い場合



紙管フランジ



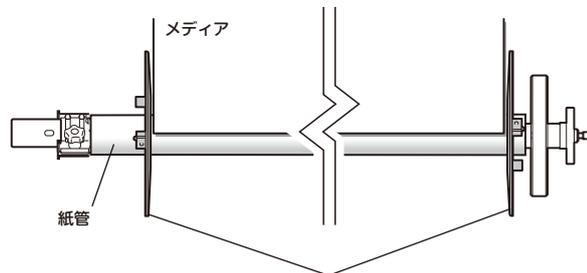
スペーサーラバーA



スペーサーラバーB



スペーサーラバーC



紙管フランジを紙管に直接取り付ける

■ 紙管の幅がメディア幅と同じ場合



紙管フランジ



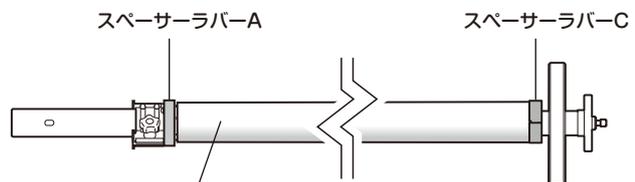
スペーサーラバーA



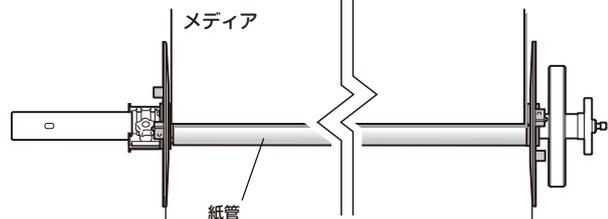
スペーサーラバーB



スペーサーラバーC



紙管フランジをスペーサーラバーAに取り付ける



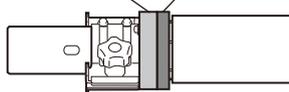
紙管フランジをスペーサーラバーCに取り付ける



↑ スペーサーラバーBの使い道

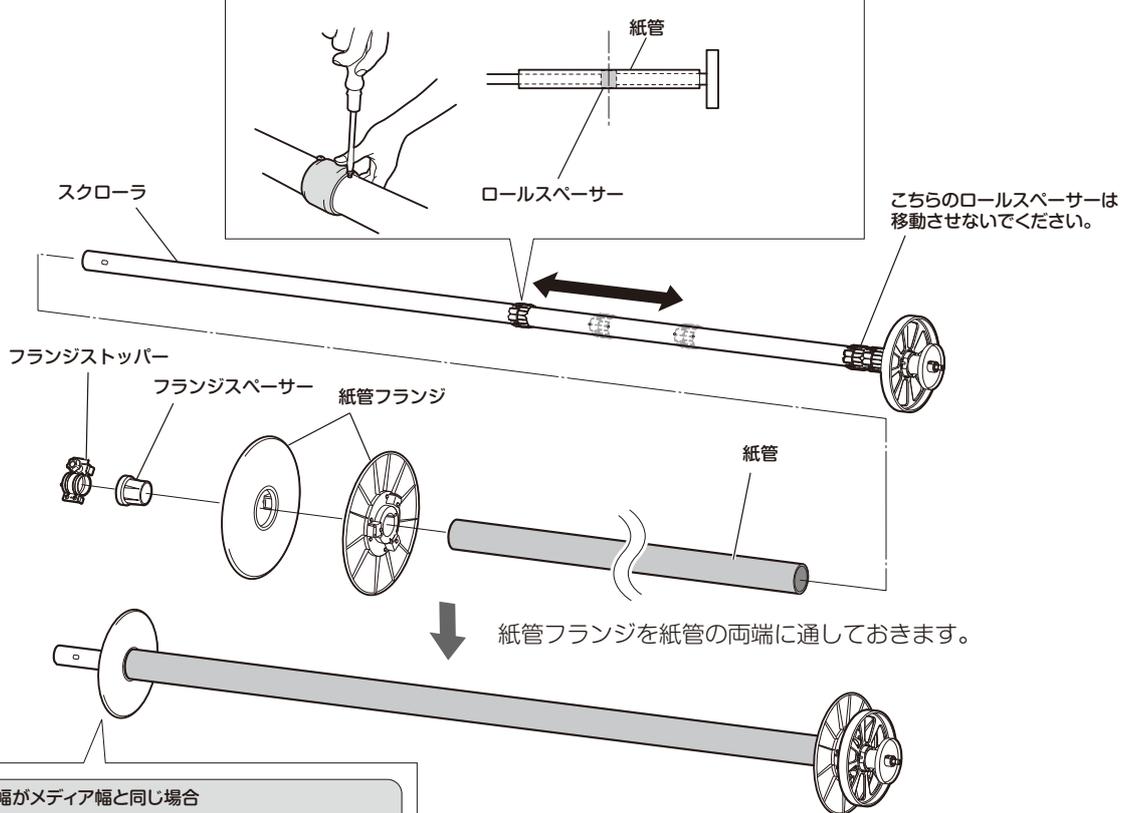
紙管の内径が小さく、フランジスペーサーが奥まで入らず、スペーサーラバーAと紙管の端面が広く開いてしまう場合に、スペーサーラバーBをその間に入れます。

スペーサーラバーA スペーサーラバーB



7 紙管を用意し、スクローラに取り付ける

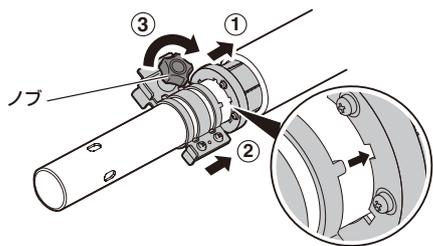
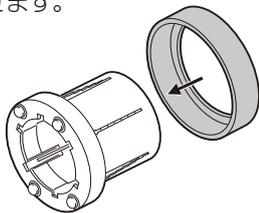
ねじ2本をはずし、紙管の中心にくるようにロールスペーサーを動かします。ねじ止め位置は3ヶ所あります。



紙管フランジを紙管の両端に通しておきます。

紙管の幅がメディア幅と同じ場合

フランジスペーサーにスペーサーラバー A を被せます。

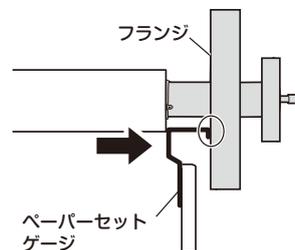


- ① フランジスペーサーには階段状の突起部がついています。突起部が紙管の奥にしっかりと収まるまで押し込んでください。
- ② フランジストッパーをフランジスペーサーの爪の位置に合わせて取り付けます。
- ③ ノブを締めて固定します。

⚠ 注意

- ◆ フランジストッパーを移動させる時は、ノブを持って移動させて下さい。それ以外を持って移動させるとけがをする場合があります。

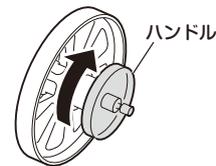
ペーパーセットゲージを使い、紙管のエッジとフランジの間隔を決めます。



ペーパーセットゲージ

ペーパーセットゲージのフランジ側はフランジのスポーク面に当てます。

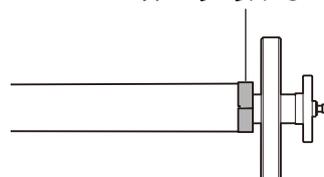
ハンドルを時計回りに止まるまで回し、スクローラを固定します。



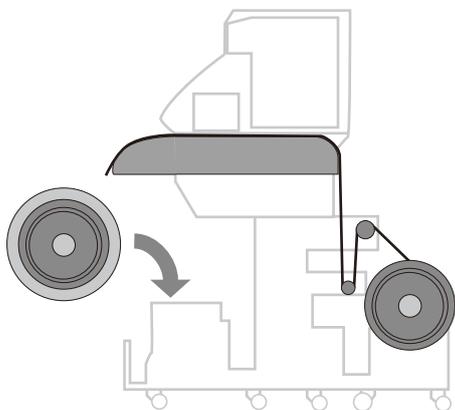
紙管の幅がメディア幅と同じ場合

スペーサーラバー C をスクローラに取り付けます。

スペーサーラバー C



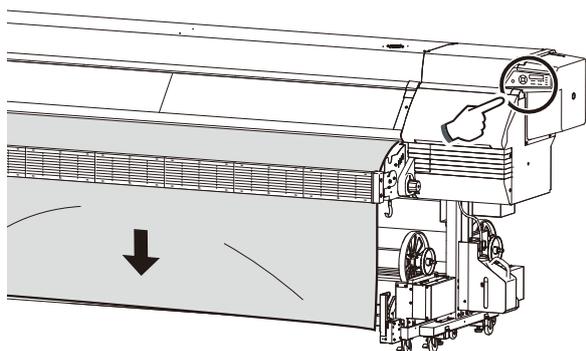
2



スクローラを巻き取り装置に載せる

ここから以降はスクローラを巻き取り装置本体に載せた状態のほうが作業がしやすくなります。

3



 キーを押して、メディアを巻き取れる程度まで送る

フィードチュウ

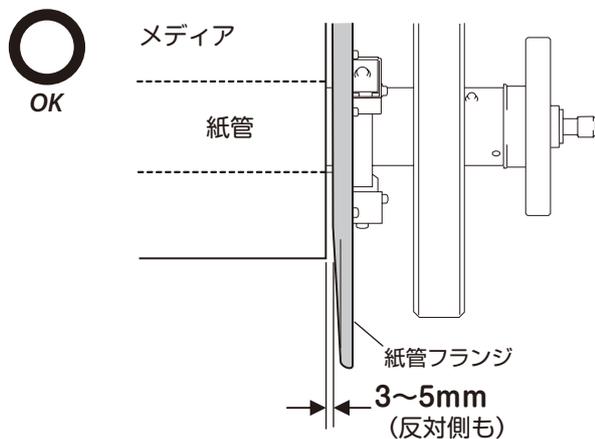
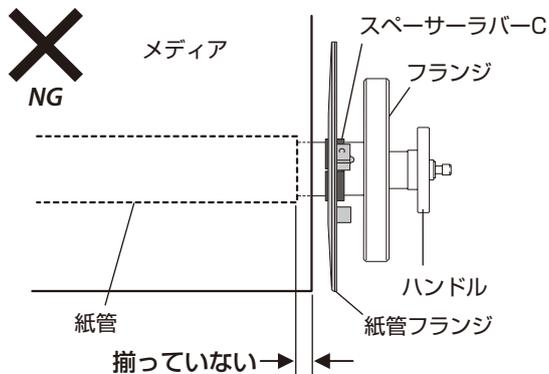
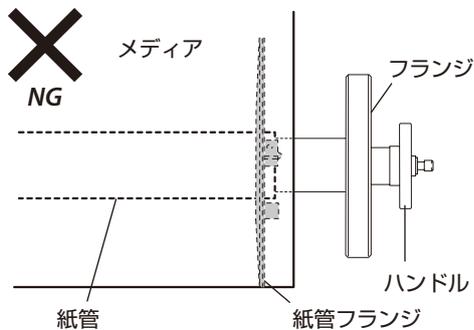
4

紙管フランジの位置を微調整する

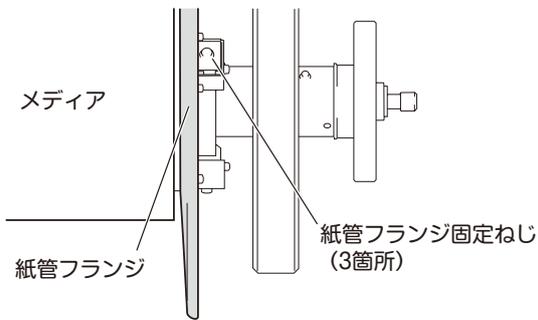
2つの紙管フランジをメディア端から3～5mmの位置になるように微調整します。

ハンドルを緩めて、紙管または紙管フランジの位置を動かして調整してください。

調整したら、ハンドルを回して紙管を固定します。



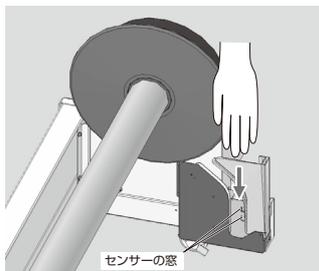
5



紙管フランジを固定する

紙管フランジ外側の3個のねじを均等に締めます。

6



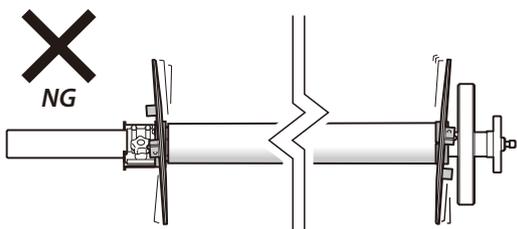
巻き取りロールを回転させ、紙管フランジが左右に振れないことを確認する

左右の紙管フランジで同じことを実施してください。

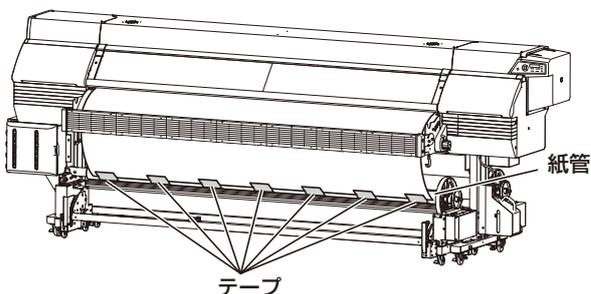


巻き取りロールの回転のさせ方

- ① 装置右側のセンサーの窓を手で左図矢印のように遮ります。(左図矢印のように上方から下方へ遮らないと回転しません。)
- ② 遮ったままにすると約4秒間回転し、停止します。
- ③ さらに回転させたい時は①②の操作を繰り返します。



7



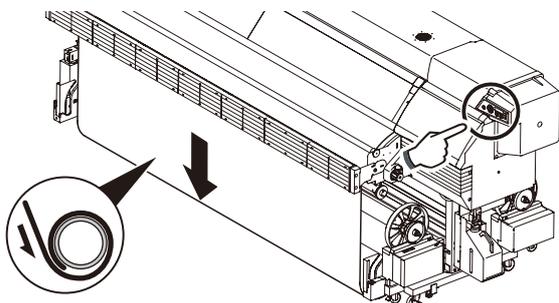
メディアを紙管に外巻きで取り付ける

粘着テープを使って、最初に中央に真っ直ぐに止め、次に両端に向かって粘着テープ止めをしてください。

⚠注意

- ◆ メディアを紙管に対して斜めに取り付けると、メディアのスキューの原因となりますので注意してください。

8



✓ キーを押して、メディアを送り、紙管に1周分巻き付ける

9

紙管フランジの取り付け位置を必要に応じて微調整する

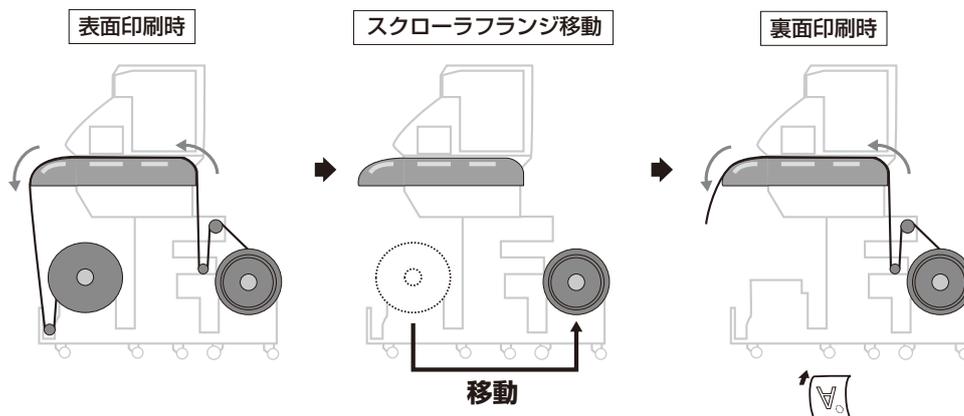
両面印刷する



両面印刷について

- ◆ 本機には、メディアの送り補正値を正確に補正しながらメディアを送る機構がないため、表面裏面の画像位置をぴったりと合わせることはできません。

最初に印刷する面を「表面」、次に印刷する面を「裏面」として、両面印刷の操作手順を説明します。以下に、表面を印刷した後、そのメディアを巻き取ったスクローラフランジごと給紙装置にセットし直し、裏面を印刷する方法を説明します。



1

メディアアセンタクシテクダサイ
メディアアセンタク: オモテ

メディアをセットする

メディアの取り付け方法は、[31 ページ](#)を参照して行ってください。

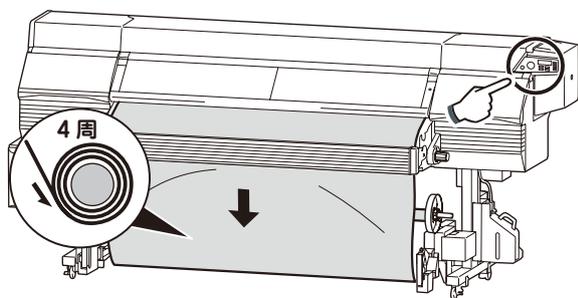
この時、操作パネルで行う「給紙の選択」は ,
 キーで「オモテ」を選択してください。



凸凹が多い面から印刷します

- ◆ 片面印刷用ターポリン（表面と裏面でメディア表面の凸凹状態が異なるターポリン）を使用する場合は、凸凹の多い面を先に「オモテ」として印刷するようにしてください。

2



巻き取り装置へセットする

巻き取り装置への取り付け方法は、[39 ページ](#)を参照して行ってください。



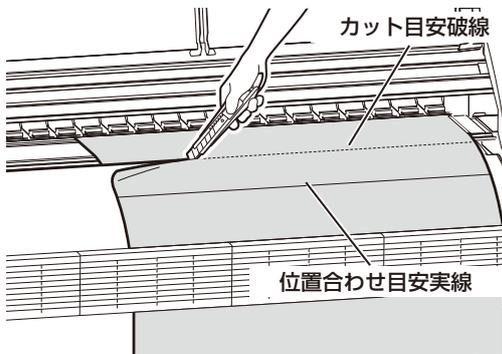
紙管に4周巻き付けて

- ◆ 裏面印刷時には約 2.5m 以上のメディアの余裕が必要なので、あらかじめ巻き取り装置に 4 周程度メディアを巻き取っておいてください。

3

表面の印刷を開始する

4



印刷終了後、フロントカバーを開けてメディアをカットする

表面の印刷が完了すると、最後に2本の線が印刷されます。1本目の線は表裏の印刷位置を合わせるための目安実線で、2本目の線はカット目安破線です。



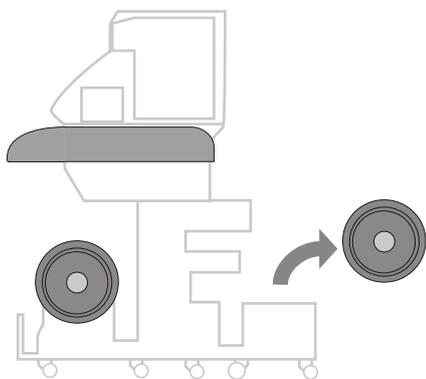
以下をおすすめします

- ◇ プラテンとペーパーガイドとの隙間に cutter ナイフの刃を入れて、メディアをカットすることを推奨します。
- ◇ 1本目の位置合わせ目安実線の位置を裏面の両端に記しておく、裏面をセットする際に便利です。

⚠ 注意

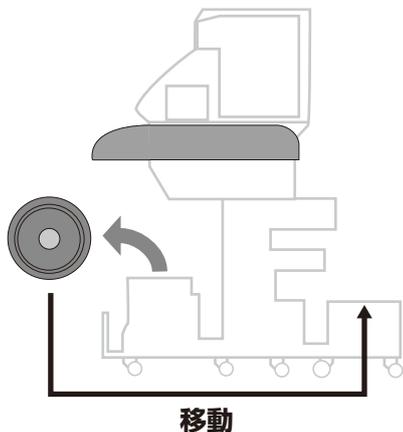
- ◆ 印刷面は画像によって乾く時間が異なります。印刷面が乾いたことを確認してから次の操作を行ってください。一般的に、3時間以上（濃度の濃い印刷の場合には一昼夜）乾燥させてから裏面印刷を行ってください。
- ◆ 印刷済みのメディアが床に落下して汚れないように、ご注意ください。

5



給紙側のメディアを本機から外す ([P.47](#) ページ)

6



排紙側のメディアを本機から外し、給紙側に移動する



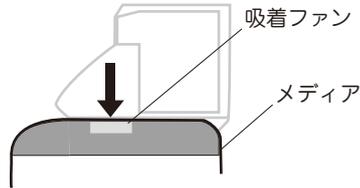
裏面の印刷を始める前に…

- ◆ 操作パネルから、使用するメディアに合わせて「キュウチャクファン」の設定を変更しておいてください。貼り付きやすいメディアの場合には、「キュウチャクファン」を「ジャク」に変更してください。裏面側では、「メディアオクリモード」の設定は無視され、「シーケンス1」として動作します。

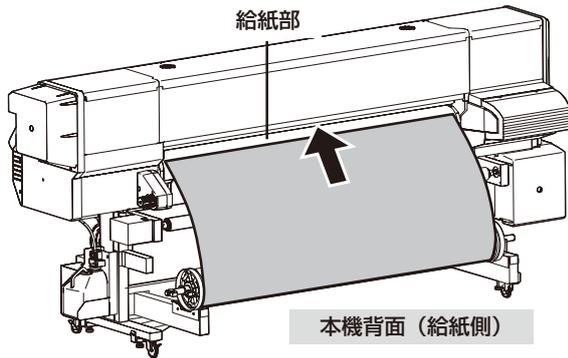
- 吸着ファン：「弱」

#キュウチャクファン
>01:ジャク

吸着ファンの風量を弱くして、メディアの貼り付きを押さえます



7



メディア先端を給紙部に挿入する

メディアにシワが入らないよう手で伸ばしながら給紙部に挿入します。

注意

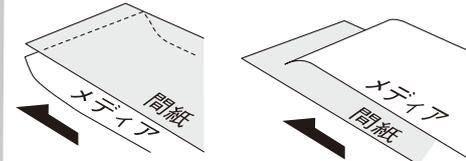
- ◆ メディアが斜めだったり、シワが入っていたりすると、メディアジャムやスキューの原因になります。



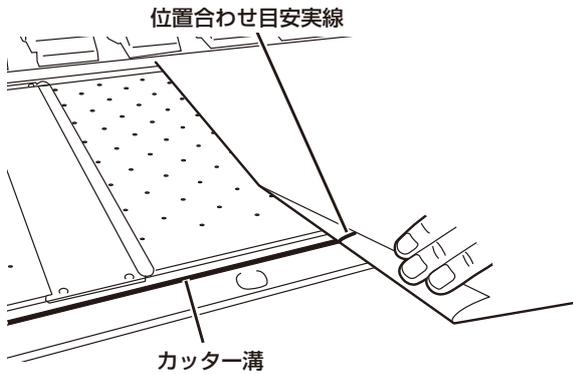
メディアに巻き癖がある場合

- ◆ メディアに巻き癖があって給紙部に差しづらい場合は、別紙（間紙）を使用してメディアを差し込んでください。

- ・アップカール
- ・ダウンカール



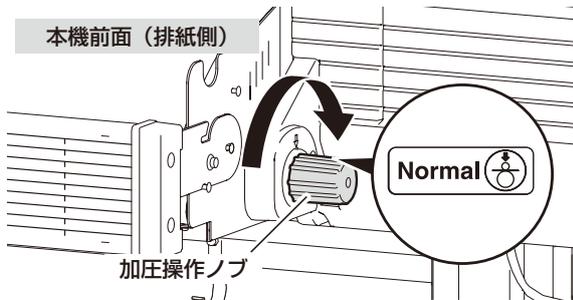
8



位置合わせ目安実線がカッター溝の位置に来るように合わせる

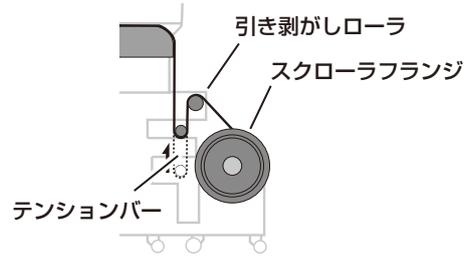
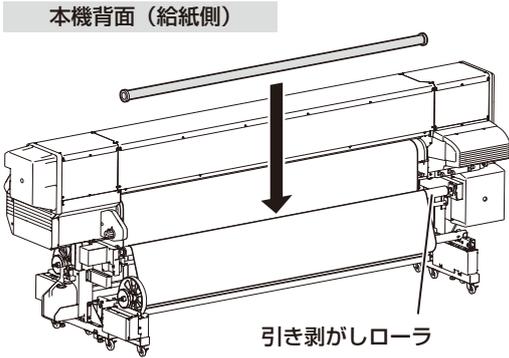
先端の左右で位置が合わない場合は、片側を先に合わせ、動かないように押さえてから、反対側を引っ張って位置調整します。

9



加圧操作ノブを操作し、「Normal」に合わせる

10 送り出し／巻き戻しスイッチを使って、引き剥がしローラの内側にメディアのたるみを作り、給紙側テンションバーを載せる (☞ 38 ページ)



11 カバ ーヲ
シメテクダ サイ

エッジ ガ ード カクニン
*OK?

OK

12 メデ ィアヨセンタクシテクダ サイ
メデ ィアセンタク:ウラ

OK

13 シュルイヨセンタクシテクダ サイ
シュルイセンタク:Banner

OK

14 タルミハ ッファカクニン
*OK?

OK

15 メデ ィアセツチュウ
シハ ラクオマチクダ サイ

16 裏面の印刷を開始する

メディアエッジガードをセットし、フロントカバーを閉める

「ウラ」を選択し、**OK** キーを押す
⏴, ⏵ キーで「ウラ」を選択します。

用紙の種類を選択する
⏴, ⏵ キーで用紙を選択します。

給紙側のたるみを確認する

- ・ 正常に終了した場合は、オンラインの状態または、オフラインの状態に戻ります。
- ・ 正常に終了しなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

手順 **7** に戻ってやり直してください。

◆ 裏面の印刷を開始する前にプリントヘッドのクリーニングをしておくことをおすすめします。



データのご確認を

- ◆ RIP からのデータ転送は、裏表で 180° 回転した状態となりますのでご注意ください。



日常メンテナンス

本プリンターを安定稼働させるために、日常メンテナンスを実施してください。

特に以下の3点については、注意してください。

- ◆ワイパークリーニング液、スピット液は定期的に補充をしてください。
- ◆ヘッドクリーニングシートによるヘッドノズル面清掃は、定期的の実施してください。
- ◆プリントヘッドは精密機器です。ノズル面の直拭きはしないでください。

日常メンテナンスは、操作パネルからも実施できますが、付属の CP_Manager を使用して頂くとわかり易い解説が含まれています。是非ご活用ください。

以下に日常メンテナンスの一覧を示します。

 各消耗品の交換時期について

消耗品型番、名称		容量、個数	交換周期
IP7-028	排気ファンフィルター	60枚	約1ヶ月
IP7-027	ダストフィルター	1ロール	約3ヶ月
IP7-167	スピットケース	4個	約3ヶ月
	スピットユニット	1個	約1年
IP7-231	ワイパークリーニング液セットA (300ml)	2本	約6ヶ月/本
IP7-233	ワイパーブレード		
	ゴムブレード	8枚	約1年
	スポンジブレード	8枚	

No.	項目	毎日	1回/週	1回/月	1回/3ヶ月	1回/6ヶ月	1回/年
A	メディアセット						
B	キャップ						
C	廃インクボトル						
D	クリーニング						
E	ノズルプリント						
F	ワイパーブレード						
G	ワイパークリーニング液						
H	スピット液						
I	ヘッドガード						
J	エッジガード						
K	排気ファンフィルター						
L	キャリッジ						
M	外装 (フロントカバー)						
N	シートマウントクリーニング						
O	スピットケース						
P	ダストフィルター						
Q	自動印刷調整用センサー周りの清掃						



・・・確認



・・・補充



・・・交換



・・・外す



・・・セット



・・・清掃



・・・パネル操作

印刷する前に

印刷してみる

メンテナンス

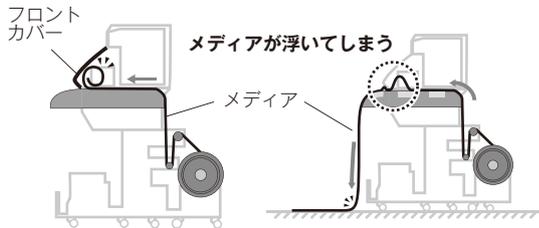
こんなときには

ふろく

イ 毎日

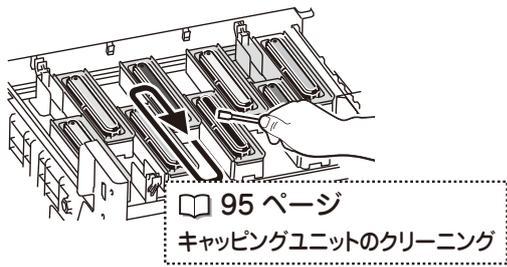
開始前のメンテナンス

A メディアのしわやメディア浮きがないことを確認してください。

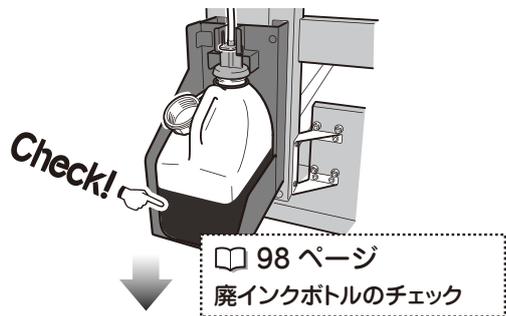


66 ページ
メディアのしわの確認

B キャップを清掃しましょう!



C 廃インクを捨てましょう!



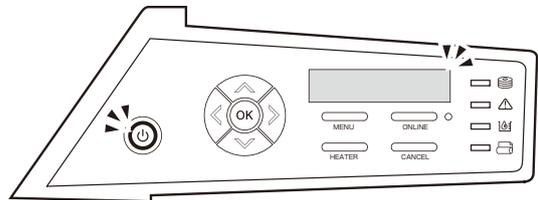
D 「ヘッドクリーニング」をしましょう!

#クリーニング
> ツウジョウ

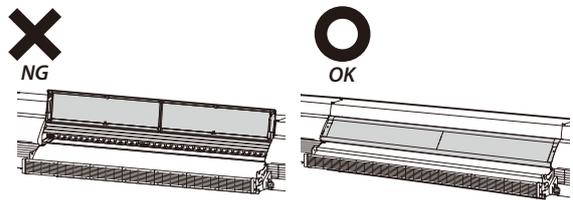
99 ページ
ツウジョウクリーニングの実施

その日使い終わったら

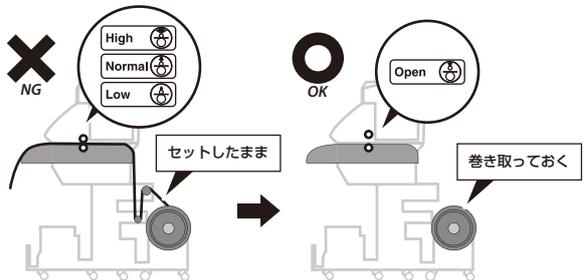
電源は入れたままにしましょう!



カバーは閉めておきましょう!



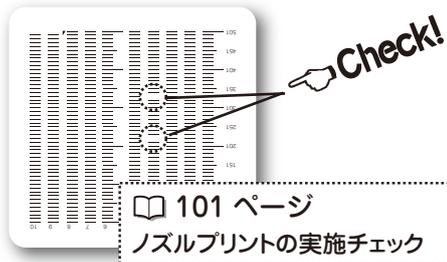
メディアを巻き取りましょう!



104 ページ
メディアの取り外し

E 「ノズルプリント」を印刷しましょう!

#ノズルプリント
#インサツジッコウ>



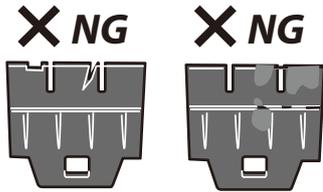
No.	毎日	1回/週	1回/月	1回/3ヶ月
イ	A	S R		
	B	C		
	C	👁️ 🔄		
	D	P		
	E	P		

No.	毎日	1回/週	1回/月	1回/3ヶ月
ロ	F	👁️ 🔄		
	G	👁️ 🖋️		
	H	👁️ 🖋️		
	I	👁️ C		
	J	👁️ C		

📦 毎週

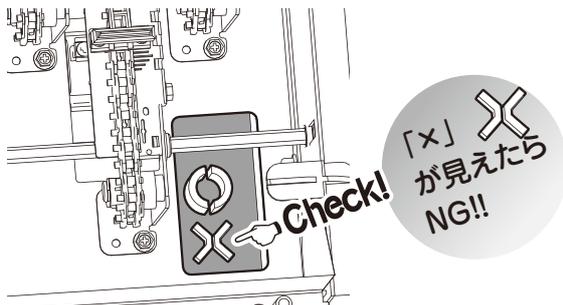
開始前のメンテナンス

F ワイパーブレードはきれいですか？



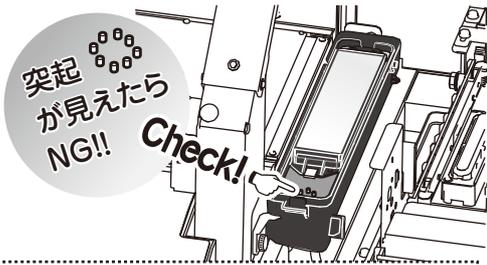
📖 87 ページ
ワイパーブレードのきず、汚れの確認

G ワイパークリーニング液は適量ですか？



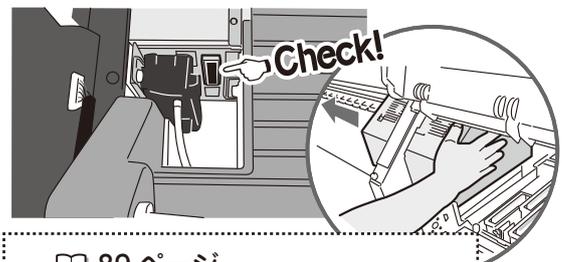
📖 85 ページ
ワイパークリーニング液の補充

H スピット液は適量ですか？



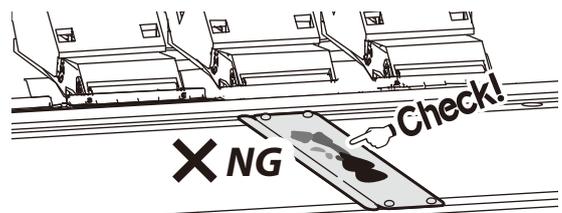
📖 81 ページ
スピット液の補充

I ヘッドガードにゴミ・汚れがないですか？



📖 89 ページ
ヘッドガードの清掃

J メディアエッジガードはきれいですか？

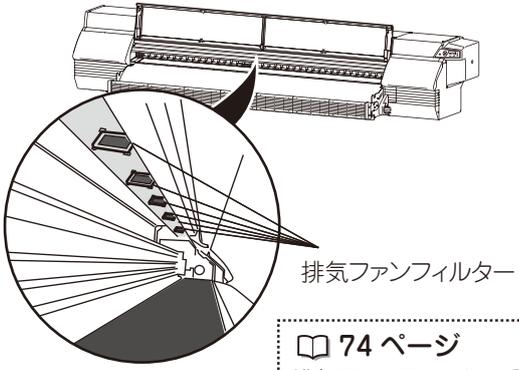


📖 83 ページ
メディアエッジガードの清掃

ハ 1ヶ月ごと

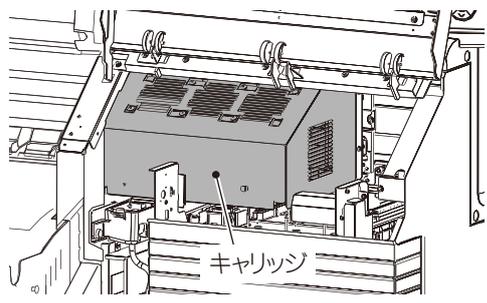
開始前のメンテナンス

K 排気ファンフィルターが汚れていませんか？



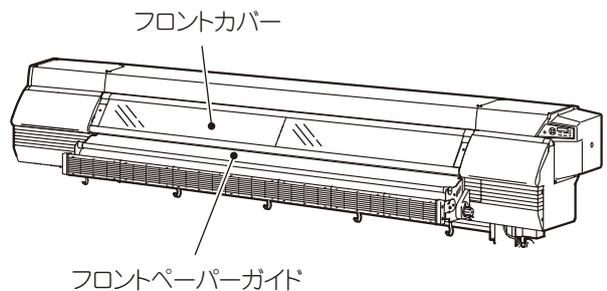
74 ページ
排気ファンフィルターの交換

L キャリッジが汚れていませんか？



77 ページ
キャリッジの清掃

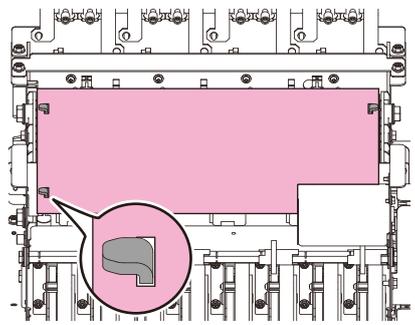
M フロントカバーなどに汚れがついていませんか？



79 ページ
フロントカバーの清掃

シートマウントクリーニング

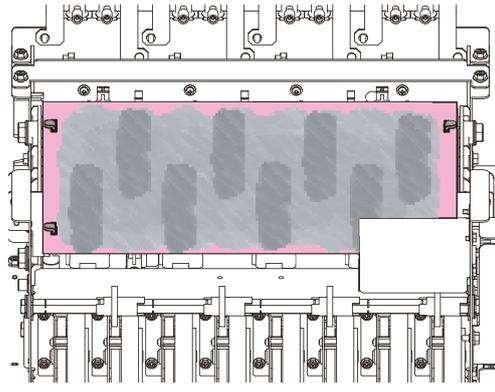
N シートマウントクリーニングでヘッドの清掃を行ってください。



105 ページ
ヘッドの清掃

シートマウントクリーニングの終了後

N シートマウントクリーニングの取り外し

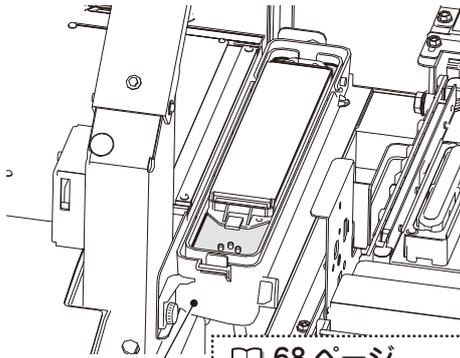


No.	毎日	1回/週	1回/月	1回/3ヶ月
ハ	K		◀▶	
	L		C	
	M		C	
	N		S R	

No.	毎日	1回/週	1回/月	1回/3ヶ月
-	O			◀▶
	P			◀▶

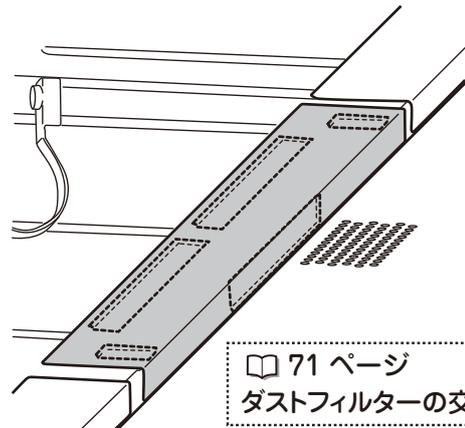
ニ 3ヶ月ごと

O スピットユニットが汚れていませんか?



スピットユニット
 68 ページ
 スピットユニットの交換

P ダストフィルターが汚れていませんか?

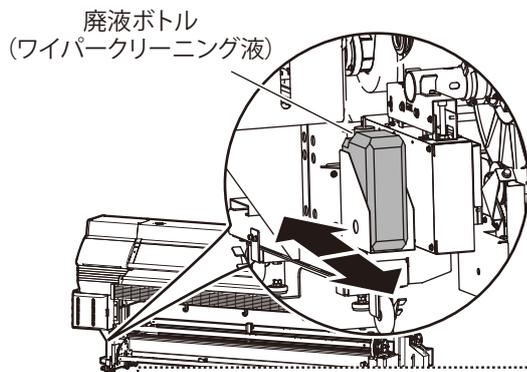


71 ページ
 ダストフィルターの交換

No.	毎日	1回/週	1回/月	1回/3ヶ月	1回/6ヶ月	1回/年
ホ	G				◀▶	

ホ 6ヶ月ごと

G ワイパークリーニング液が汚れていませんか?

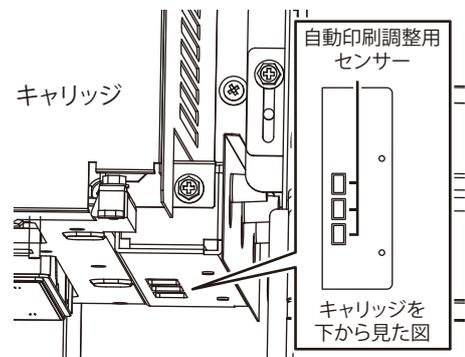


135 ページ
 ワイパークリーニング液の交換

No.	毎日	1回/週	1回/月	1回/3ヶ月	1回/6ヶ月	1回/年
へ	Q					C

へ 一年ごと

Q 自動印刷調整用センサー周りが汚れていませんか?

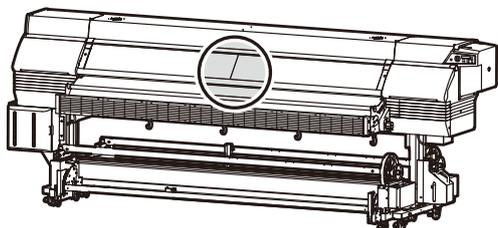


92 ページ
 自動印刷調整用センサー周りの清掃

開始前のメンテナンス

◆ メディアのしわ確認

■ 作業場所



1

メディアノシワ
カクニンシテクダサイ

メディアにしわが発生していないか確認します。

メディアにしわが発生している場合は、メディアを
セットし直すか、しわがなくなるまでフィードを実施
してください。

※シワがある状態で作業を開始すると、ノズル面にダ
メージを与えることがあります。

◆ 開始前のメンテナンス実行

1

↑ハックフィード	フィード↓
←クリーニング	サービス→



2

#カイシマエノメンテナンス
>

キーを押す

「#カイシマエノメンテナンス」を実行すると以降のメンテナンスがガイダンス形式で表示されます。

実行する場合は **OK** キー、スキップする場合は、**CANCEL** キーを押す

印刷する前に

印刷してみる

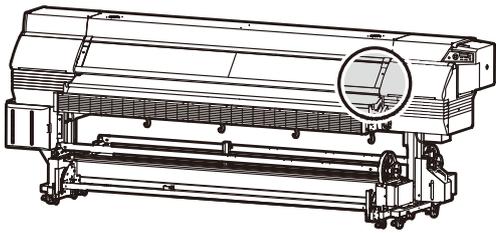
メンテナンス

こんなときには

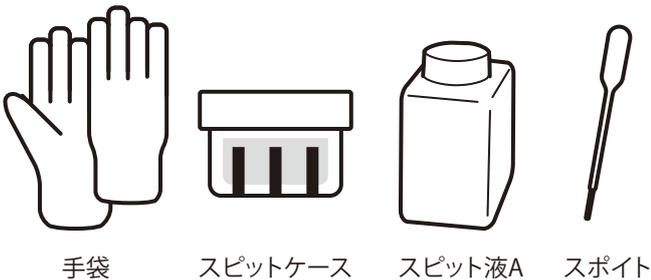
ふろく

◆ スピットケース／スピットユニットの交換

■ 作業場所



■ 使用する消耗品



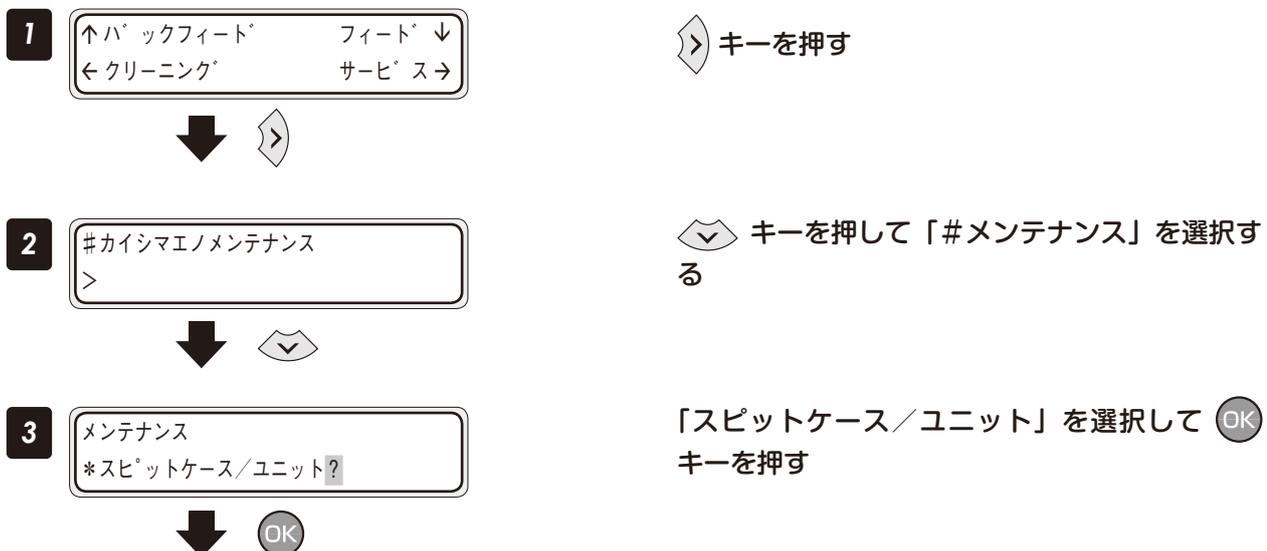
表面の汚れ具合を目安にして、3ヶ月に1回、スピットケースを交換してください。スピットケース交換時に、スピットユニットおよびチューブのセットをお持ちの場合は、合わせて交換をしてください。(IP7-167には、スピットケース4個に対しスピットユニット1個、チューブが1本ついています) また、スピット液も同時に交換してください。



こんなときは交換です

◆ スピットケース表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている時が交換時期です。

操作メニューから「スピットケース／スピットユニットの交換を実施する場合、手順1から始めてください。「#カイシマエノメンテナンス」から実行する場合は、手順4から開始します。3ヶ月または、2.5 Km走行すると、開始前のメンテナンスのガイダンスで交換が促されます。



4

カバーアケテクダサイ

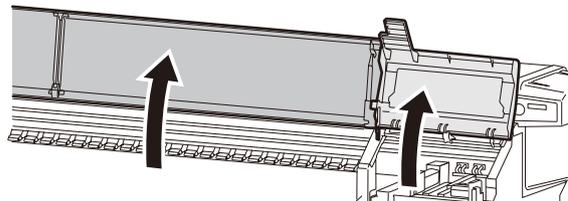


5

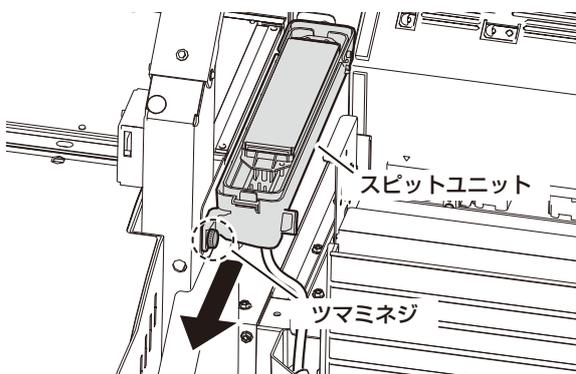
 スピットケース/ユニットコウカン?
 YES: OK/NO: CANCEL


OK

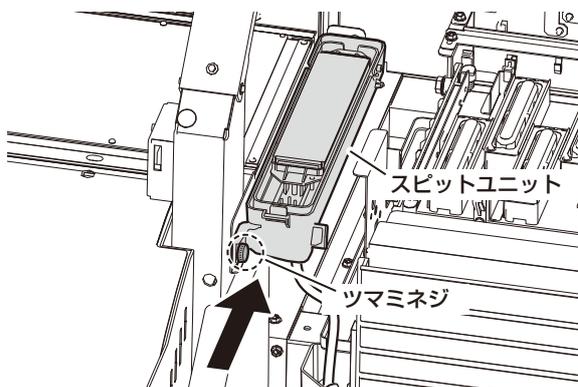
6



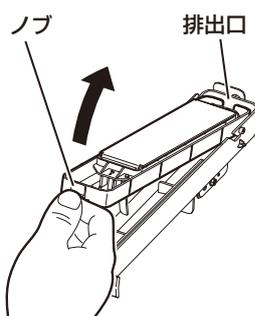
7



8



9



フロントカバーを開ける

手順6以降の交換が完了したあとにOKキーを押す

フロントカバーを開けてから、キャップカバーを開ける

 スピットユニットをお持ちの場合は、スピットユニットごと交換してください。
 スピットユニットがない場合は、手順9以降を実施してください。

スピットユニットのツマミネジ1本を外し、スピットユニットを取り外す



⚠注意

- ◆ スピットユニット内にはクリーニング液が入っています。こぼさないようにご注意ください。

 新品のスピットユニットを取り付ける
 (ツマミネジ1本)

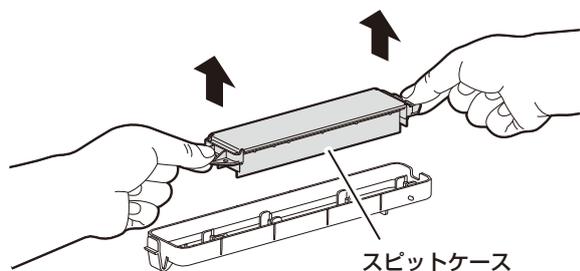

スピット液が入っているケースの手前のノブを押して外し、手前を持ち上げてスピット液を奥側へ排出する

 排出したスピット液は、廃液ボトルに入ります。
 排出が終わったら、スピット液のケースは元の位置へはめ込んでください。


⚠注意

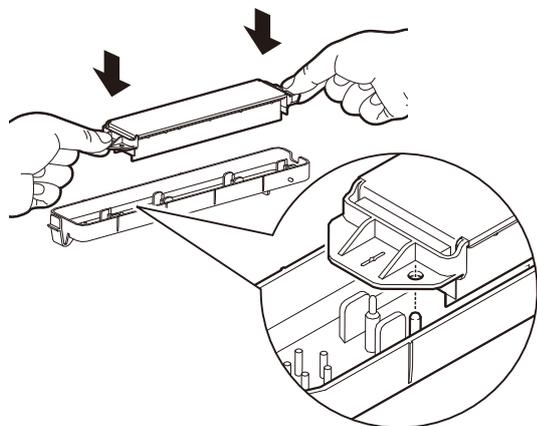
- ◆ 手袋を付けて作業を行ってください

10



スピットケースの手前と奥のツマミを使って、スピットケースを上方向に垂直に取り外す

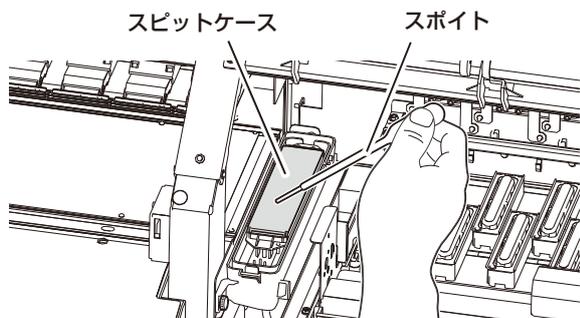
11



新しいスピットケースの位置決め穴を突起部に合わせながら下方向に水平に取り付ける



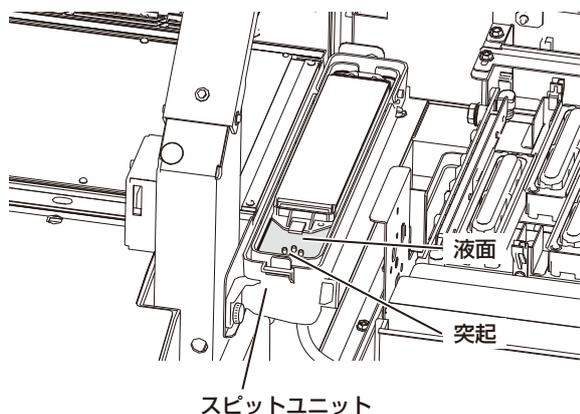
12



スポイトを使って、スピットケースをスピット液で湿らせる



13



液量を測る突起の高さまで、スピット液を注ぐ

⚠️ 注意

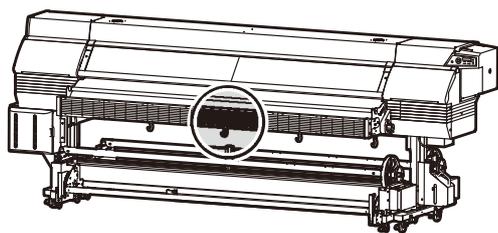
- ◆ スピットケースに液を注いで数分後、スポンジが液を吸収して液面が下がることがあります。その場合は再度スピット液を注いでください。

14

キャップカバーを閉めてから、フロントカバーを閉める

◆ ダストフィルターの交換

■ 作業場所



■ 使用する消耗品

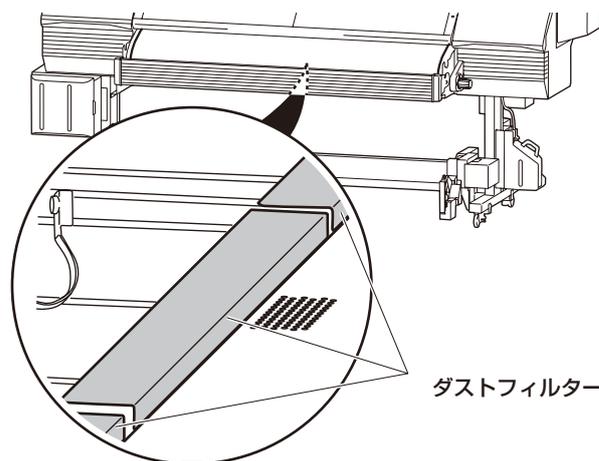


ダストフィルター

■ ダストフィルターが汚れていないか確認してください

プラテンに内蔵されている吸着ファンの排気口にはダストフィルターが4箇所取り付けられています。ダストフィルターがホコリ等で汚れたままになっていると、溜まったホコリ等が落下し、巻き取ったメディアに付着する場合があります。

3ヶ月を目安に、すべてのダストフィルターを交換してください。



ダストフィルター

操作メニューからダストフィルターの交換を実施する場合、手順1から始めてください。

「#カイシマエノメンテナンス」から実行する場合は、手順6から開始します。

3ヶ月または、2.5 Km走行すると、開始前のメンテナンスのガイダンスで交換が促されます。

1 ↑ハックフイード° フイード° ↓
←クリーニング° サービス→



> キーを押す

2 #カシマエノメンテナンス
>



∨ キーを押して「#メンテナンス」を選択する

3 #メンテナンス
>スピットケース/ユニット?



OK キーを押す

4 #メンテナンス
*スピットケース/ユニット?



∨ キーを押す

5 #メンテナンス
*ダストフィルター?

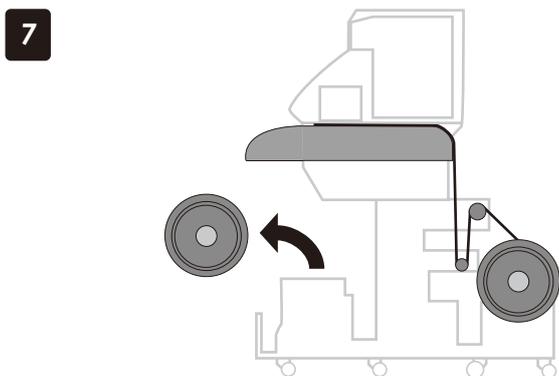


「ダストフィルター」を選択して OK キーを押す

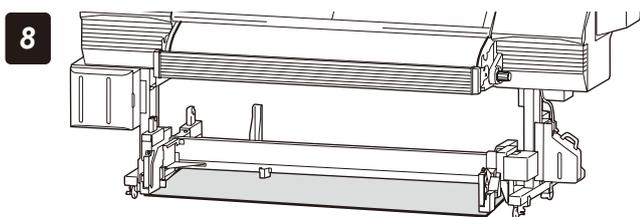
6 ダストフィルター-コウカンリョウ?
YES:OK/NO:CANCEL



OK キーを押す

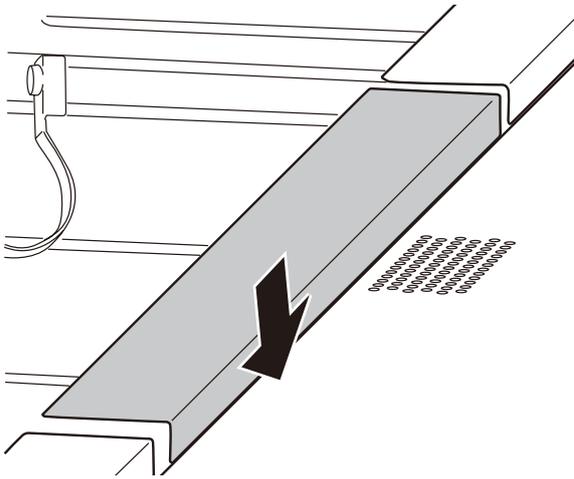


巻き取り装置にメディアを取り付けている場合は取り外す



古いダストフィルターからインクカスが落ちて汚さないように、床に作業用のメディアまたは布をセットする

9

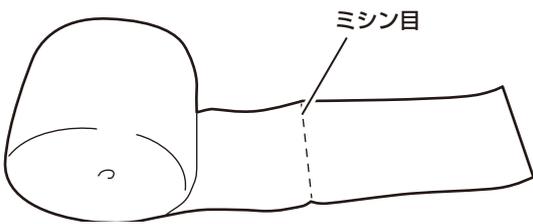


古いダストフィルターをマジックテープから引き剥がして取り外す

マジックテープにダストフィルターの繊維が残っている場合は取り除きます。

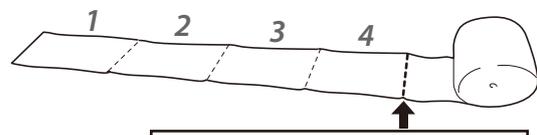


10



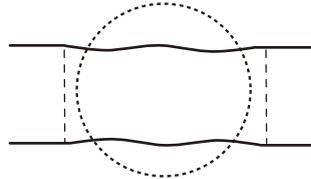
新しいダストフィルターのロールから必要な数だけ切り取る

ミシン目を手で切り取ります。(1箇所につき4枚)

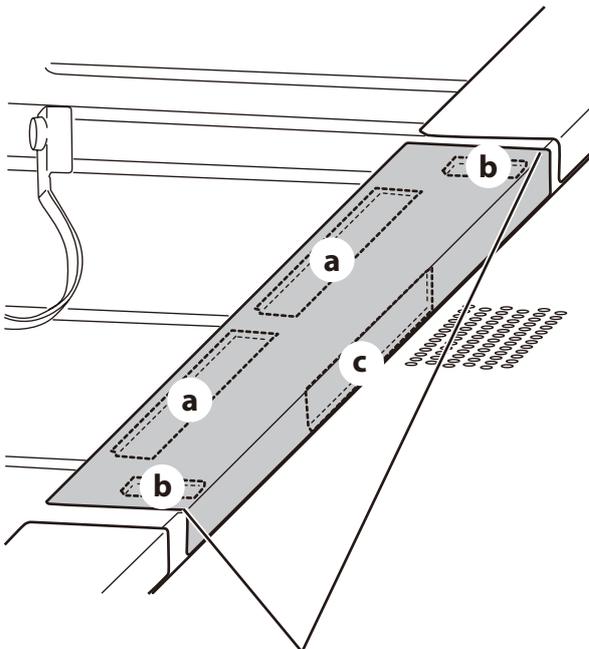


このミシン目で切り取ってください。

ダストフィルターの端がゆがんでいることがありますが、フィルター性能、品質には問題ありません。



11



新しいダストフィルターを取り付ける

- ① ダストフィルターの長手方向の中心と、マジックテープ **a**, **b** が付いている板金の中心を合わせ、ダストフィルターの端とマジックテープ **a** の端を合わせてマジックテープ **a** に取り付けます。
- ② マジックテープ **b** に取り付けます。
- ③ 板金に沿って折り、マジックテープ **c** に取り付けます。



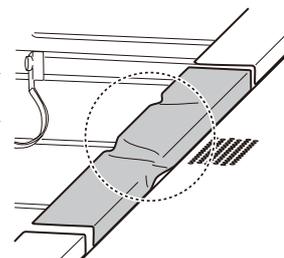
ダストフィルター両端が若干余りますが、問題はありません。



お願い

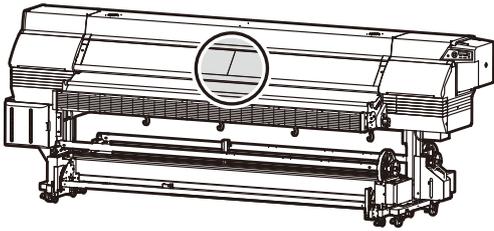
◆ ダストフィルターはできるだけ浮きがないように取付けてください。

NG

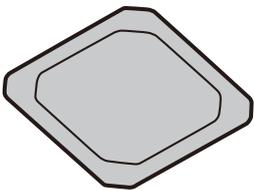


◆ 排気ファンフィルターの交換

■ 作業場所



■ 使用する消耗品



排気ファンフィルター

■ 排気ファンフィルターが汚れていないことを確認してください

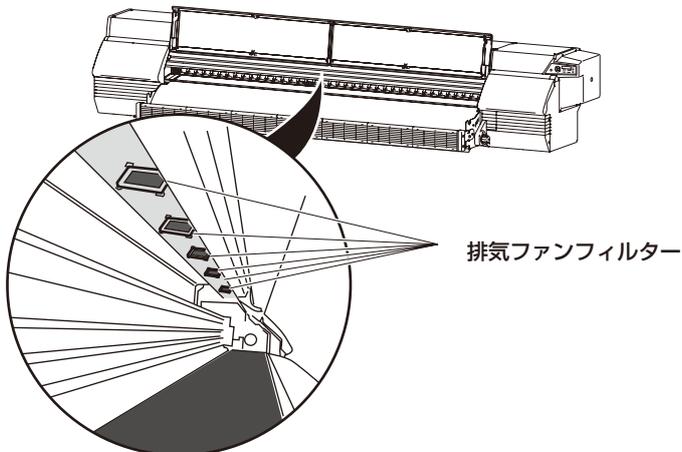
本機内のインク臭を排出するファンの吸気口には、排気ファンフィルターが6箇所取り付けられています。排気ファンフィルターがホコリ等で汚れたままになっていると、溜まったホコリ等が落下し、画質等に悪影響を与える場合があります。

1ヶ月または、総プリント距離 800m を目安に、すべての排気ファンフィルターを交換してください。



総プリント距離を確認するには…

◇ 応用操作ガイド 25ページを参照してください。



操作メニューから排気ファンフィルターの交換を実施する場合、手順1から始めてください。

「#カイシマエノメンテナンス」から実行する場合は、手順6から開始します。

1ヶ月または、0.8 Km走行すると、開始前のメンテナンスのガイダンスで交換が促されます。

1 ↑バックフィード フィード ↓
←クリーニング サービス→



➤ キーを押す

2 #カイシマエノメンテナンス
>



☑ キーを押して「#メンテナンス」を選択する

3 #メンテナンス
>スピットケース/ユニット?



OK キーを押す

4 #メンテナンス
*スピットケース/ユニット?



☑ キーを押す

5 #メンテナンス
*ハイキファンフィルター?



「ハイキファンフィルター」を選択して OK キーを押す

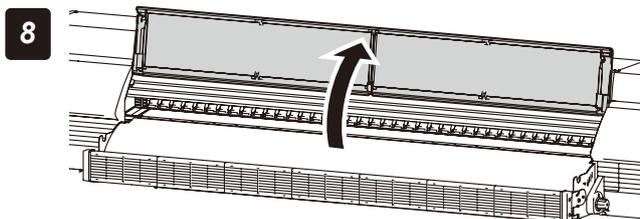
6 カバーアケテクタ サイ



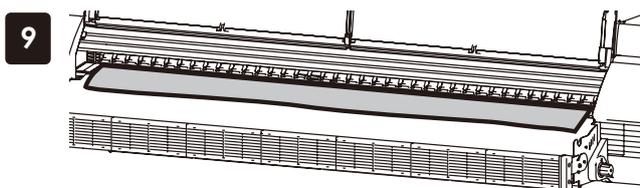
7 ハイキファンフィルタコウカンリョウ?
YES: OK/NO: CANCEL



手順 8 以降の交換が完了したあとに OK キーを押す



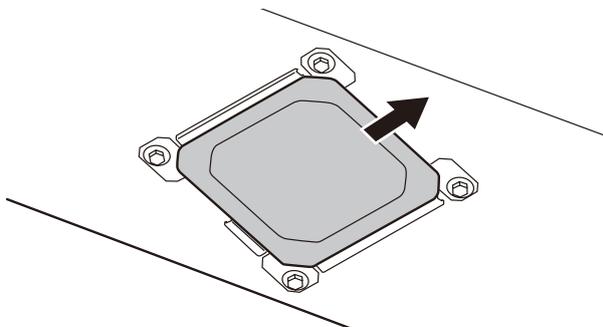
フロントカバーを開ける



プラテン上に作業用のメディアまたは布をセットする

排気ファンフィルターに付着しているホコリ等で装置が汚れないようにします。

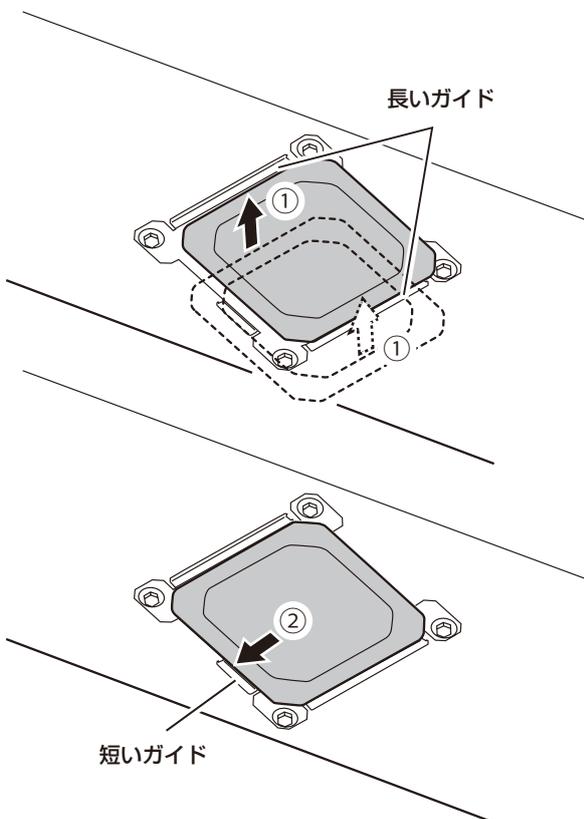
10



古い排気ファンフィルターを取り外す



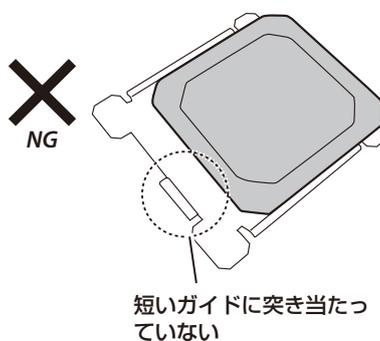
11



新しい排気ファンフィルターを取り付ける

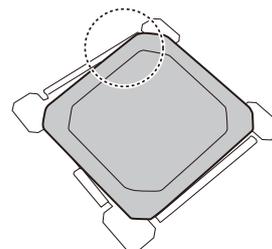
排気ファンフィルターに前後、左右方向の区別はありません。

- ① マグネットシート面（茶色の面）を上側にして板金のふたつの長いガイドの間に取り付けます。
- ② 奥の短いガイドに突き当てます。



お願い

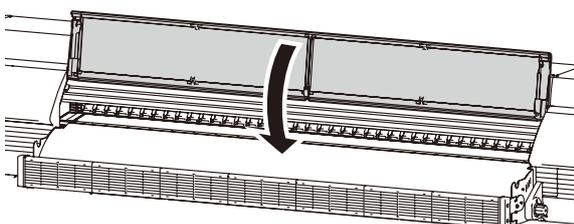
- ◆ 排気ファンフィルターは、板金のガイドに乗り上げないように取付けてください。



⚠ 注意

- ◆ 排気ファンフィルターが正しく取り付けられていないと、本機の調整がずれたり、故障の原因となります。

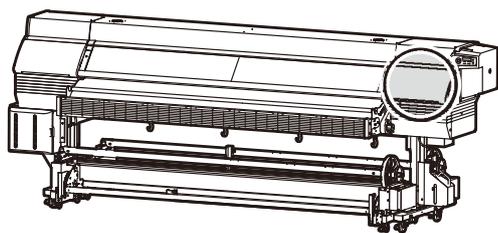
12



手順9でセットしたメディアまたは布を取り外し、フロントカバーを閉める

◆ キャリッジのクリーニング

■ 作業場所



■ 使用する消耗品



掃除機

操作メニューからキャリッジのクリーニングを実施する場合、手順1から始めてください。
「#カシマエノメンテナンス」から実行する場合は、手順6から開始します。
1ヶ月または、0.8 Km走行すると、開始前のメンテナンスのガイダンスで交換が促されます。

- 1

↑バックフィード	フィード ↓
←クリーニング	サービス →

↓ >
 - 2

#カシマエノメンテナンス
>

↓ ∨
 - 3

#メンテナンス
>スピットケース/ユニット?

↓ OK
 - 4

#メンテナンス
*スピットケース/ユニット?

↓ ∨
 - 5

#メンテナンス
*キャリッジ ?

↓ OK
- > キーを押す
- ∨ キーを押して「#メンテナンス」を選択する
- OK キーを押す
- ∨ キーを押す
- 「キャリッジ」を選択して OK キーを押す

6

カバーアケテクターサイ



7

キャリッジ セイソウカンリョウ?
YES: OK/NO: CANCEL

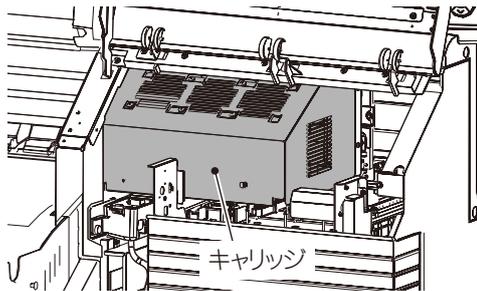
OK キーを押す



OK

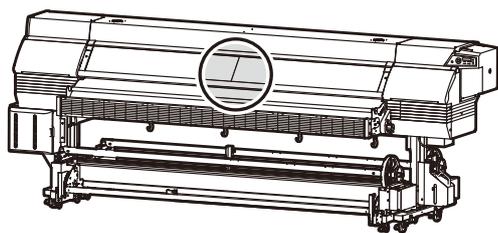
8

キャリッジの吸気口周辺が汚れた場合は、掃除機等で吸い取ってください。
1ヶ月毎の実施をおすすめします。



◆ 外装（フロントカバー）のクリーニング

■ 作業場所



■ 使用する消耗品



柔らかい布

中性洗剤

掃除機

本機の外装が汚れた場合は、水または水でうすめた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、よくしぼってから拭き取ってください。

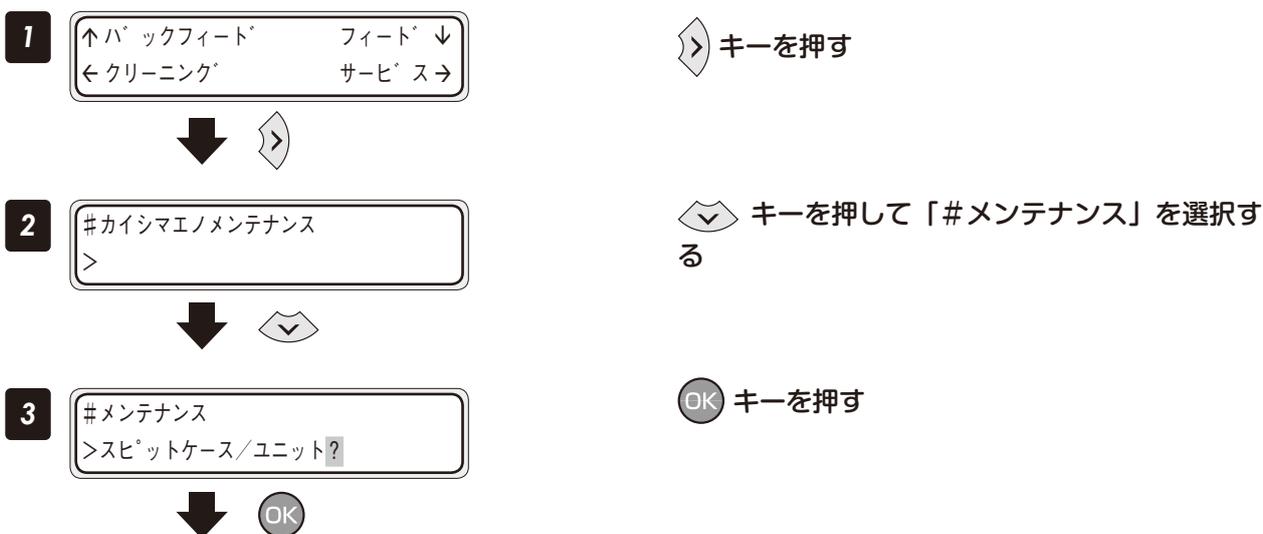
⚠ 注意

- ◆ 紙粉を吹き飛ばさないでください。画質等に悪影響を与える場合があります。
- ◆ シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。塗装がはげたり変質したりすることがあります。

操作メニューから外装の清掃を実施する場合、手順1から始めてください。

「#カイシマエノメンテナンス」から実行する場合は、手順6から開始します。

1ヶ月または、0.8 Km走行すると、開始前のメンテナンスのガイダンスで交換が促されます。



4 #メンテナンス
*スピットケース/ユニット?



✓ キーを押す

5 #メンテナンス
*カ イソウ?



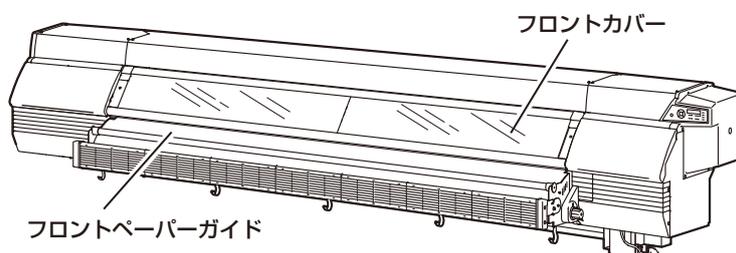
「ガイソウ」を選択して OK キーを押す

6 カ イソウセイソウカンリョウ?
YES: OK/NO: CANCEL



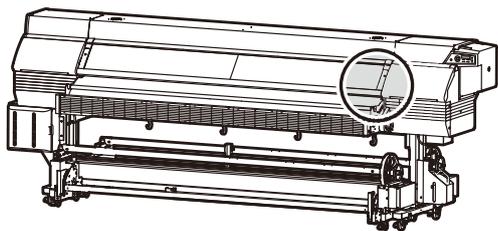
手順7以降の交換が完了したあとに OK キーを押す

7 ホコリ、紙粉等で汚れた場合は掃除機等で吸い取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を湿らせた柔らかい布できれいに拭き取ってください。

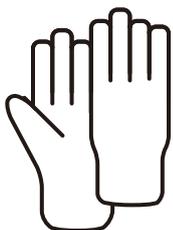


◆ スピット液の補充

■ 作業場所



■ 使用する消耗品



手袋

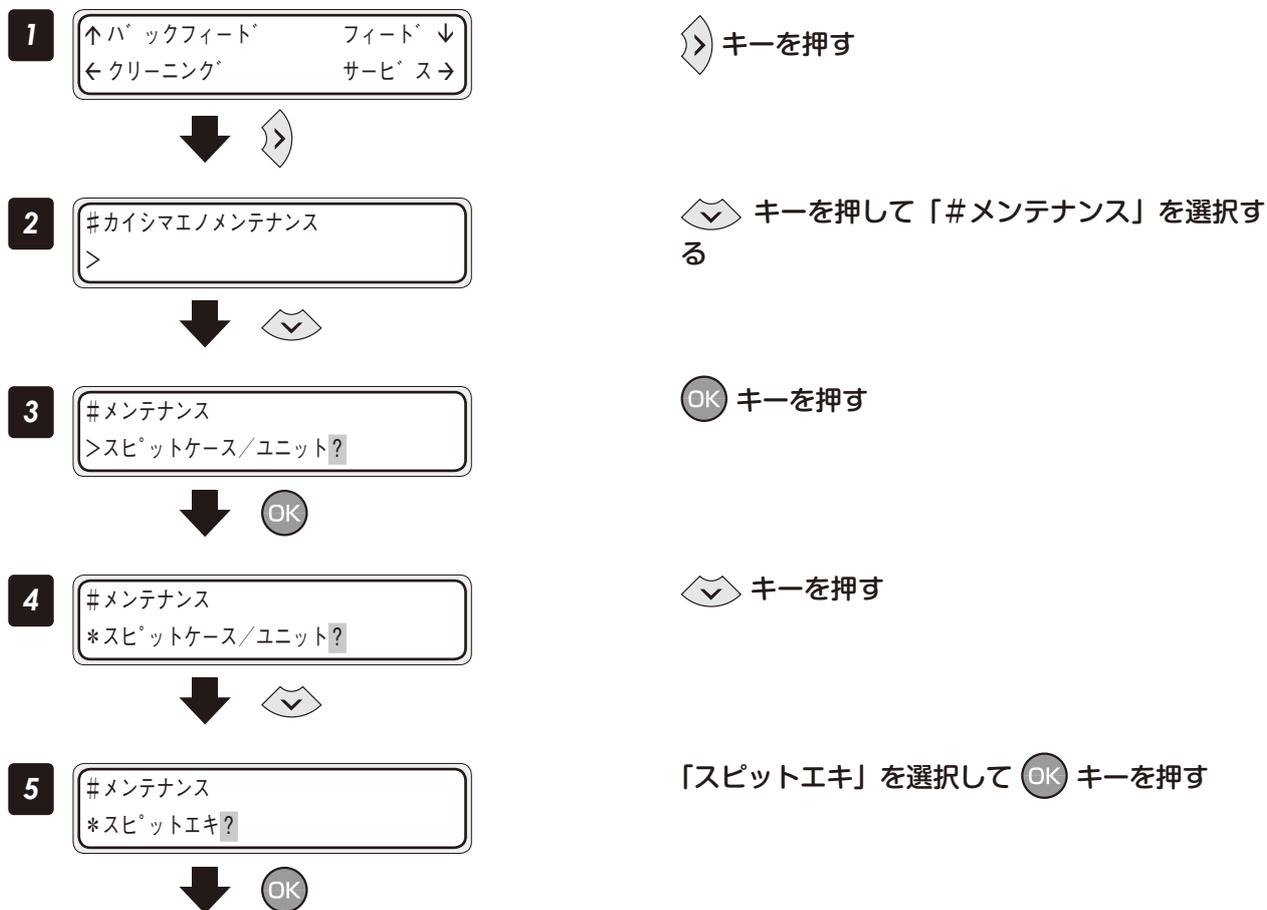


スピット液A



スポイト

操作メニューからスピット液の補充を実施する場合、手順1から始めてください。
「#カシマエノメンテナンス」から実行する場合は、手順6から開始します。



6

カバーヲアケテクダサイ



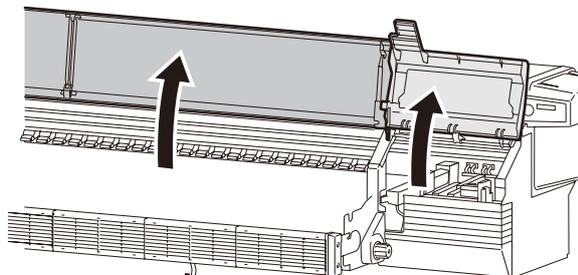
7

スピットエキホジウカンリョウ?
YES:OK/NO:CANCEL



OK

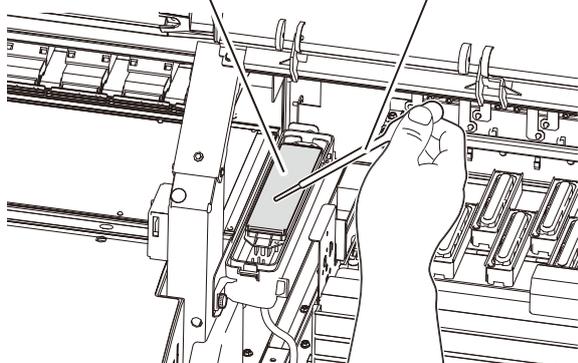
8



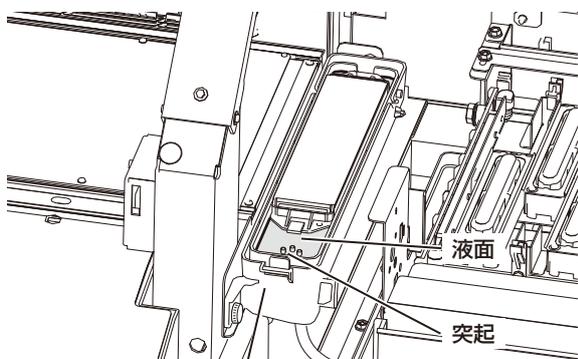
9

スピットケース

スポイト



10



スピットユニット

手順 8 以降の交換が完了したあとに **OK** キーを押す

フロントカバーを開けてから、キャップカバーを開ける

スポイトを使って、スピットケースをスピット液で湿らせる

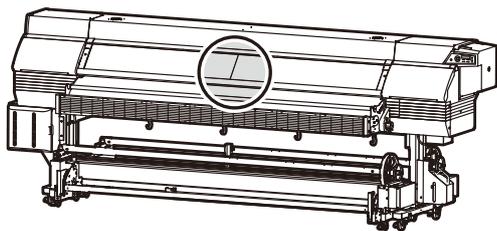
液量を測る突起の高さまで、スピット液を注ぐ

注 意

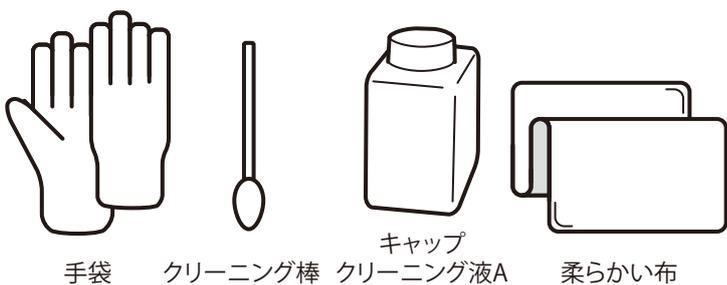
- ◆ スピットケースに液を注いで数分経つと、スポンジが液を吸収して液面が下がることがあります。その場合は再度スピット液を注いでください。

◆ メディアエッジガードの清掃

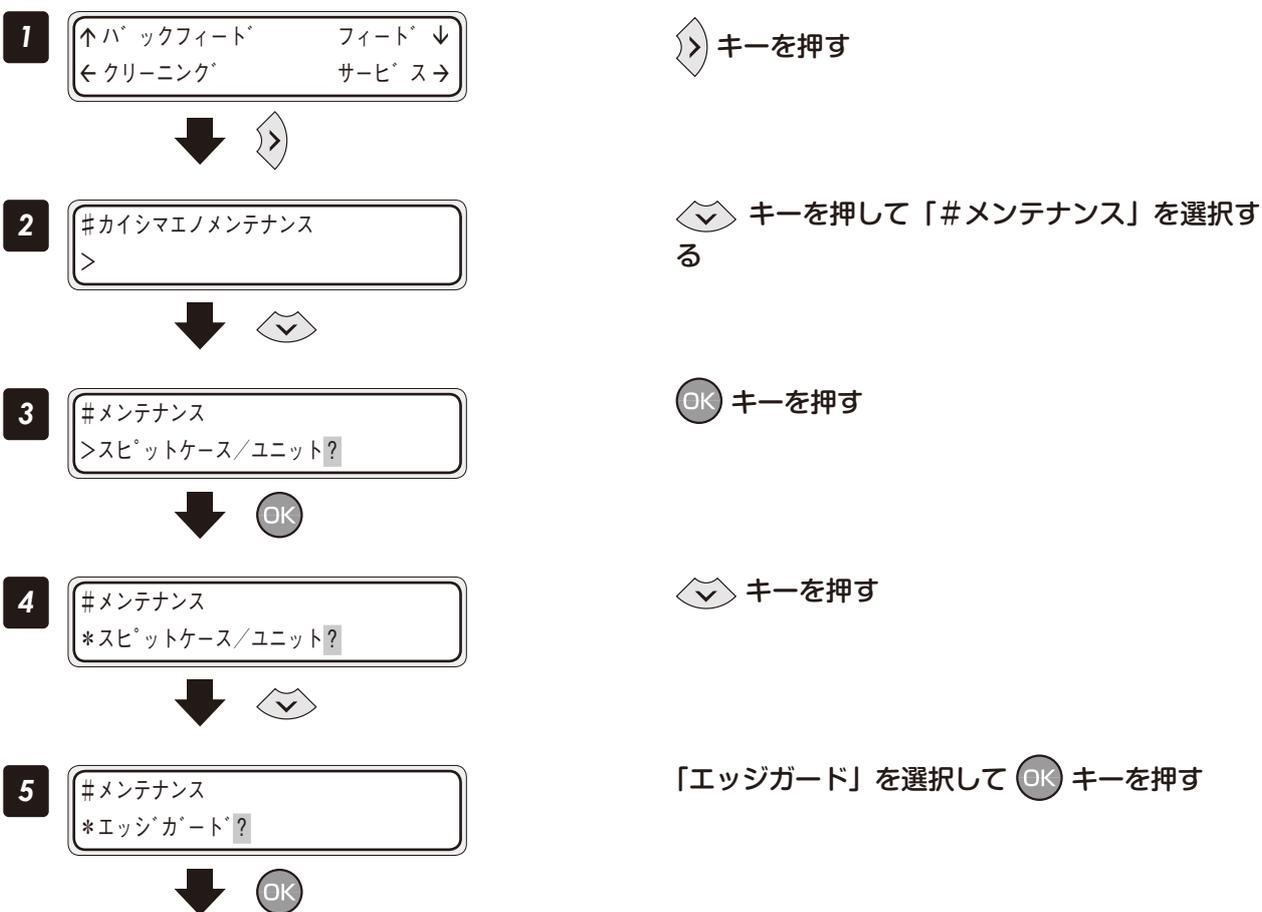
■ 作業場所



■ 使用する消耗品



操作メニューからエッジガード清掃を実施する場合、手順1から始めてください。
「#カシマエノメンテナンス」から実行する場合は、手順6から開始します。



6

カバーをアケテクタサイ

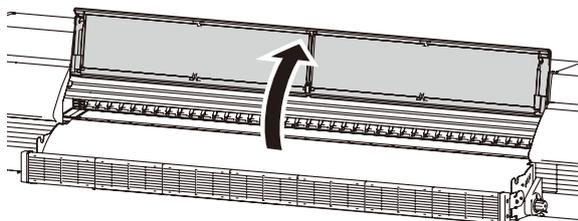


7

エッジガードをセソウカンリョウ?
YES: OK / NO: CANCEL

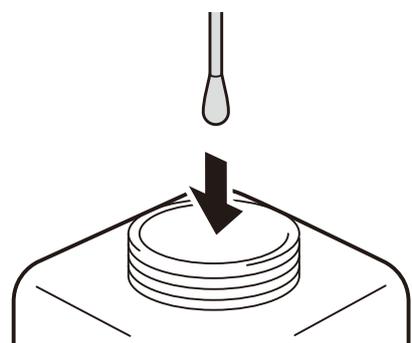


8



フロントカバーを開ける

9



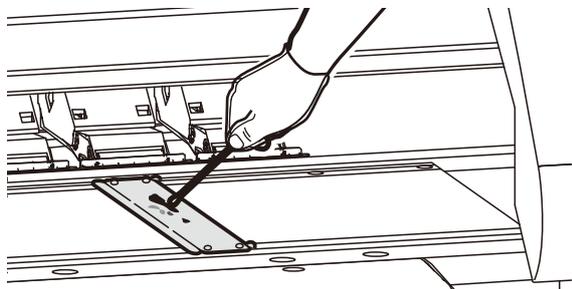
クリーニング棒をキャップクリーニング液に浸ける



お願い

- ◆ 清掃に使用したクリーニング棒を、キャップクリーニング液ボトルの中に入れてください。キャップクリーニング液が汚れてしまいます。
- ◆ クリーニング棒は一回限りの使い切り消耗品です。毎回新しいクリーニング棒に交換して清掃してください。

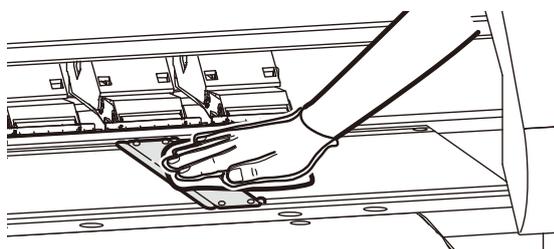
10



メディアエッジガードの汚れ部分に擦りつける



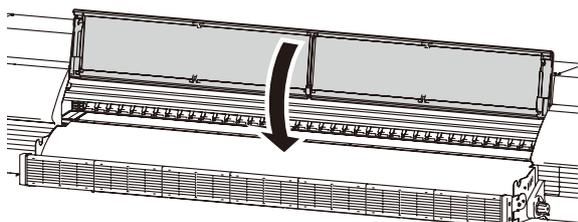
11



柔らかい布で汚れを拭き取る



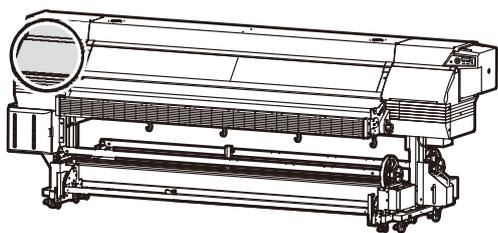
12



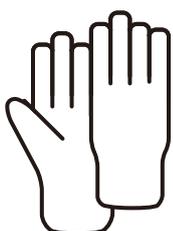
フロントカバーを閉める

◆ ワイパークリーニング液補充

■ 作業場所



■ 使用する消耗品



手袋

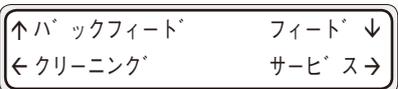
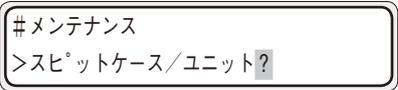
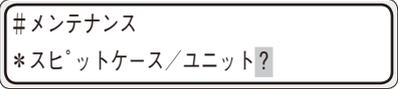
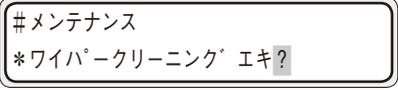


ワイパークリーニング液A



漏斗

操作メニューからワイパークリーニング液の補充を実施する場合、手順1から始めてください。
「#カシマエノメンテナンス」から実行する場合は、手順6から開始します。

- 
キーを押す
- 
キーを押して「#メンテナンス」を選択する
- 
OK キーを押す
- 
キーを押す
- 
「ワイパークリーニングエキ」を選択して OK キーを押す

6

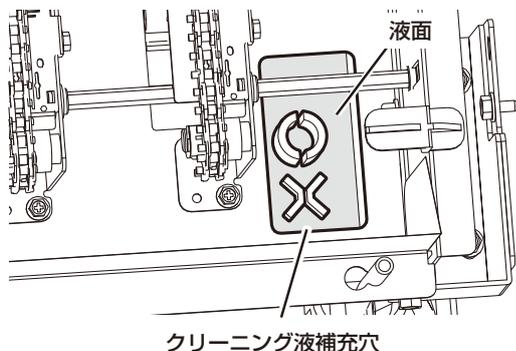
カバーアケテクダサイ



7

ワイパーエキホジュウカンリョウ?
YES: OK/NO: CANCEL

8



手順 8 以降の交換が完了したあとに **OK** キーを押す

ワイパークリーニング液の液面の高さを確認する

クリーニング液補充穴はワイプユニット上面右側にあります。

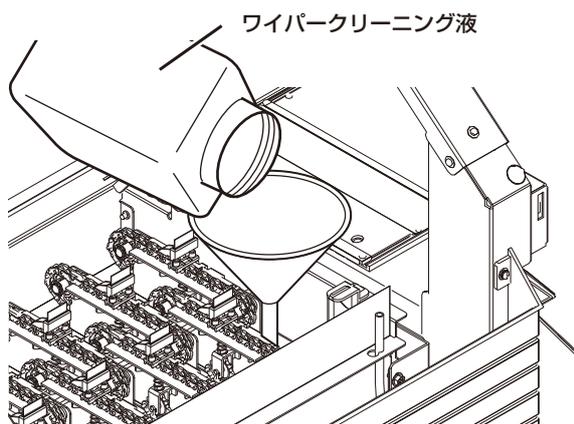


容器が2種類あります

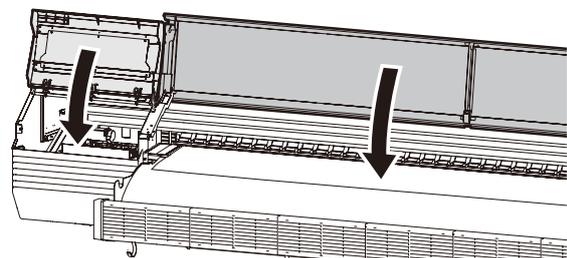
◇ ワイパークリーニング液は、容器が2種類あります。300mlの大容量の容器から直接補充するのが難しい場合には、日常メンテキットに入っているワイパークリーニング液ボトル(200ml)に入れ替えて頂くと入れやすくなります。

“X” マーク上面より液面が下がっていたら、ワイパークリーニング液を補充する

“0” マーク上面より上にならない範囲で補充します。



9



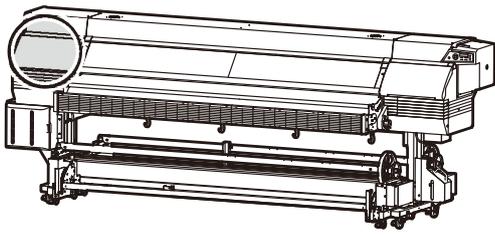
ワイプカバーとフロントカバーを閉める

⚠ 注意

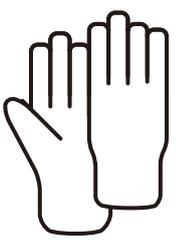
- ◆ ワイプカバーを閉める時は、ストッパーを外してから閉めてください。ストッパーを外さずに閉めようとすると、ストッパーが曲がったり、キャリッジに接触して故障の原因となる場合があります。

◆ ワイパーブレードのきず、汚れ確認

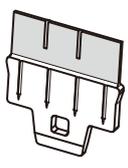
■ 作業場所



■ 使用する消耗品



手袋

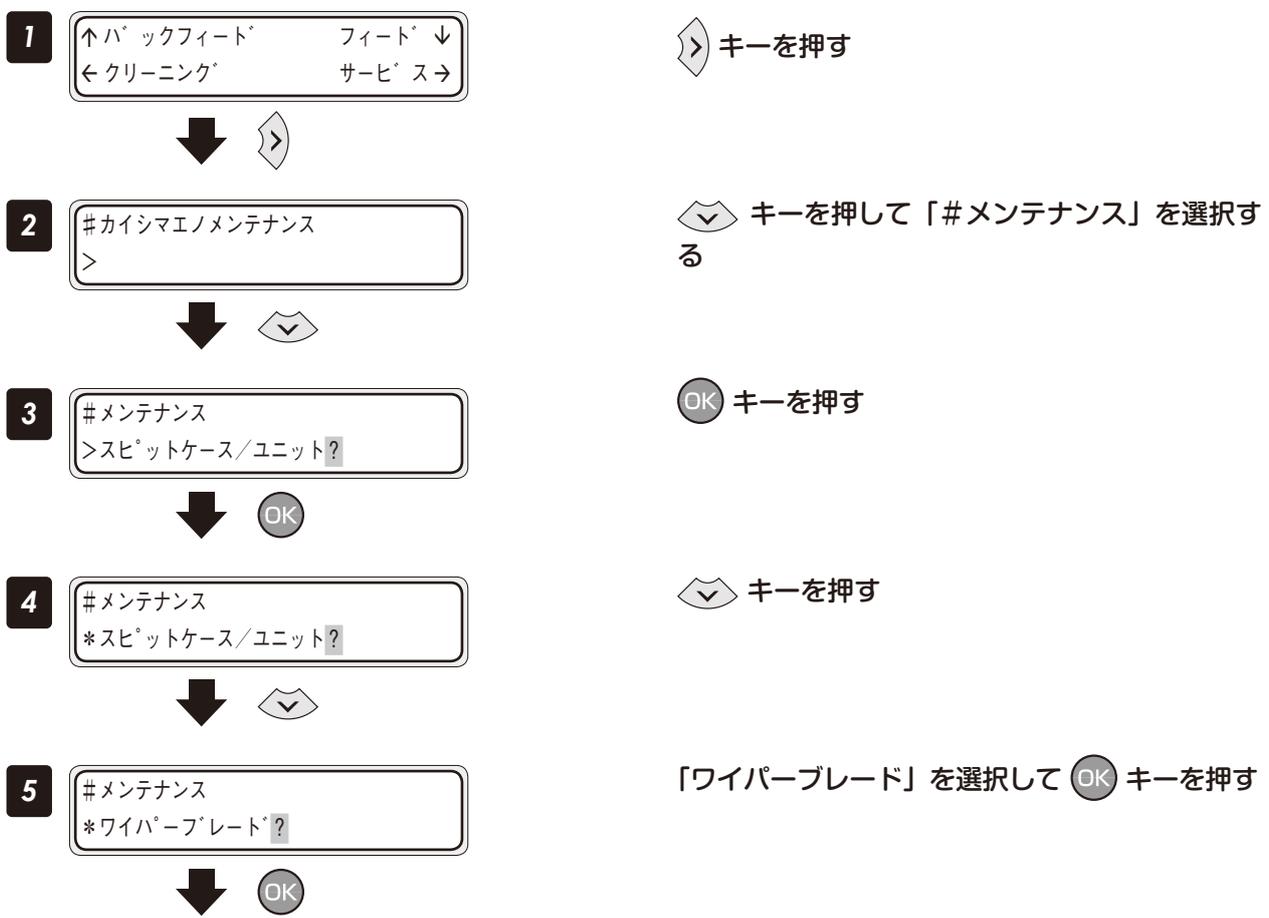


ワイパーブレード



ピンセット

操作メニューからワイパーブレードのきず、汚れ確認を実施する場合、手順1から始めてください。「#カシマエノメンテナンス」から実行する場合は、手順6から開始します。



6

カバーをアケテクタサイ



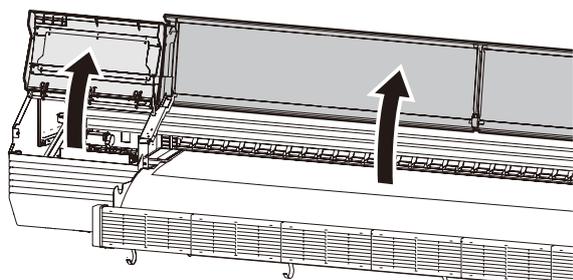
7

ワイパーブレードのカクニンカンリョウ
YES: OK / NO: CANCEL



OK

8

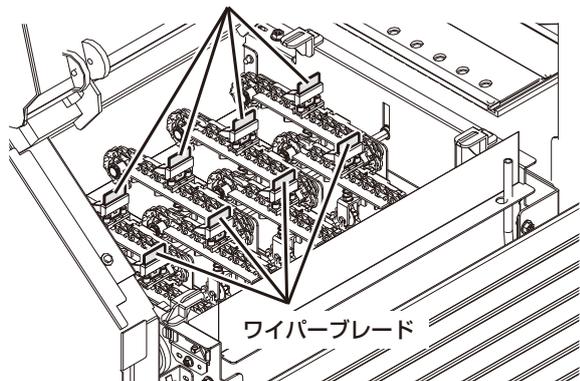


手順 8 以降の交換が完了したあとに **OK** キーを押す

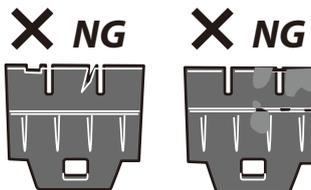
フロントカバーを開けてから、ワイプカバーを開ける

9

ワイパーブレード



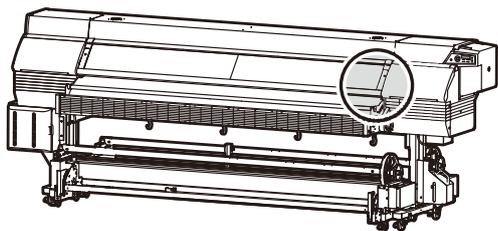
ワイパーブレードに汚れや傷がないか確認する



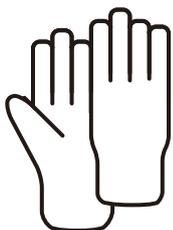
汚れや傷がついている場合は、ワイパーブレードを交換してください。(P 131 ページ)

◆ ヘッドガード汚れ確認

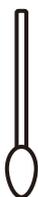
■ 作業場所



■ 使用する消耗品



手袋

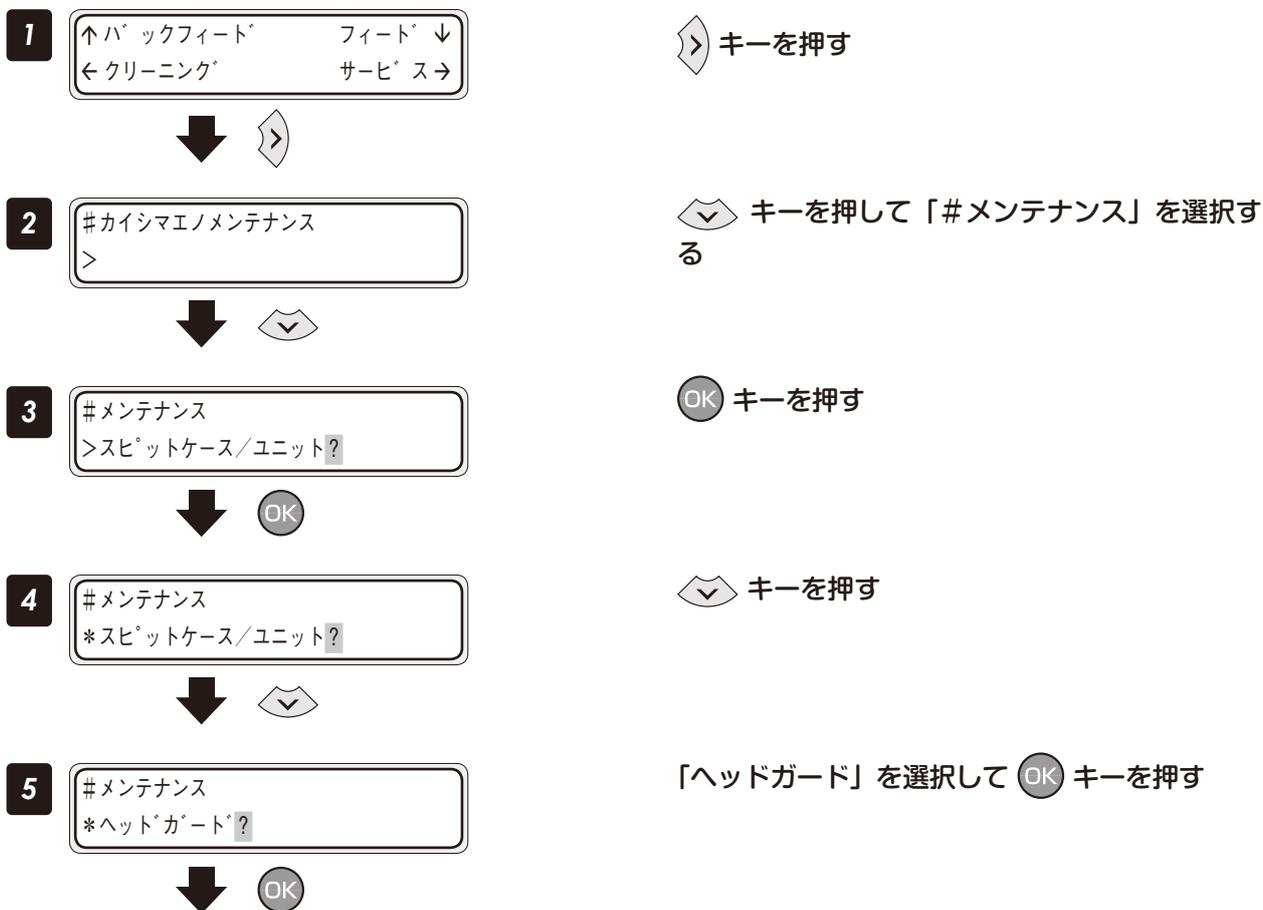


クリーニング棒



キャップ
クリーニング液A

操作メニューからヘッドガード清掃を実施する場合、手順1から始めてください。
「#カイシマエノメンテナンス」から実行する場合は、手順6から開始します。



6

キャリッジ イド ウチュウ
シハ ラクオマチクダ サイ

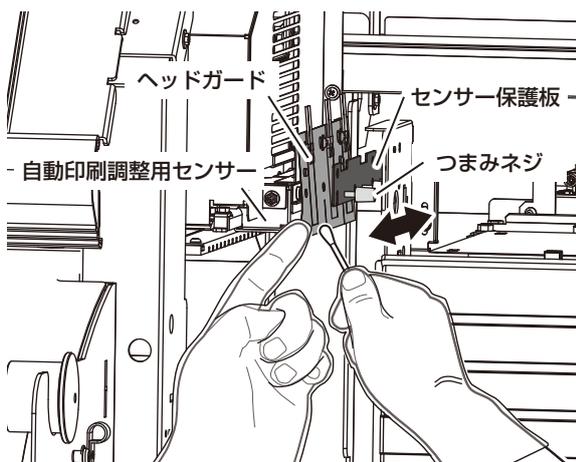
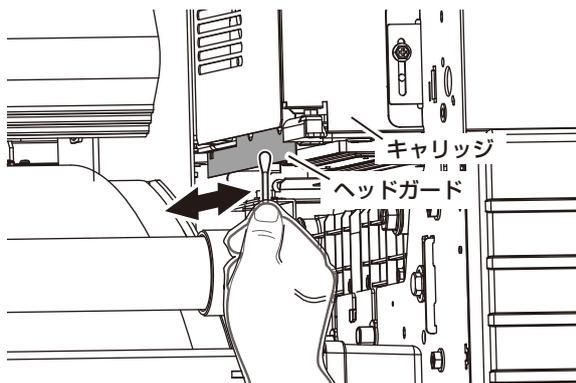


7

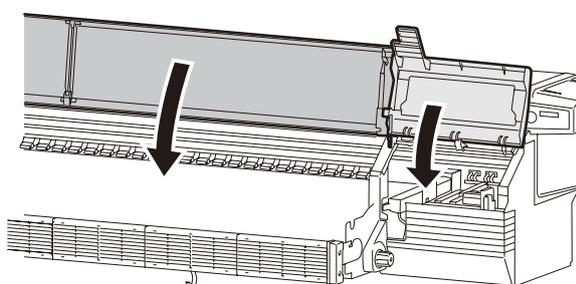
カバ ーヲアケテクダ サイ



8



9



キャリッジがワイブ側まで移動します。



警告音が鳴ります

◇ キャリッジが移動する際、警告音が鳴ります。
警告音を鳴らさないようには、応用操作ガイド 48 ページを参照してください。

キャリッジ左右両側のヘッドガードの汚れている部分を、クリーニング棒（またはやわらかい布）で清掃する



拭きづらい場合は？

◇ ヘッドガードの裏側が拭きづらい場合は、スピットユニットを外してください。

キャリッジ右側のヘッドガードを清掃する際は、つまみネジとセンサー保護板を外してヘッドガードを傾けた状態で清掃する

⚠ 注意

- ◆ ヘッドガードを傾ける際は無理に力を入れて傾けないこと
- ◆ 自動印刷調整用のセンサーにクリーニング棒の先端が触れないようにすること
- ◆ ヘッドガード上部のハーネス部分にクリーニング棒の先端が触れないようにすること

清掃後は、ヘッドガードとセンサー保護板をもとの位置に戻し、つまみネジでしっかりと締める

キャップカバーを閉めてから、フロントカバーを閉じる

自動的にプリントヘッドが元の位置に戻ります。

⚠ 注意

- ◆ キャップカバーを閉める時は、ストッパーを外してから閉めてください。ストッパーを外さずに閉めようとする、ストッパーが曲がり、キャリッジに接触して、故障の原因となる場合があります。

10

キャリッジ イト ウチュウ
シハ ラクオマチクダ サイ



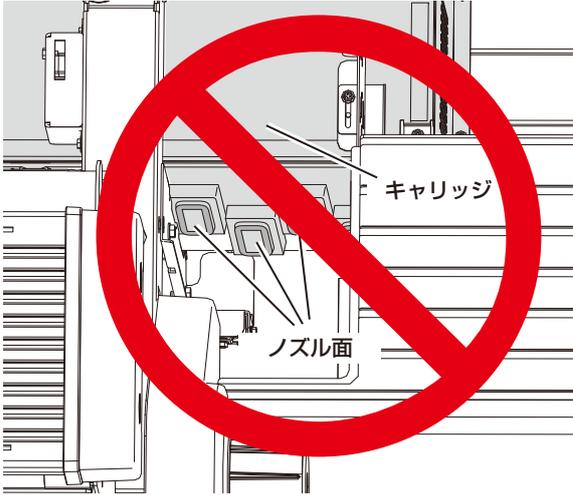
11

ヘッドガードセイソウジッシ?
YES: OK / NO: CANCEL



OK

12



OK キーを押す

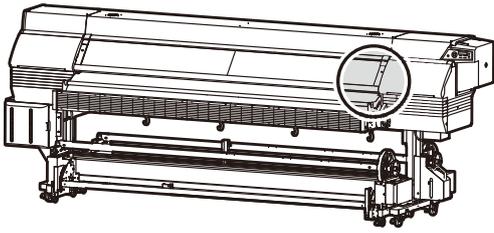
ノズル面の清掃は実施しないでください
(シートマウントクリーニングをお使いください)

! 注意

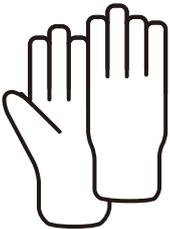
◆ プリントヘッドのノズル面を、クリーニング棒でこすらないでください。故障の原因となる場合があります。

◆ 自動印刷調整用のセンサー表面の清掃

■ 作業場所



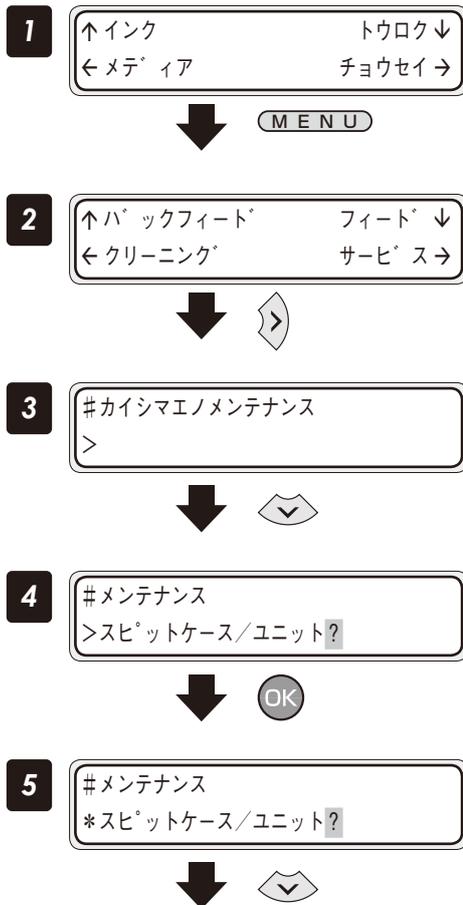
■ 使用する消耗品



手袋



クリーニング棒



本機をオフラインにして、**MENU** キーを押す

キーを押す

キーを押して「#メンテナンス」を選択する

キーを押す

キーを押す

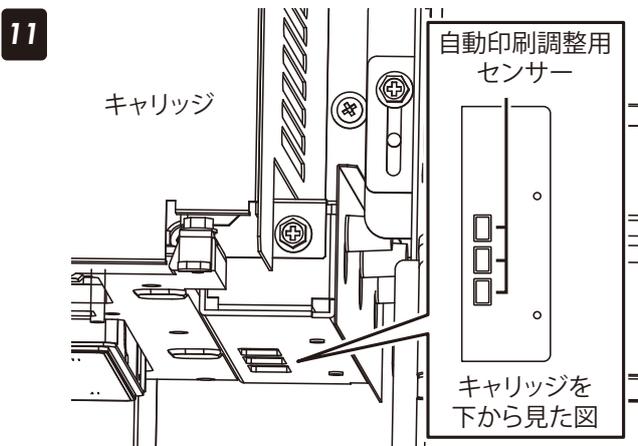
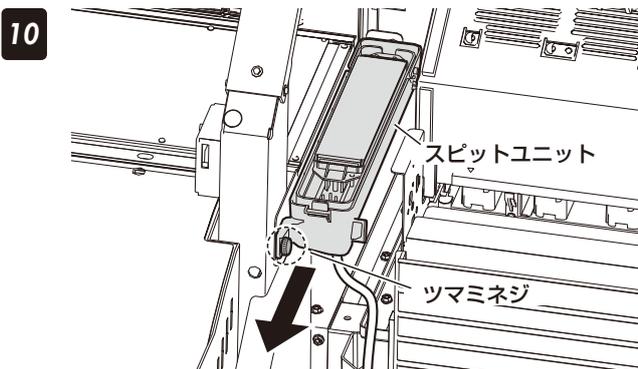
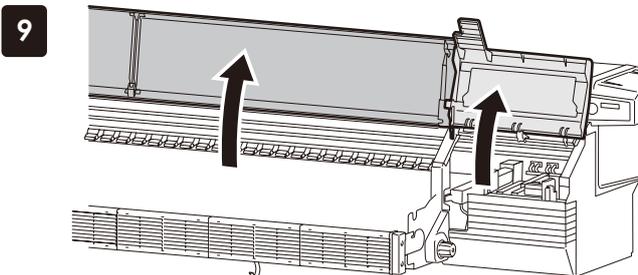
6 #メンテナンス
>ヘッドガード?



7 キャリッジ イト ウチュウ
シバ ラクオマチクタ サイ



8 カバ ーヲアケテクタ サイ



「ヘッドガード」を選択して **OK** キーを押す

キャリッジがワイブ側まで移動します。



警告音が鳴ります

◇ キャリッジが移動する際、警告音が鳴ります。警告音を鳴らさないようにする場合は、**応用操作ガイド** 48 ページを参照してください。

フロントカバーを開けてから、キャップカバーを開ける

スピットユニットのツマミネジ1本を外し、スピットユニットを取り外す



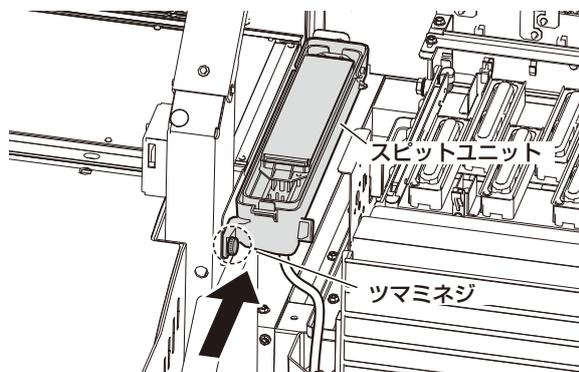
◇ 清掃に使用したクリーニング棒を、キャップクリーニング液ボトルの中に入れてください。キャップクリーニング液が汚れてしまいます。
◇ クリーニング棒は一回限りの使い切り消耗品です。毎回新しいクリーニング棒に交換して清掃してください。

スピットユニットを外した位置に手でキャリッジを移動させ、自動印刷調整用のセンサー表面をクリーニング棒で清掃する

注意

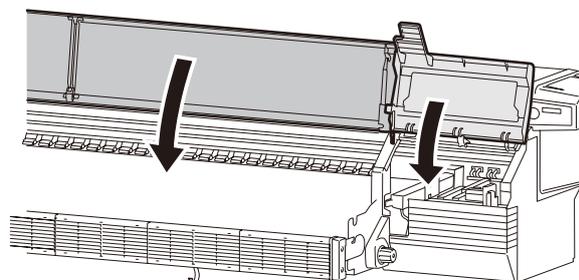
◆ 清掃時に、クリーニング棒には何もつけないでください。センサー故障の原因となります。

12



手動でキャリッジをプラテン上（左側）へ移動させ、ツマミネジ1本を使用してスピットユニットを取り付ける

13



キャップカバーを閉めてから、フロントカバーを閉じる

自動的にプリントヘッドが元の位置に戻ります。

注意

- ◆ キャップカバーを閉める時は、ストッパーを外してから閉めてください。ストッパーを外さずに閉めようとする、ストッパーが曲がったり、キャリッジに接触して故障の原因となる場合があります。

14

キャリッジ イト ウチュウ
シハ ラクオマチクダ サイ



15

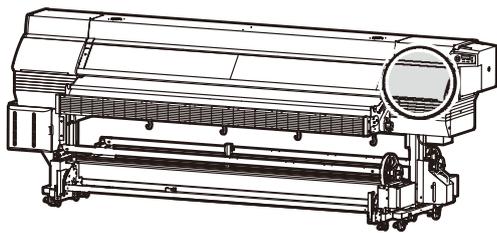
ヘッドガード セイソウジツシ?
YES: OK / NO: CANCEL



OK キーを押す

◆ キャッピングユニットの清掃

■ 作業場所



■ 使用する消耗品



手袋



クリーニング棒(大)

キャップ
クリーニング液A

⚠ 注意

- ◆ キャッピングユニットからキャリッジを離れた状態で、放置しないでください。5分以内に作業を終了させてプリントヘッドをキャッピングしてください。プリントヘッドが乾燥して故障の原因となります。

1

キャップクリーニングジッシー
OK/CANCEL



OK キーを押す

2

マエショリヲ シテイマス
シハラクオマチクタサイ XXX

XXX: 所要時間 (10秒おきに数字がダウンする)



キャリッジがワイブ側まで移動します。

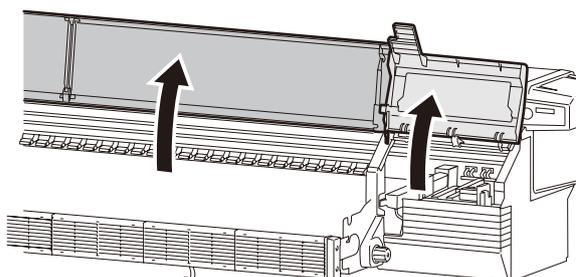


警告音が鳴ります

- ◇ キャリッジが移動する際、警告音が鳴ります。警告音を鳴らさないようにする場合は、応用操作ガイド 48 ページを参照してください。

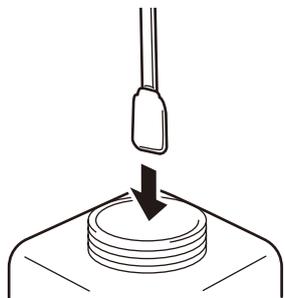
3

カバーヲアケテ
キャップヲセイソウシテクタサイ



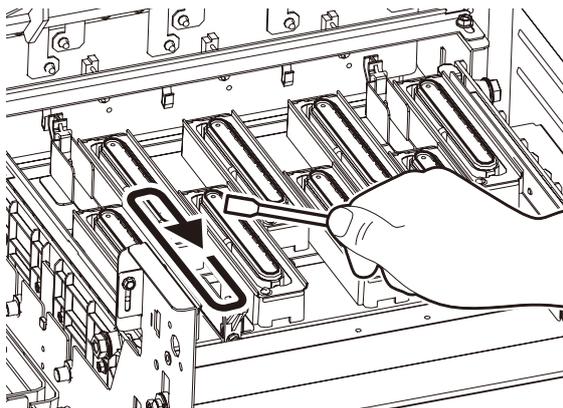
フロントカバーを開けてから、キャップカバーを開ける

4



キャップヲセイソウシ
カバーヲシメテクダサイ

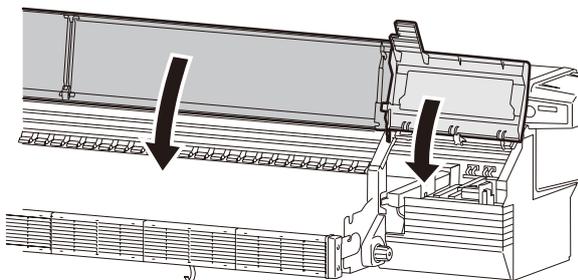
6



⚠️ 注意

- ◆ キャップクリーニング液がキャップ以外に付着しないように注意してください。
- ◆ クリーニング棒（大）でキャップを清掃する際、板金に手をぶつけないように注意してください。

7



クリーニング棒（大）をキャップクリーニング液に浸ける



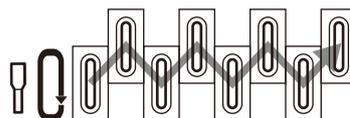
お願い

- ◆ 一度キャップを清掃したクリーニング棒（大）をキャップクリーニング液ボトルの中に入れてください。キャップクリーニング液が汚れてしまいます。
- ◆ 1本のクリーニング棒（大）をキャップクリーニング液に1回浸ければ、すべてのキャッピングユニットを清掃することができます。

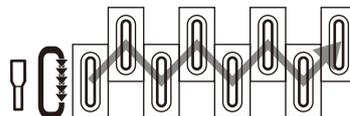
キャップ上面をクリーニング棒（大）で清掃する



1. はじめに、各キャップ上面の外周部分を、クリーニング棒（大）で1周させます。これにより、各キャップ表面の汚れにキャップクリーニング液を浸透させます。作業は、左のキャップから右方向に向かって行います。



2. 次に、各キャップ上面の外周部分を、クリーニング棒（大）で5周させて、汚れを拭き取ります。作業は、左のキャップから右方向に向かって行います。



お願い

- ◆ クリーニング棒（大）は一回限りの使い切り消耗品です。毎回新しいクリーニング棒（大）に交換して清掃してください。

キャップカバーを閉めてから、フロントカバーを閉じる

自動的にプリントヘッドが元の位置に戻ります。

⚠️ 注意

- ◆ キャップカバーを閉める時は、ストッパーを外してから閉めてください。ストッパーを外さずに閉めようとすると、ストッパーが曲がったり、キャリッジに接触して故障の原因となる場合があります。



クリーニングしても印刷抜けが直らない…

- ◆ 上記清掃をしても印刷抜けが起こる場合は、クリーニング棒にキャップクリーニング液をつけ、目視で確認しながらキャップ上の異物やインク汚れを取り除いてください。

8

アトショリヲ シテイマス
シハ[°]ラクオマチクダ[°]サイ XXX

XXX：所要時間（10秒おきに数字がダウンする）



9

キャップ[°]クリーニング[°]カンリョウ
YES：OK/NO：CANCEL

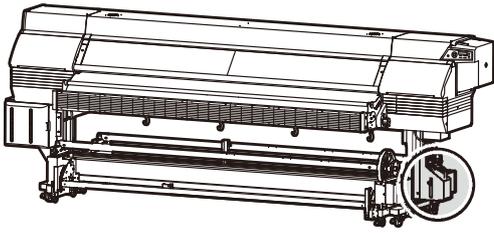


OK キーを押す

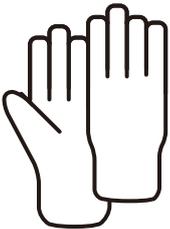
「廃インクボトルのチェック」を実行するガイダンスが表示されます。

◆ 廃インクボトルのチェック

■ 作業場所



■ 使用する消耗品



手袋

1

ハイインクヲカクニンシテクダサイ
*OK



OK キーを押す

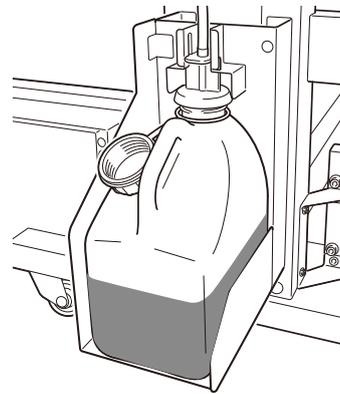
2

廃インクが一杯になっていないか目視確認します。「FULL」表示ラベルまで廃インクが溜まっている場合は、新品の（空の）廃インクボトルを取り付けてください。

（[127 ページ](#)の「**廃インクボトルの交換**」）

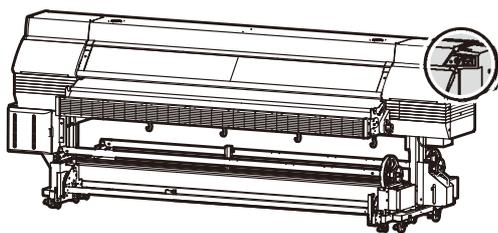
インサツマエニノヅルツマリヲ
カクニンシテクダサイ

「開始前のメンテナンス」の実行でのガイダンスは、廃インクボトルの確認で終了です。以降は、パネル操作によって通常クリーニング、ノズル確認を行ってください。



◆ ツウジョウクリーニングの実施

■ 作業場所



1

↑インク	トウロク↓
←メテ ^イ ア	チヨウセイ→

↓ MENU

2

↑ハ ^ク ックフイ ^ド	フイ ^ド ↓
←ク ^リ ーニ ^ン グ	サービ ^ス →

↓ ◀

3

#ク ^リ ーニ ^ン グ
>ツウジ ^{ョウ}

↓ OK

4

#ク ^リ ーニ ^ン グ
*ツウジ ^{ョウ}

↓ OK

本機をオフラインにして、MENU キーを押す

◀ キーを押す

OK キーを押す



◆ 前回のクリーニング実施から一定距離の印刷を行っている時、「ツウジョウ」（通常クリーニング）が表示されません。
この場合は、「キョウリョク」（強力クリーニング）を実施してください。
（応用操作ガイド 66 ページの「◆強力クリーニング」を参照してください。）

OK キーを押す

5

#クリーニング
*ツウシ ヨウ: 87654321



6

#クリーニング 87654321
*ホ トルカクニ OK?



#クリーニング 87654321
*シ ッコウチュウ 12

10秒おきに数字がダウンする

7

#クリーニング
>ツウシ ヨウ



↑バックフィード フィード ↓
←クリーニング サービス→

OK キーを押す

表示されている番号のプリントヘッドがクリーニングの対象となります。

インクの色とヘッド番号は、下表のように対応しています。

Lg	M	Lc	K	Gy	C	Lm	Y
8	7	6	5	7	3	2	1



◆ 前回のクリーニング実施から一定距離の印刷を行っている場合は、個別にプリントヘッドを選択してのクリーニングはできません。

OK キーを押す

廃インクボトルが一杯になっていないことを目視で確認します。一杯になっている場合は、廃インクボトルを交換してください。(127 ページの「廃インクボトルの交換」)

クリーニング開始

クリーニング動作は数分かかります。

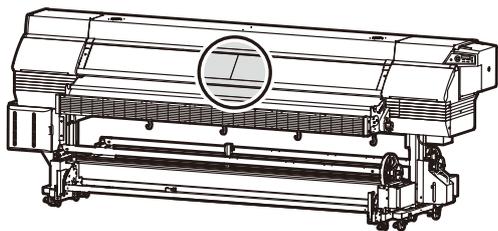
クリーニングが開始されると、所要時間が表示されます。所要時間は 10 秒おきにカウントダウンします。

← キーを押す

オフライン状態 (メニューモード) 表示に戻ります。

◆ ノズルプリントの実施チェック

■ 作業場所



ノズルプリントは、プリントヘッドのノズル（インクの吐出口）が目詰まりしていないかどうか確認するために行います。

毎日の最初の印刷前に、あるいはキャップのクリーニングなどのためにプリントヘッドをキャッピングユニット外へ出した後、プリントヘッドの確認をするために行います。

- 1**

↑インク	トウロク↓
←メテ ィア	チョウセイ→

↓ **MENU** x2
 - 2**

↑ファンクション	システム↓
←メカチョウセイ	ヒーター→

↓ <
 - 3**

#ノズルプリント
#インサツジッコウ>

↓ >
 - 4**

#ノズルプリント
#インサツジッコウ>

↓ **OK**
 - 5**

#ノズルプリント
#インサツジッコウ> OK?

↓ **OK**
 - 6**

#ノズルプリント
*ジッコウチュウ

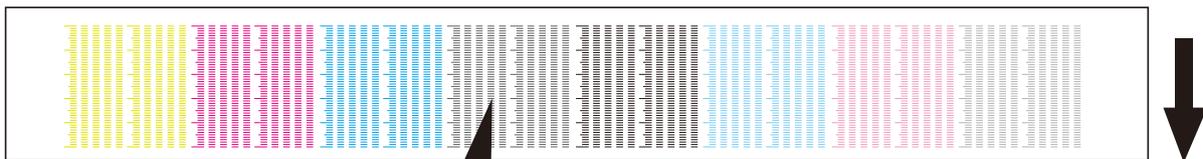
ノズルプリントが印刷される
- 本機をオフラインにして、**MENU** キーを2回押す
- < キーを押す
- > キーを押す
- OK** キーを押す
- OK** キーを押す

7

印刷抜け・プリントミスがないか確認する

次のようなパターンが印刷されます。

・ノズルプリントの印刷サンプル



OK 線の抜けがなく、きれいに印刷されている。

最終ノズル（508番ノズル）を示すマークの左隣まで線が印刷されていることを確認する

NG 線の抜けが発生している

24番ノズルと133番ノズルが抜けている例

この部分に設定したノズルマップのノズル番号が印刷されます。

OK 線の曲がりがなく、きれいに印刷されている。

線と線の隙間が均等になっていれば線の曲がりは発生していない。

NG 線の曲がりが発生している

線と線の隙間が均等になっていない部分があれば、線の曲がりが発生している可能性がある

159番ノズルで印刷した線（←の線）が161番ノズル側に寄っている ⇒ 159番ノズルで線の曲がりが発生している

線の抜けや線の曲がりがないか確認します。

「ノズルプリント」で線の抜けや線の曲がりがある場合は、ツウジョウクリーニングを行います。

ツウジョウクリーニングを複数回行っても線の抜けや線の曲がりがある場合は、ひき続いて以下の手順で「ノズルマップ」を設定してください。

◆ ノズルマップの設定

- 1 #ノズルプリント
#インサツジッコウ>
↓ 、
- 2 #ノズルプリント
#ノズルマップ 01 Gy4>000
↓ 
- 3 #ノズルプリント
#ノズルマップ 01 Gy4*000
↓ , , , 
- 4 #ノズルプリント
#ノズルマップ 01 Gy4*224
↓ 
- 5 #ノズルプリント
#ノズルマップ 01 Gy4>224

、 キーを数回押してノズルマップを選ぶ

1つのヘッドに対して、最大10個までのノズルマップを設定することができる

 キーを押す

ここでは Gy4 ヘッドのノズルマップ 01 を設定する例で説明します。

,  キーで桁を合わせ、,  キーで数値を設定する

 キーを押す

設定完了



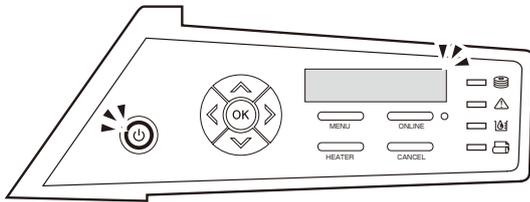
設定したノズル番号の確認は？

◇ 設定したノズルマップのノズル番号は、ノズルプリントの印刷結果に表示されます。

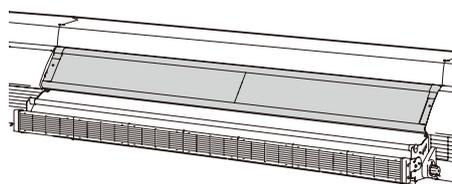
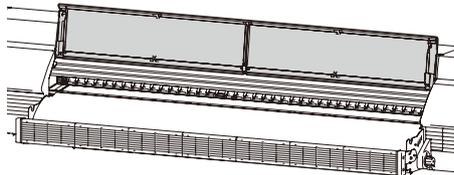
その日使い終わったら

本機は定期的に自動でメンテナンス動作を行います。その日の印刷が終わっても、本機がメンテナンス動作が行えるように、以下の状態にしておいてください。

1. 電源は入れたままにしてください



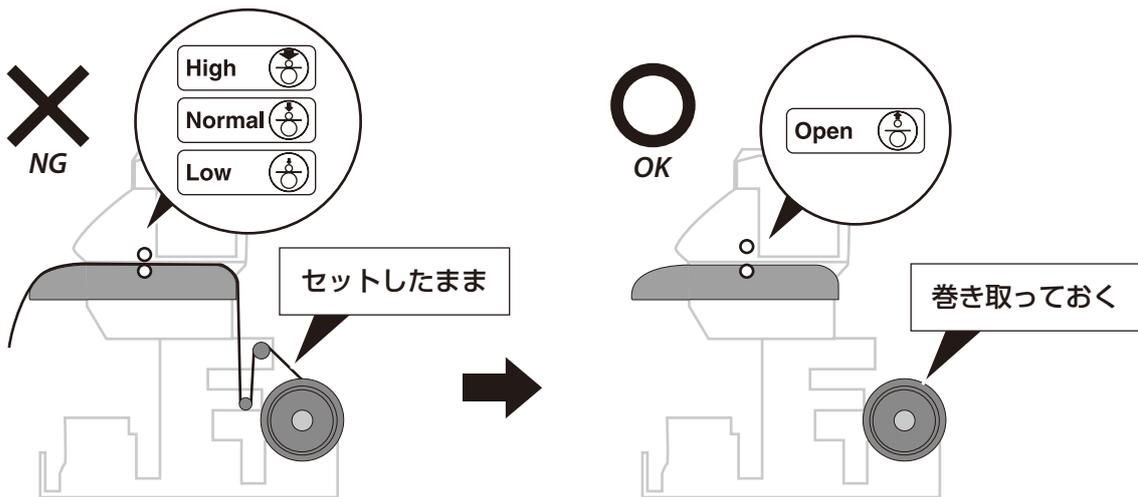
2. フロントカバーは閉じておいてください



3. メディアは巻き取っておくか、または本機から取り外してください

メディアを長時間セットしたままにしておくと、プラテン上でしわになったり、グリップ痕が付くことがあります。メディアを良好な状態に保つために、以下の操作をおすすめします。

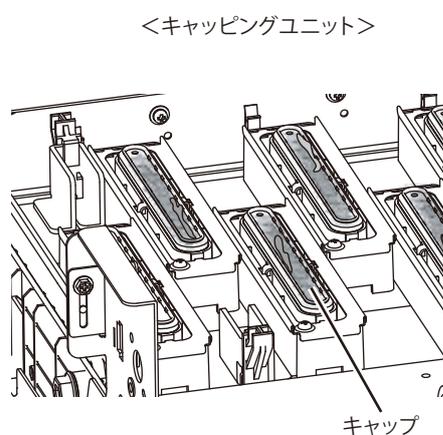
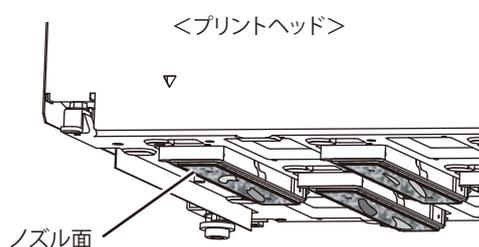
特に塩ビはシワになりやすいので、必ず巻き取った状態にしておいてください。



◆ シートマウントクリーニング

プリントヘッドのノズル面が汚れていないか確認します。汚れている場合、ヘッドクリーニングシートを使用してクリーニングを実施してください。

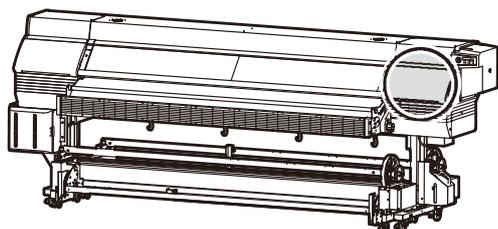
1ヶ月または、0.6 Km走行すると、実施が促されます。



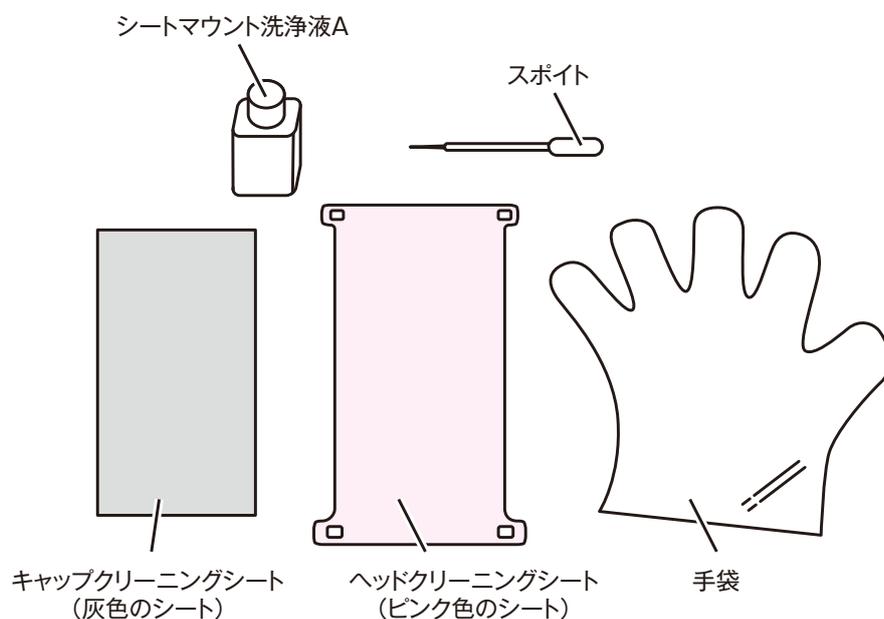
⚠ 注意

- ◆ プリントヘッドのノズル面を、クリーニング棒でこすらないでください。故障の原因となる場合があります。

■ 作業場所



■ 使用する消耗品



1 ↑インク トウロク↓
←メテ[°]ィア チョウセイ→



本機をオフラインにして、**MENU** キーを押す

2 ↑ハ[°]ックフィート[°] フィート[°] ↓
←クリーニング[°] サービ[°]ス→



> キーを押す

3 #カシマエノメンテナンス
>



✓ キーを押して「#シートマウントクリーニング」を選択する

4 #シートマウントクリーニング[°]
>



OK キーを押す

5 #シートマウントクリーニング[°]
*OK?

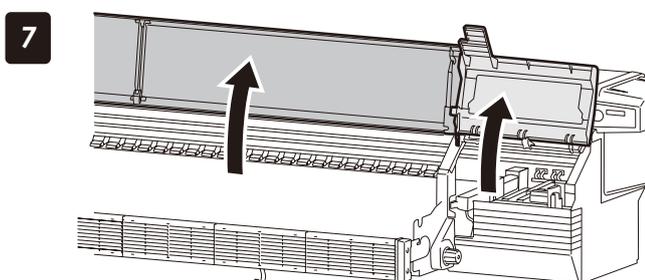


OK キーを押す

キャリッジ[°] イト[°] ウチュウ
シバ[°] ラクオマチクタ[°] サイ



6 カバーヲ アケテクタ[°]サイ

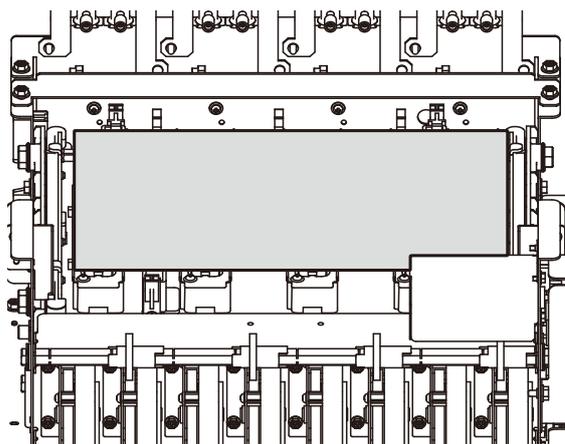


フロントカバーを開けてから、キャップカバーを開ける

8

ハイロノシートヲ
セットシテクダサイ OK?

灰色のシート（キャップクリーニングシート）
を8個のキャップが隠れるようにセットする



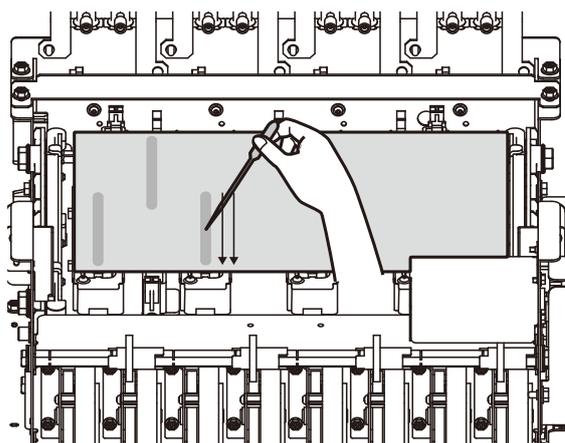
OK キーを押す

9

シートマウントセンジョウエキヲ
シートノウエニカケテクダサイ OK?

矢印に沿って1ccずつ、2回塗布する
これを各色ごとに繰り返す

スポイトの1ccの線までシートマウント洗浄液を吸
い取り、灰色のシート（キャップクリーニングシート）
に各色2ccずつ塗布します。
キャップ上を2回平行に塗布してください。



OK キーを押す

印刷する前に

印刷してみる

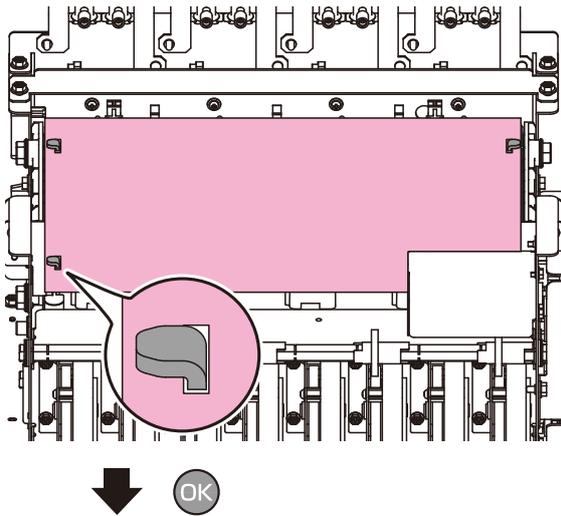
メンテナンス

こんなときには

ふろく

10

ピンクイロノシートヲ
セツシテクダサイ OK?



灰色のシートの上からピンク色のシート（ヘッドクリーニングシート）を被せ、爪に引っ掛ける

⚠注意

- ◆ しっかりと4か所のツメに引っ掛けてください。ヘッドに挟むときにめくれて正常にクリーニングを行えなくなります。4か所のツメは上図に示すようにキャッピングユニットの四隅にあります。

OK キーを押す

11

カバーヲ
シメテクダサイ



キャリッジ イト ウチュウ
シバ ラクオマチクダ サイ



移動完了

キャップカバーを閉めてから、フロントカバーを閉める

⚠注意

- ◆ 手順11までの間に何らかのエラーが発生してガイダンスが終了してしまった場合は、手順1に戻って再度、シートマウントクリーニングを実施してください。

12

シートクリーニングチュウ
ノコリシカン (H:M) Y:YY



シートクリーニング完了

⚠注意

- ◆ シートマウントクリーニングの推奨時間は1時間です。適切な時間で実施しない場合、最良なクリーニング効果が得られない場合があります。



シートクリーニングを中止する場合

◇ **CANCEL** キーを押します。

シートマウントクリーニングヲ
チュウシマスカ OK?

OK キーを押します。

14 に飛びます。

13

シートクリーニングがカンリョウシマシタ
OKボタンを押してください



キャリッジが移動しました
移動完了

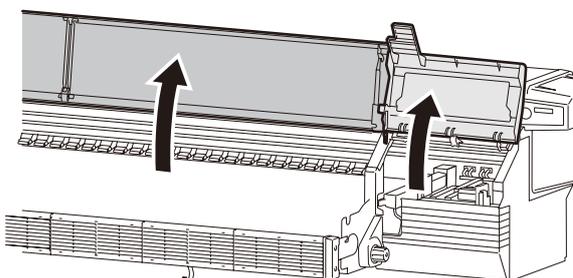


14

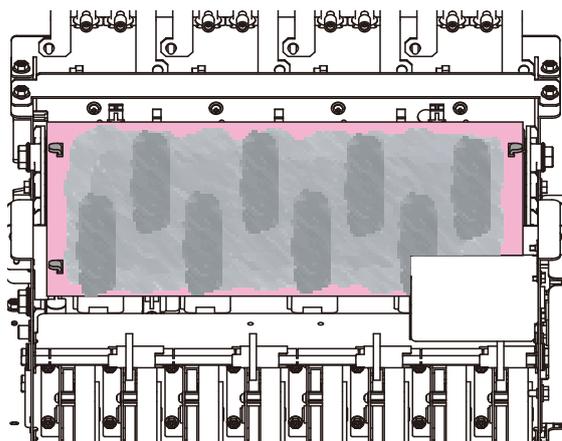
カバーを開けてください



15



フロントカバーを開けてから、キャップカバーを開ける



16

ピンク色のシート（ヘッドクリーニングシート）
を取りはずしてください OK?



ピンク色のシート（ヘッドクリーニングシート）
を取りはずし、OK キーを押す

17

灰色のシート（キャップクリーニングシート）
を取りはずしてください OK?



灰色のシート（キャップクリーニングシート）
を取りはずし、OK キーを押す

OK キーを押す

印刷する前に

印刷してみる

メンテナンス

こんなときには

ふろく

18

カバーヲ
シメテクダサイ



キャリッジ イト ウチュウ
シハ ラクオマチクダサイ



移動完了

キャップカバーを閉めてから、フロントカバーを閉める

19

クリーニングスタート
ボトルカクニン OK?



クリーニングチュウ XXXXXXXXX
シハラクオマチクダサイ ***



クリーニング完了

キーを押す

廃インクボトルを確認し、満タンでないことを確認してください。

#シートマウントクリーニング
>

シートマウントクリーニングの完了です。

注意

- ◆ ピンクイロノシートおよび、ハイイロノシートを取りはずす前に、何らかのエラーが発生して、ガイダンスが終了してしまった場合は、以下の手順に従って、シートを取りはずしてください。

1. キャリッジをメンテナンスエリアに移動します。
2. フロントカバーを開けてから、キャッピングユニットカバーを開けます。
3. キャップ上に残ったピンクイロノシート及び、ハイイロノシートを取りはずします。
4. キャッピングユニットカバーを閉めてから、フロントカバーを閉めます。
5. キャリッジがホームポジションに移動します。
6. 強力クリーニングを行ってください。
(「強力クリーニング」の方法は、応用操作ガイド 66 ページを参照してください。)

印刷する前に

印刷してみる

メンテナンス

こんなときには

ふろく



故障？と思う前に

本機の故障と思う前に、次のことを点検または確認して対処してください。

電源が入らない

点検／確認項目	対処方法
● 電源コードの接続状態	コンセントに正しく接続してください。
● コンセントへの電源供給	コンセントに電源を供給してください。 電源電圧が適正か確認してください。
● 電源スイッチのオン／オフ状態	電源スイッチをオンにしてください。 (☞ 29 ページの「● 電源をオンする」)

ヒーターをオンにしたのにペーパーガイドが熱くならない

点検／確認項目	対処方法
● プリンター本体の状態	ペーパーガイドは、印刷中、またはヒーターコントロールメニューによってヒーターがオンに設定されているときに加熱されます。画像を印刷するか、もしくはヒーターをオンに設定して、ペーパーガイドが加熱されているか確認してください。 (☞ 応用操作ガイド 69 ページの「ヒーターの設定をする」)
● コンピュータのソフト RIP の設定	ヒーターの温度設定は、コンピュータのソフト RIP から設定することも可能です。コンピュータの設定を確認してください。
● ヒーターコントロールメニュー	加熱したいヒーター（アフター／プリント／プリ）を再度オンにした後、画像を印刷するか、もしくは強制的にヒーターをオンに設定して、ペーパーガイドが加熱されているか確認してください。 (☞ 応用操作ガイド 69 ページの「ヒーターの設定をする」)
● 電源電圧の確認	AC200V に接続してください。

正常に立ち上がらない、動作しない

点検／確認項目	対処方法
● エラー LED の点灯と LCD のメッセージ表示	エラーメッセージに従って対処してください。 (☞ 116 ページの「エラーメッセージが表示されたとき」)

印刷できない

点検／確認項目	対処方法
● USB ケーブルの接続状態	USB ケーブルを正しく接続してください。 (☞ 28 ページの「● USB ケーブルを接続する」)
● エラー LED の点灯と LCD のメッセージ表示	エラーメッセージに従って対処してください。 (☞ 116 ページの「エラーメッセージが表示されたとき」)
● エラー LED 消灯	テスト用の画像を印刷してください。 (☞ 101 ページの「◆ ノズルプリントの実施チェック」) (ソフト RIP の「テストパターン」が印刷できることを確認する)
● プリントヘッドのクリーニング	プリントヘッドのクリーニングを実施してください。 (☞ 99 ページの「◆ ツウジョウクリーニングの実施」)

●故障?と思う前に／●メディアジャムの処理のしかた／●エラーメッセージが表示されたとき／●印刷中にインク切れになった場合／●スキューが検出されたとき／●警告メッセージが表示されたとき／●本機を移動させたいとき／●廃インクボトルの取り付け・交換／●インクカートリッジの装着・交換／●スピットケースの交換／●ワイパーブレードの交換

印刷する前に

印刷してみる

メンテナンス

こんなときには

ふろく

印刷を開始したのに、操作パネルに「プリヒートチュウ」と表示されたまま、なかなか印刷されない

点検／確認項目	対処方法
● 室温	室温をあげてください。(推奨温度：20～25℃)
● 風の影響	ペーパーガイドにエアコン等の風が当たっている場合は、風が当たらないようにしてください。(風向きの変更、本機の向き、配置の変更など)

送信したデータがなかなか印刷されない

点検／確認項目	対処方法
● オンラインLED(点滅しているか) コンピュータとの通信条件を確認してください。	

メディアジャム(メディア詰まり)が多発する

点検／確認項目	対処方法
● メディアの種類が合っているか	メディアの種類の設定がセットしたメディアと合っているかどうか確認してください。(☞ 50 ページの「◆このメディアで印刷したい」)
● メディアが正しくセットされているか	メディアを正しくセットしてください。 (☞ 31 ページの「●メディアを本機に取り付ける」)
● キャリッジの経路に障害物が挟まっていないか	異物を取り除いてください。 (☞ 115 ページの「メディアジャムの処理のしかた」)
● メディア搬送経路に障害物が挟まっていないか	異物を取り除いてください。 (☞ 115 ページの「メディアジャムの処理のしかた」)
● 吸着ファンの吸着力が適切か	吸着ファンの吸着力を弱くしてみてください。 (☞ 応用操作ガイド 30 ページの「◆メディアの張り付きをなくしたい」)
● ヒーター設定温度が適切か	ヒーター設定温度を下げてください。 (☞ 応用操作ガイド 69 ページの「ヒーターの設定をする」)

画質が悪い

☞ 応用操作ガイド 55 ページの「こんな症状が出たら」を参照してください。

白紙がでる

点検／確認項目	対処方法
● 印刷しているデータの確認	白紙データを送信していないか、印刷しているデータを確認してください。

印刷が遅い（キャリッジがたまにしか動かない）

点検／確認項目	対処方法
● USB 接続スピード	データの転送スピードが遅いとデータを待つためにプリントヘッドをキャップして待機します。 USB の転送スピードを確認してください。フルスピード接続の場合は、ハイスピード接続になるようにコンピュータとの接続環境を変更する事で、改善できます。 (☞ 応用操作ガイド 24 ページの「◆ USB の接続状態を確認したい」) ・ USB ケーブルを接続しなおしてください。 ・ USB2.0 のポートに接続してください。 ・ ドライバをインストールしなおしてください。 ・ USB ケーブルをハイスピード対応品にしてください。 ・ ハブを使用している場合は、ハブをハイスピード対応品にしてください。

印刷が遅い（印刷の途中で頻繁にプリントヘッドがキャップされる）

点検／確認項目	対処方法
● 高温環境	装置温度が高いと (40℃以上)、印刷速度を落として印刷します。室温を推奨温度 (20～25℃) にして1時間以上経過してから印刷してください。
● 排気ファンフィルターが汚れていないか	排気ファンフィルターを交換してください。 (☞ 74 ページの「◆ 排気ファンフィルターの交換」)
● 他に USB で大量のデータを転送する機器を接続していないか	USB で接続している他の機器をはずしてみてください。
● コンピュータのスペック	ご使用の RIP ソフトウェアの推奨動作環境を満たすコンピュータを使用してください。推奨動作環境につきましては、ご使用の RIP ソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。
● コンピュータが他の作業をしていないか	他のアプリケーションソフト (ウイルス対策ソフトなど) を終了させてください。

メニュー表示が他国語になってしまった

点検／確認項目	対処方法
● 言語設定	(MENU) キーを押しながら、電源スイッチを入れ、本機を立ち上げてください。言語設定メニューが表示されますので、表示したい言語を設定してください。

ノズル詰まりが回復できない

点検／確認項目	対処方法
● メディアの端部にほつれがない	メディアエッジガードからはみ出るようなほつれがある場合、ヘッドのノズル面にあたり、ノズル詰まりが発生する場合があります。 はさみやカッターなどで、ほつれをカットしてからメディアをセットしてください。
● PVC の糊が剥がれてメディアが浮いていない	浮いている部分は、フィードして送り出してください。
● メディアがしわになって浮いていない	吸着ファンを強に設定し、浮きを抑えてください。 プリントヒーターの温度を下げて、浮きを抑えてください。
● プラテンにメディアが貼りついて浮いていない	吸着ファンを弱または OFF にしてメディアを送れるようにしてください。 メディアオクリモードをシーケンス 2 にすると貼りつきが抑えられる場合があります。
● 日常メンテナンスの確認	日常メンテナンスを定期的に行っているか確認してください。

メディアジャムの処理のしかた

印刷する前に

印刷してみる

メンテナンス

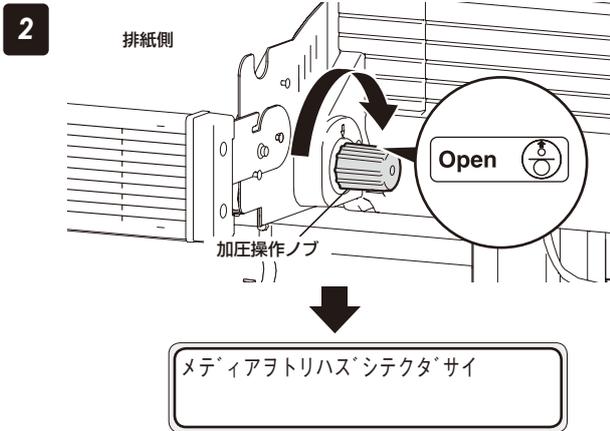
こんなときには

ふろく

1 グリッ プ カイジ ョシテ X
カバ ーヲ アケテク タサイ

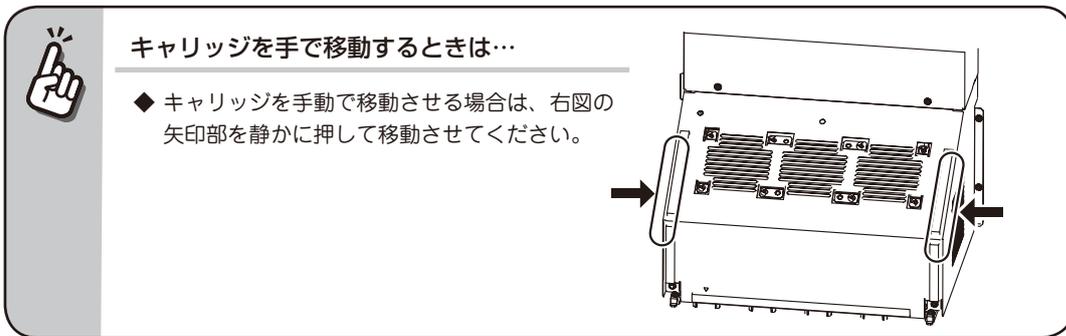
ガイダンスメッセージが表示される

X: メディアジャムの種類	意味
0: メディアジャム 0	メディア搬送経路に障害物があり、本機が正常に駆動できません。
1: メディアジャム 1	キャリッジの動作経路に障害物があり、本機が正常に駆動できません。
2: メディアジャム 2	ロールメディアとシートメディアの選択を間違えたり、規定サイズ長以外のシートメディアを使用しているため、メディアが正しく検出されていません。
3: メディアジャム 3	キャリッジの動作経路にしわ等の障害物があり、本機が正常に駆動できません。



加圧操作ノブを回し、「Open」に合わせ、フロントカバーを開ける

3 キャリッジを手で移動させてジャムをおこしたメディアを取り除き、キャリッジの動作経路およびメディア搬送経路に障害物がないことを確認する



4 キャリッジイ ドウチュウ
シバ ラクオ マチク タサイ

フロントカバーを閉める

キャリッジがホームポジションに移動します。

5 メディアをセットし直す (📖 31 ページ)

エラーメッセージが表示されたとき

エラー LED が点灯しているときは、まず LCD に表示されているメッセージを確認してください。エラーメッセージは、次に示す 2 つに分類できます。

サービスコールエラー：

ハードウェアまたはソフトウェアの故障など、オペレータ（お客様自身）が処理できないエラーです。サービス拠点にご連絡ください。

オペレータコールエラー：

オペレータ（お客様自身）が処置できるエラーです。メッセージに従って処理してください。

以降に示すメッセージは、エラーメッセージです。LCD に表示されているエラーメッセージに従って適切な処置をしてください。

◆サービスコールエラー



まずは本機の再立ち上げを

- ◆ サービスコールエラーが表示された場合は、以下の作業を行ってみてください。エラーが解除される場合があります。
 - ① 操作パネルの電源スイッチおよび本機背面のプリンター電源スイッチとヒーターパワースwitchをオフにする。
 - ② 電源コードを 2 本ともコンセントから抜く。次に、本機背面のプリンター電源インレットとヒーターパワーインレットからも、それぞれの電源コードを抜く。
 - ③ 1 分以上放置する。
 - ④ 電源コードを 2 本とも、それぞれ上記のインレットに挿し、次にコンセントに挿す。
 - ⑤ 上記すべてのスイッチをオンにする。

(システムエラー)

システムエラー nnnn
サイキト'ウシテクタ'サイ

nnnn：エラーコード

意味	対処できないエラーが発生しました。
処置	販売店または最寄りの弊社サービス拠点までご連絡ください。合わせて、表示されているエラーコードもお知らせください。



システムエラー 2e0x が表示された場合は

- ◆ 以下の作業を行うことで、一時的に本装置を使用することができます。但し、本エラーが発生した場合は、すみやかに販売店または最寄りの弊社サービス拠点までご連絡ください。

1

電源を OFF にする

2

電源を OFF して 5 秒以上経過したら、電源を ON にする

3

プリントキマ
ロール：1625/PAPER

パネル表示が左記の表示になれば、そのまま使用することができる

1日以上経過した後にクリーニングを実行すると、再度、システムエラー 2e0x が発生する場合があります

再度、システムエラーが発生した場合は、手順 1 から 3 を行うことで、継続して装置を使用することができる

⚠注意

- ◆ システムエラー 2e0x が発生した後に本装置を長期間使用し続けた場合、プリントヘッドを痛めてしまうことがあります。システムエラー 2e0x が発生した場合は、すみやかに販売店または最寄りの弊社サービス拠点までご連絡ください。

◆オペレータコールエラー

以下に示すエラーメッセージは、オペレータ（お客様自身）が処置できるエラーです。

（インク関係）

インクカバー ヲシメテタ [△] サイ	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>インクカバーが開いています。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>メッセージに従って処置してください。</td> </tr> </table>	意味	インクカバーが開いています。	処置	メッセージに従って処置してください。
意味	インクカバーが開いています。				
処置	メッセージに従って処置してください。				
インクカバー ヲアケテ XXXインクヲセットシテタ [△] サイ <small>XXX：インク色・場所</small>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>インクカートリッジが装着されていません。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>メッセージに従って処置してください。インクカートリッジが装着されているのに、本メッセージがでる場合は、装着不良の可能性があります。インクカートリッジが正しく挿入されていることを確認してください。</td> </tr> </table>	意味	インクカートリッジが装着されていません。	処置	メッセージに従って処置してください。インクカートリッジが装着されているのに、本メッセージがでる場合は、装着不良の可能性があります。インクカートリッジが正しく挿入されていることを確認してください。
意味	インクカートリッジが装着されていません。				
処置	メッセージに従って処置してください。インクカートリッジが装着されているのに、本メッセージがでる場合は、装着不良の可能性があります。インクカートリッジが正しく挿入されていることを確認してください。				
インクカバー ヲアケテ nn XXXインクヲカクニンシテタ [△] サイ <small>nn：インクエラーコード XXX：インク色・場所</small>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>インクトレイに異常が発生しました。 または、純正インクカートリッジを認識できませんでした。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>メッセージに従って処置してください。表示されているエラーコードをお手元に控えておいてください。</td> </tr> </table>	意味	インクトレイに異常が発生しました。 または、純正インクカートリッジを認識できませんでした。	処置	メッセージに従って処置してください。表示されているエラーコードをお手元に控えておいてください。
意味	インクトレイに異常が発生しました。 または、純正インクカートリッジを認識できませんでした。				
処置	メッセージに従って処置してください。表示されているエラーコードをお手元に控えておいてください。				
インクカバー ヲアケテ XXXインクヲコウカンシテタ [△] サイ <small>XXX：インク色・場所</small>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>インクがなくなりました。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>メッセージに従って処置してください。 (☞ 129 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)</td> </tr> </table>	意味	インクがなくなりました。	処置	メッセージに従って処置してください。 (☞ 129 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)
意味	インクがなくなりました。				
処置	メッセージに従って処置してください。 (☞ 129 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)				
インクカバー ヲアケテ (イロ) XXXインクヲカクニンシテタ [△] サイ <small>XXX：インク色・場所</small>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>インクカートリッジの色が間違っています。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>正しい色のインクカートリッジを装着してください。</td> </tr> </table>	意味	インクカートリッジの色が間違っています。	処置	正しい色のインクカートリッジを装着してください。
意味	インクカートリッジの色が間違っています。				
処置	正しい色のインクカートリッジを装着してください。				
インクカバー ヲアケテ (シュルイ) XXXインクヲカクニンシテタ [△] サイ <small>XXX：インク色・場所</small>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>インクカートリッジの種類が間違っています。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>正しい種類のインクカートリッジを装着してください。</td> </tr> </table>	意味	インクカートリッジの種類が間違っています。	処置	正しい種類のインクカートリッジを装着してください。
意味	インクカートリッジの種類が間違っています。				
処置	正しい種類のインクカートリッジを装着してください。				
サブ [△] タンクカバー ヲハス [△] シテ XXXサブ [△] タンクヲセットシテタ [△] サイ <small>XXX：インク色・場所</small>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>サブカートリッジが装着されていません。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>メッセージに従って処置してください。</td> </tr> </table>	意味	サブカートリッジが装着されていません。	処置	メッセージに従って処置してください。
意味	サブカートリッジが装着されていません。				
処置	メッセージに従って処置してください。				

サブ タンクカバー ヲハス シテ nn

XXXサブ タンクカクニンシテクタ サイ

nn: インクエラーコード
XXX: インク色・場所

意味	サブカートリッジに異常が発生しました。 または、純正インクカートリッジを認識できませんでした。
処置	メッセージに従って処置してください。

XXXサブ タンクヲ (イロ)

カクニンシテクタ サイ

XXX: インク色・場所

意味	サブカートリッジの色が間違っています。
処置	正しい色のサブカートリッジを装着してください。

XXXサブ タンクヲ (シュルイ)

カクニンシテクタ サイ

XXX: インク色・場所

意味	サブカートリッジの種類が間違っています。
処置	正しい種類のサブカートリッジを装着してください。

サブ タンクカバー ヲ

トリツケテクタ サイ

意味	サブカートリッジカバーがはずれています。
処置	メッセージに従って処置してください。

(廃インクボトル関係)

ホ トルガ ミソウチャクテ ス

ホ トルヲセットシテクタ サイ

意味	廃インクボトルがセットされていません。
処置	メッセージに従って処置してください。 (□ 127 ページの「廃インクボトルの交換」)

ハイインクガ イッパ イテ ス

ホ トルヲコウカンシテクタ サイ

意味	廃インクボトルがいっぱいです。
処置	メッセージに従って処置してください。 (□ 127 ページの「廃インクボトルの交換」)

(メディアジャム (メディア詰まり))

グ リップ ヲカイジ ョシテ 0

カバー ヲアケテクタ サイ

意味	メディア搬送経路に障害物があり、本機が正常に駆動できませんでした。
処置	メッセージに従って処置してください。 なお、実際にメディアジャム (メディア詰まり) が発生していない、またはメディア搬送経路に障害物がないにもかかわらず、何度も発生する場合は、サービス拠点に連絡してください。 (□ 115 ページの「メディアジャムの処理のしかた」)

グ リップ ヲカイジ ョシテ 1

カバー ヲアケテクタ サイ

意味	キャリッジの動作経路に障害物があり、本機が正常に駆動できませんでした。
処置	メッセージに従って処置してください。 なお、実際にメディアジャム (メディア詰まり) が発生していない、またはキャリッジの経路に障害物がないにもかかわらず、何度も発生する場合は、サービス拠点に連絡してください。 (□ 115 ページの「メディアジャムの処理のしかた」)

グ リップ ヲカイジ ョシテ 2

カバー ヲアケテクタ サイ

意味	ロールメディアとシートメディアの選択を間違えたり、規定サイズ長以外のシートメディアを使用したりしたために、メディアが正しく検出されませんでした。
処置	メッセージに従って処置してください。 また、設定内容の確認も行なってください。 (□ 115 ページの「メディアジャムの処理のしかた」)

グリップ ヲカイシ ヨシテ 3
カバ-ヲアケテクダサイ

意味	キャリッジの動作経路にしわ等の障害物があり、本機が正常に駆動できませんでした。
処置	メッセージに従って処置してください。 なお、実際にメディアジャム（メディア詰まり）が発生していない、またはメディア搬送経路に障害物がないにもかかわらず、何度も発生する場合は、サービス拠点に連絡してください。 (115 ページの「メディアジャムの処理のしかた」)

(メディア関係)

グリップ ヲカイシ ヨシテ
メディアヲセットシテクダサイ

意味	メディアが無くなりました。
処置	新しいメディアをセットしてください。 (31 ページの「●メディアを本機に取り付ける」)

メディアヲセットシテクダサイ

意味	メディアを確認できませんでした。
処置	メディアをセットしてください。 (31 ページの「●メディアを本機に取り付ける」)

グリップ ヲカイシ ヨシテ
メディアヲカクニンシテクダサイ

意味	無効なサイズ（104 インチ幅サイズ以上）のメディアがセットされました。
処置	正しいサイズのメディアをセットしてください。 (31 ページの「●メディアを本機に取り付ける」)

カバ-ヲアケテ
メディアヲカクニンシテクダサイ

意味	無効な厚みのメディアがセットされました。
処置	正しい厚みのメディアをセットしてください。

グリップ ヲカイシ ヨシテ
メディアヲサイセットシテクダサイ

意味	メディアのスキューが発生しました。
処置	メディアを正しくセットしなおしてください。 なお、スキューの発生状況によっては、プラテンにインクが付着している可能性があります。その場合は、プラテン上のインクをきれいに拭き取ってください。 (31 ページの「●メディアを本機に取り付ける」)

スキューヲケンシュツシマシタ
ゾッコウ/チュウシ

意味	印刷中にスキューが検出されました。
処置	印刷を続行するかまたは中止してください。

ロールエンドヲケンシュツシマシタ
ゾッコウ/チュウシ

意味	印刷中にメディアエンドが検出されました。
処置	印刷を続行するかまたは中止してください。 (応用操作ガイド 41 ページを参照してください。)

メディアノシワヲ ナオシテクダサイ
ゾッコウ/チュウシ

意味	印刷中にメディアのしわが検出されました。
処置	メディアのしわを取り除いて印刷を実行するか、または印刷を中止してください。 (123 ページの「メディアのしわが検出されたとき」)

(プリントヘッド関係)

ヘッドレイキャクチュエース
シバラクオマチクタサイ

意味	本機は安定してインクを吐出させるためにプリントヘッドの温度を監視しています。監視温度が40℃を超えると、保護装置が働き、一次停止します。
処置	環境温度を15℃～30℃にして、プリントヘッドの温度が上昇しないような環境を保ってご使用ください。

(通信関係)

USB I/F イジヨウ
I/Fセツゾクカクニン

意味	印刷データの転送中にUSB接続の異常(ケーブル切断)が検出されました。
処置	USBケーブル接続を確認してください。

データュシンイジヨウ
I/Fセツゾクカクニン

意味	印刷データの転送中にタイムアウトが発生しましたが、本機側の不具合ではないと思われます。
処置	USBケーブル接続を確認してください。

(その他)

カバー
シメテクタサイ

意味	フロントカバーが開いています。
処置	メッセージに従って処置してください。

インクガミジュウテンテス
ジュウテンシテクタサイ

意味	インク充填が終了していないのに、クリーニングや印刷が実行されました。
処置	インク充填が実施されるまでは、クリーニングや印刷は行えません。インク充填を実施してください。

マニュアル チョウセイヲ
シッコウシテクタサイ

n: エラーコード

意味	自動印刷調整を行うことができませんでした。
処置	メッセージに従って処置してください。 (応用操作ガイド 75 ページ「自動印刷調整が実行できない」を参照してください。)

カバーヲアケテスピットティングケース
トリツケテクタサイ

意味	起動時、またはカバークローズ時に、スピットケースが取り付けられていないことを検出しました。
処置	メッセージに従って処置してください。 (77 ページの「◆ キャリッジのクリーニング」)

シュウイオントイジヨウテス
セイジヨウニシテクタサイ

意味	周囲温度が本機の使用温度範囲外です。
処置	本機の使用温度範囲内(15℃～30℃)でお使いください。

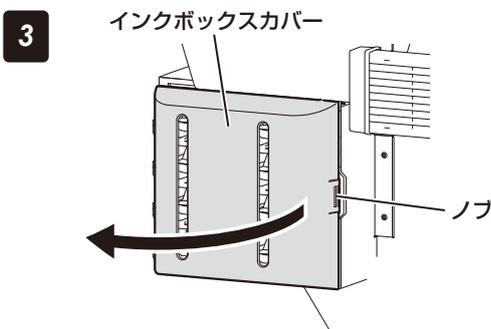
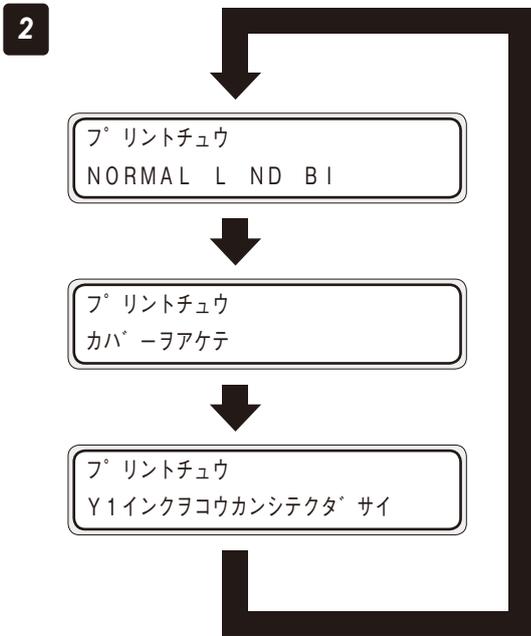
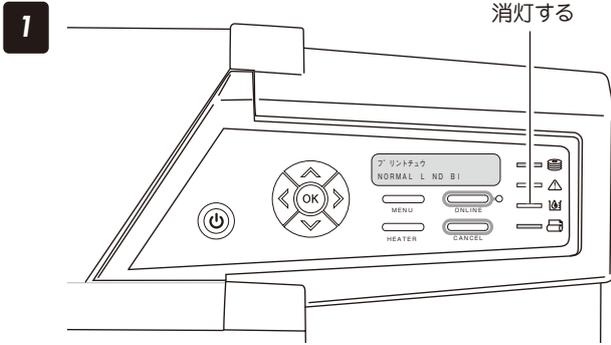
エラーガハッセイシマシタ
シバラクオマチクタサイ

意味	印刷中にエラーを検出しました。
処置	エラーメッセージに切り替わるまでしばらくお待ち下さい。 5分以上待っても表示が切り替わらない場合は、本機を再立ち上げしてください。

印刷中にインク切れになったとき

本機は、オンライン印刷中、印刷動作を中断することなくインクカートリッジを交換をすることができます。

インク切れになった場合、インク LED  が消灯します。表示されたメッセージに従って対処してください。



インクボックスカバーを開けて、インクカートリッジを交換する
( 129 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)

スキューが検出されたとき

本機は、印刷長 3 メートル毎にメディアのスキューチェックを行っています。規定以上のズレを検出した場合、プリントポーズモードになり、印刷を続行するか、または中止することを選択するための画面を表示します。

プ° リントチュウ
NORMAL L ND BI

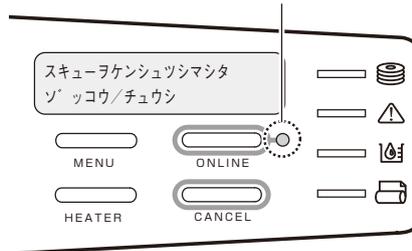


(スキューチェックの実施)

スキューラケンシュツシマシタ
ゾ° ッコウ/チュウシ

スキューを検出した場合

オンライン LED が点滅



OK キーで印刷続行



プ° リントチュウ
NORMAL L ND BI

CANCEL キーで印刷中止



ク° リップ° ヲカイズ° ヨシテ
メデ° ィアヲサイセツシテクタ° サイ



そのまま続行すると…

- ◆ 選択画面が表示されたときに「ゾッコウ」を選択すると、停止している部分から印刷を再開できます。ただし、メディアがメディアエッジガードから外れたり、メディアジャムが発生する可能性があります。また、選択画面を表示した後の印刷が長く続く場合は、メディアのズレが大きくなり、本機が故障する恐れがあるので“チュウシ”を選択することをおすすめします。

メディアのしわが検出されたとき

本機は、セーフ スキャニング システムにより、印刷中に発生するメディアのしわを検出しています。メディアのしわを検出した場合、プリントポーズモードになり、印刷を続行するか、または中止することを選択するための画面を表示します。



プリントポーズモードになるのは…

- ◆ プリントポーズモードになるのは、セーフ スキャニングの設定が、「インサツ テイシ」または、「インサツ ケイコク&テイシ」になっている場合です。

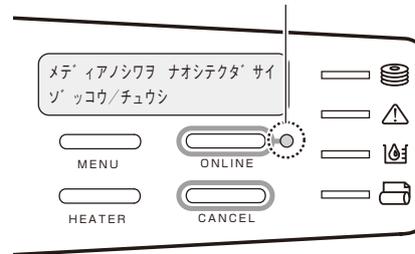
フ° リントチュウ
NORMAL L ND B I



(メディアのしわを検出した場合)

メデ° ィアノシワヲ ナオシテクダ° サイ
ゾ° ッコウ/チュウシ

オンライン LED が点滅



(印刷を続行する場合)

プリントポーズモードでは、印刷中のジョブをキャンセルすることなく、フロントカバーの開閉や加圧操作ノブの開閉を行うことができます。

印刷を続行する場合は、発生しているメディアのしわを取り除いてから、印刷を開始するようにしてください。

(印刷を中止する場合)

CANCEL キーで印刷中止



ク° リップ° ヲカイジ° ヲシテ
メデ° ィアラサイセツシテクダ° サイ



そのまま続行すると…

- ◆ 選択画面を表示したときに「ゾッコウ」を選択すると、停止している部分から印刷を再開できます。ただし、メディアのしわが大きくなり、メディアジャムが発生する可能性があります。また、選択画面を表示した後の印刷が長く続く場合は、メディアのしわが大きくなり、本機が故障する恐れがあるので“チュウシ”を選択することをおすすめします。

フロントカバーを開ける

カバ° ーヲ
シメテクダ° サイ



加圧操作ノブを回して、「Open」に合わせる



加圧操作ノブを回す際には…

- ◆ 加圧操作ノブを回す際に、メディアが外れないようにメディアを手で押さえながら操作するようにしてください。

グリップシテクタサイ



メディアのしわを直す



加圧操作ノブを回して、「Normal」に合わせる

カバーヲ
シメテクタサイ



フロントカバーを閉める

メディアノシワヲ ナオシテクタサイ
ゾ ッコウ/チュウシ

OK キーで印刷続行



プリントチュウ
NORMAL L ND BI

警告メッセージが表示されたとき

警告すべき情報がある場合、エラー LED   が点滅します。オンライン印刷終了後、以下のような警告メッセージが表示されます。

表示されたメッセージに従って適切な処置をしてください。

<p>ニチジ[®] ヨウメンテナンスヲ ジ[®] ッシテクダ[®] サイ</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>日常メンテナンス（キャップクリーニング）を実施していない場合に表示されます。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>日常メンテナンスを実施してください。 ( 60 ページの「日常メンテナンス」)</td> </tr> </table>	意味	日常メンテナンス（キャップクリーニング）を実施していない場合に表示されます。	処置	日常メンテナンスを実施してください。 ( 60 ページの「日常メンテナンス」)
意味	日常メンテナンス（キャップクリーニング）を実施していない場合に表示されます。				
処置	日常メンテナンスを実施してください。 ( 60 ページの「日常メンテナンス」)				
<p>キョウキュウホ[®] ンプ[®] ノ コウカンジ[®] キテ[®] ス</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>供給チューブポンプ ASSY の寿命が近づいてきたときに表示されます。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>サービス拠点に連絡し、供給ポンプの交換を実施してください。</td> </tr> </table>	意味	供給チューブポンプ ASSY の寿命が近づいてきたときに表示されます。	処置	サービス拠点に連絡し、供給ポンプの交換を実施してください。
意味	供給チューブポンプ ASSY の寿命が近づいてきたときに表示されます。				
処置	サービス拠点に連絡し、供給ポンプの交換を実施してください。				
<p>インクパ[®] ックヲセツシ インクキョウキュウシテクダ[®] サイ</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>インク初期充填後にインクトレイからのインク供給が完了していません。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>インクカートリッジを用意し、「インクキョウキュウ」を実行してください。</td> </tr> </table>	意味	インク初期充填後にインクトレイからのインク供給が完了していません。	処置	インクカートリッジを用意し、「インクキョウキュウ」を実行してください。
意味	インク初期充填後にインクトレイからのインク供給が完了していません。				
処置	インクカートリッジを用意し、「インクキョウキュウ」を実行してください。				
<p>クリーニングノ ジ[®] ッシヲ オススメシマス</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>印刷抜けを防ぐために、クリーニングの実施をお勧めします。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>クリーニングを実施してください。</td> </tr> </table>	意味	印刷抜けを防ぐために、クリーニングの実施をお勧めします。	処置	クリーニングを実施してください。
意味	印刷抜けを防ぐために、クリーニングの実施をお勧めします。				
処置	クリーニングを実施してください。				
<p>クリーニングヲ ジ[®] ッシテクダ[®] サイ</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>次の印刷開始時にオートクリーニングが実施されます。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>クリーニングを実施してください。 あらかじめクリーニングを実施しておく、印刷開始時にオートクリーニングは実行されません。</td> </tr> </table>	意味	次の印刷開始時にオートクリーニングが実施されます。	処置	クリーニングを実施してください。 あらかじめクリーニングを実施しておく、印刷開始時にオートクリーニングは実行されません。
意味	次の印刷開始時にオートクリーニングが実施されます。				
処置	クリーニングを実施してください。 あらかじめクリーニングを実施しておく、印刷開始時にオートクリーニングは実行されません。				
<p>シートマウントクリーニングヲ ジ[®] ッシシテクダ[®] サイ</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>シートマウントクリーニングが実施されていません。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>シートマウントクリーニングを実施してください。</td> </tr> </table>	意味	シートマウントクリーニングが実施されていません。	処置	シートマウントクリーニングを実施してください。
意味	シートマウントクリーニングが実施されていません。				
処置	シートマウントクリーニングを実施してください。				
<p>ワイパーブレードヲ コウカン シテクダ[®] サイ</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>ワイパーブレードの交換時期が近づいてきたときに表示されます。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>ワイパーブレードを交換してください。</td> </tr> </table>	意味	ワイパーブレードの交換時期が近づいてきたときに表示されます。	処置	ワイパーブレードを交換してください。
意味	ワイパーブレードの交換時期が近づいてきたときに表示されます。				
処置	ワイパーブレードを交換してください。				
<p>ワイパークリーニングエキヲ コウカン シテクダ[®] サイ</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>ワイパークリーニング液の交換時期が近づいてきたときに表示されます。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>ワイパークリーニング液の交換を実施してください。</td> </tr> </table>	意味	ワイパークリーニング液の交換時期が近づいてきたときに表示されます。	処置	ワイパークリーニング液の交換を実施してください。
意味	ワイパークリーニング液の交換時期が近づいてきたときに表示されます。				
処置	ワイパークリーニング液の交換を実施してください。				
<p>オクリチョウセイヲ ジ[®] ッシ シテクダ[®] サイ</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>送り調整が実施されていません。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>送り調整を実施してください。</td> </tr> </table>	意味	送り調整が実施されていません。	処置	送り調整を実施してください。
意味	送り調整が実施されていません。				
処置	送り調整を実施してください。				
<p>オウフクチョウセイヲ ジ[®] ッシ シテクダ[®] サイ</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>往復調整が実施されていません。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>往復調整を実施してください。</td> </tr> </table>	意味	往復調整が実施されていません。	処置	往復調整を実施してください。
意味	往復調整が実施されていません。				
処置	往復調整を実施してください。				
<p>・インク LED   が点滅 :</p>	<table border="1"> <tr> <td>意味</td> <td>インク残量が少ない。</td> </tr> <tr> <td>処置</td> <td>新しいインクカートリッジを用意してください。 ( 129 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)</td> </tr> </table>	意味	インク残量が少ない。	処置	新しいインクカートリッジを用意してください。 ( 129 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)
意味	インク残量が少ない。				
処置	新しいインクカートリッジを用意してください。 ( 129 ページの「インクカートリッジの装着・交換」)				

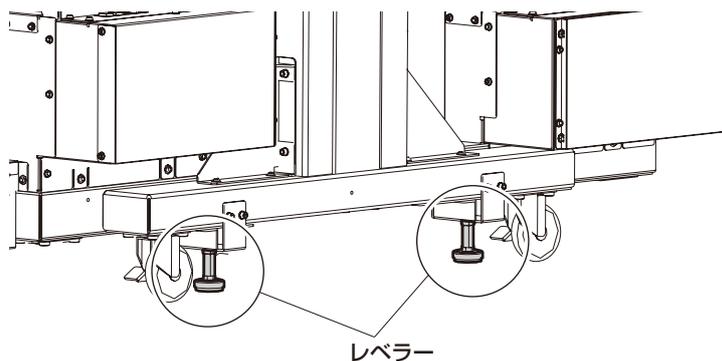
本機を移動させたいとき

本機を移動させたい場合は、販売店または最寄りの弊社サービス拠点にご連絡ください。

数メートルの平面的な移動をやむを得ず行う場合は、下記の点に注意して行ってください。

注意

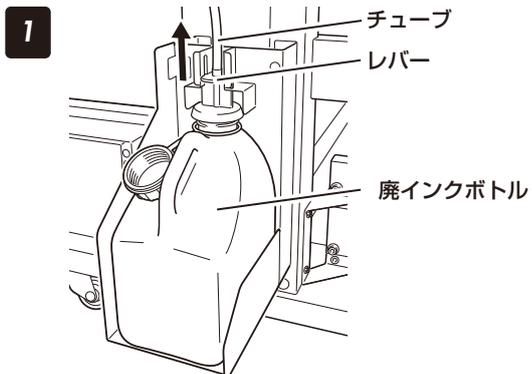
- ◆ メディアを本機に乗せたまま移動させないでください。メディアの重みで本機が破損する恐れがあります。
- ◆ 移動前に本機下のレベラーを緩め上げてください。また、移動完了後は必ずレベラーを締めて固定してください。
- ◆ 移動の際、レベラーに障害物が当たらないよう気を付けてください。



廃インクボトルの交換

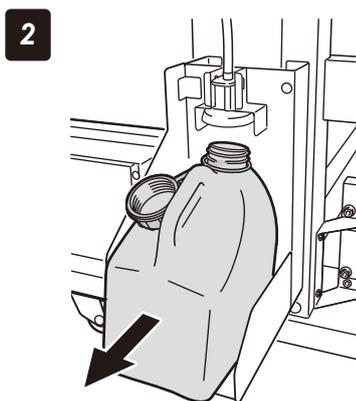
⚠注意

- ◆ 本機の動作中は廃インクボトルの交換作業を行わないでください。
- ◆ 外装カバーの上部に頭をぶつけないようにご注意ください。
- ◆ 廃インクをこぼさないよう、十分にご注意ください。
- ◆ 本作業は手袋を付けて作業してください。

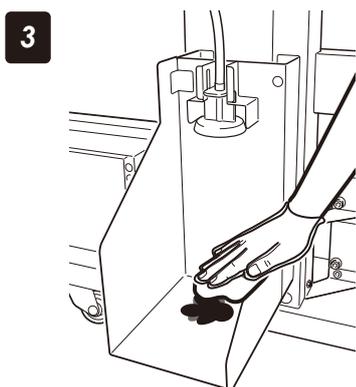


レバーを上スライドさせ、キャップ全体を持ち上げる

チューブからインクがたれますので、しばらくそのままの状態待ちます。

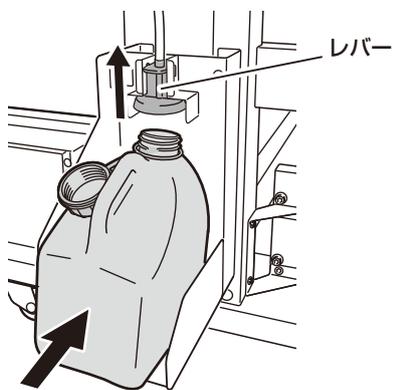


一杯になった廃インクボトルをユニットから外す
付属のキャップでふたをして新品と交換します。



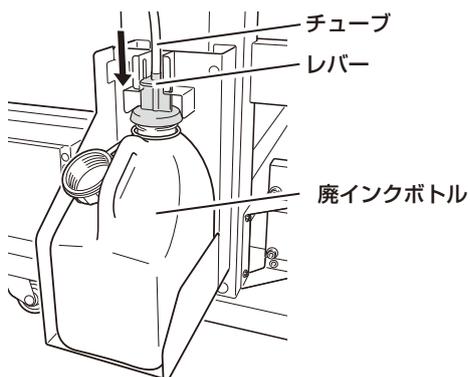
廃インクボトルユニット中のこぼれたインクを拭き取る

4



レバーを上スライドさせ、新しい廃インクボトルをセットする

5



レバーを下げる

6



「* YES」を選択し、OK キーを押す

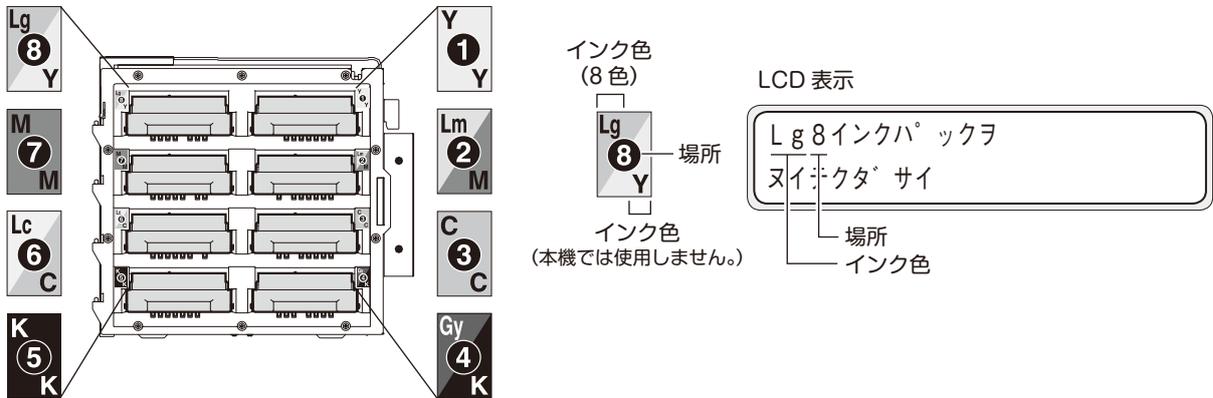


ハイインクカウンターリセットをしないと…

◆ 廃インクが一杯になっても交換メッセージが表示されず、廃インクが溢れてしまいます。

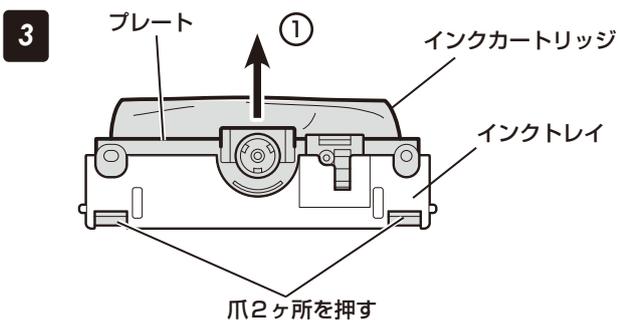
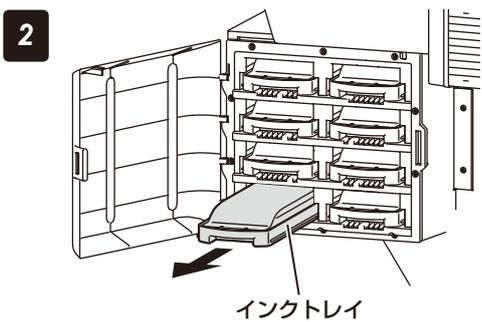
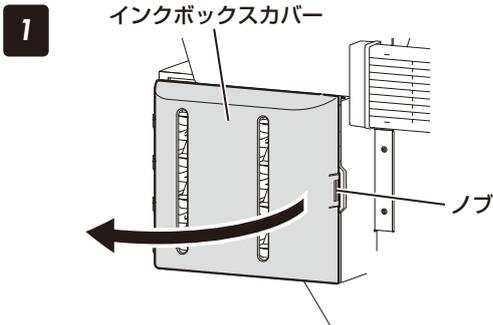
インクカートリッジの装着・交換

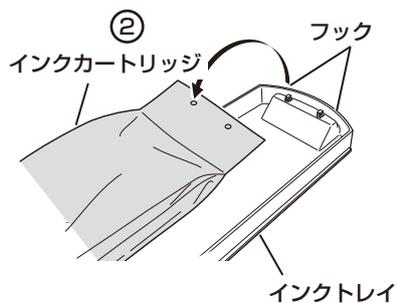
インクトレイは色ごとに装着位置が決まっています。必ず所定のスロットに差し込んでください。



注意

- ◆ 次の状態ではインクトレイを抜かないでください。本機の状態によっては、インクが本機内部にこぼれて故障の原因となる場合があります。
 - ・ 停電やプリンターブレーカオフなどで、本機に電源が入っていない場合。
 - ・ インクエンド以外のエラーが発生している場合。
- ◆ インクカートリッジのプレート内の接点には触れないでください。

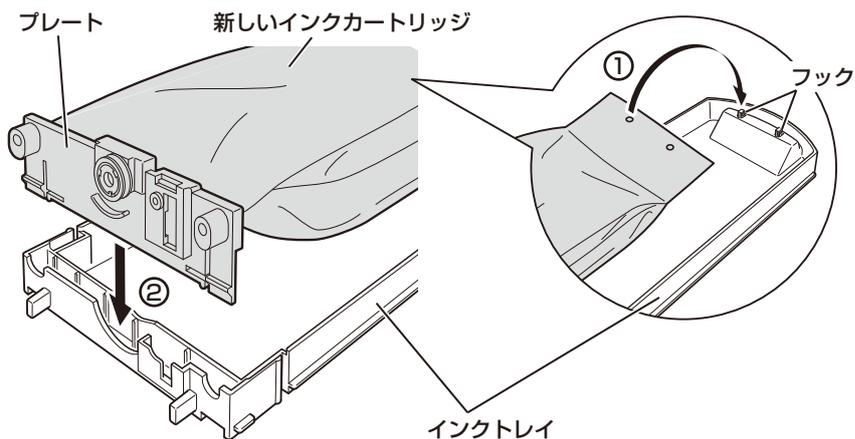




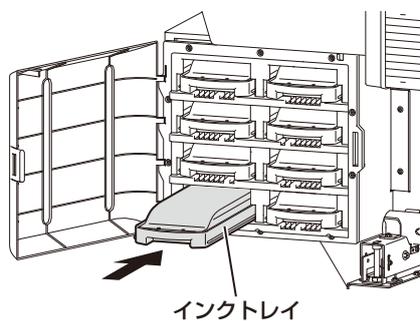
② インクトレイのフックからインクカートリッジを外します。

4 新しいインクカートリッジを箱から取り出し、インクトレイにセットする

インクカートリッジの穴（末端部の2ヶ所）をインクトレイのフック（2ヶ所）に引っ掛けます（①）。その後、プレート（インクカートリッジの裏面）をインクトレイに、カチッと音がするまで差し込みます（②）。



5

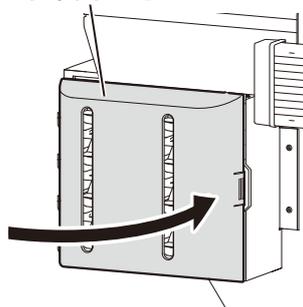


インクトレイをインクボックスのロットに差し込む

奥までしっかりと差し込んでください。

6

インクボックスカバー



インクボックスカバーを閉める

7

交換終了

- ・ 正常に終了した場合は、オンラインの状態、またはオフラインの状態に戻ります。
- ・ 正常に終了しなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。
- ・ 手順 1 に戻ってやり直してください。
- ・ インク交換中でも、サブカートリッジ内にインクが残っている間は印刷します。

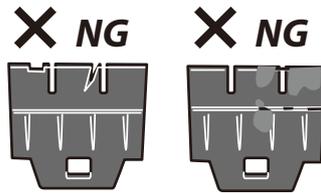
ワイパーブレードの交換

「ワイパーブレードの交換手順」について説明します。

ワイパーブレードは、毎日の点検でワイパーブレードに傷がついている場合、およびプリンターの交換メッセージが表示された場合に交換します。

ワイパーブレードがこのような状態になったら以下の手順に従って交換してください。

交換の際は、2枚のブレードを交換してください。



交換作業前に、あらかじめピンセットを用意してください。（日常メンテナンスキットに同梱されています。）

- ↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→

↓ MENU
 - ↑バックフィード フィード ↓
←クリーニング サービス→

↓ >
 - #カシマエノメンテナンス
>

↓ v
 - #ワイパーブレードコウカン
>

↓ OK
 - #ワイパーブレードコウカン
*OK?

↓ OK
 - キャリッジ イト ウチュウ
シバ ラクオマチクダ サイ

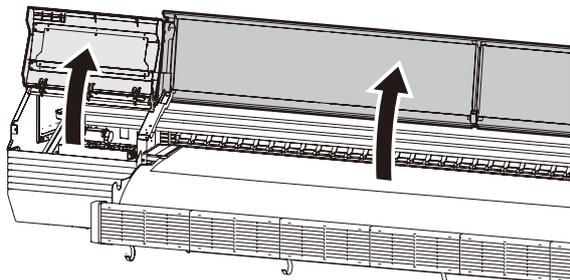
↓
- 本機をオフラインにして、**MENU** キーを押す
- > キーを押す
- v キーを押して「#ワイパーブレードコウカン」を選択する
- OK キーを押す
- OK キーを押して、実行を開始する
- 中止する場合は、**CANCEL** キーを押します。

7

カバーアケテクト サイ

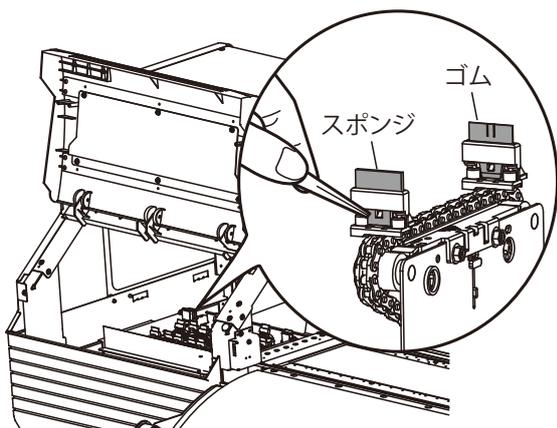


8



フロントカバーを開けてから、ワイプカバーを開ける

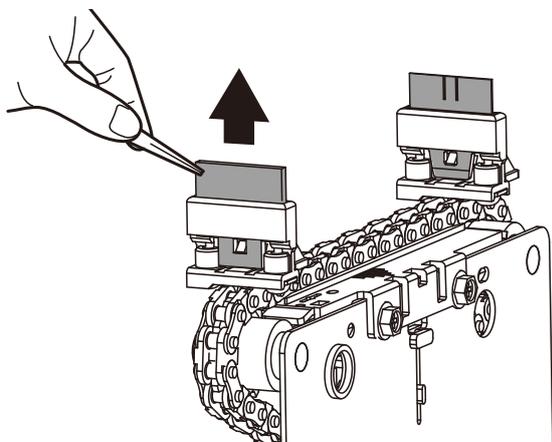
9



ワイパーブレードの下の縁をピンセットで挟み、プラスチックの突起部分の引っかかりを外す

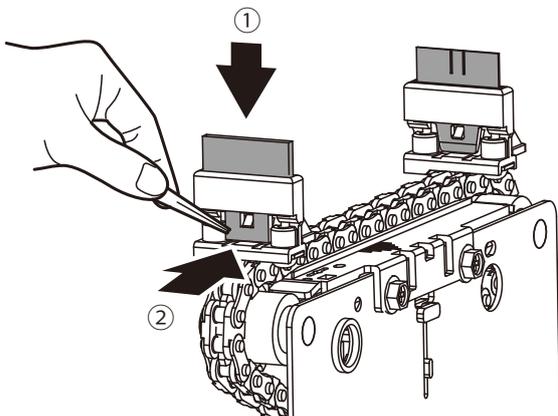


10



上に持ち上げるようにしてワイパーブレードを抜取る

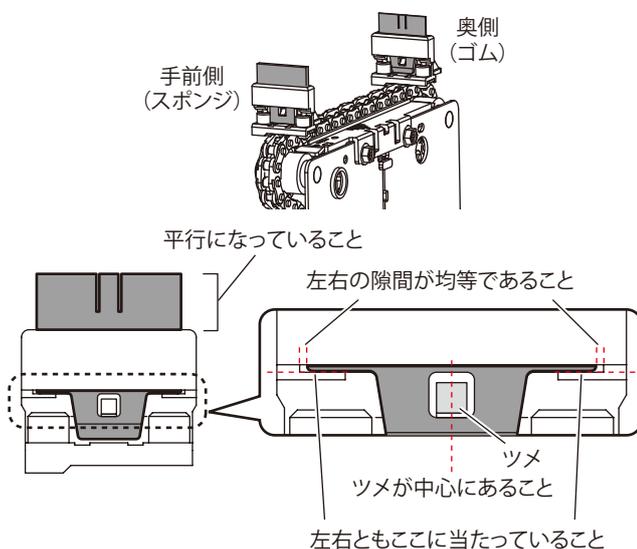
11



新しいワイパーブレードをピンセットで挟んで上からまっすぐ差し込み、ゴム部分の穴にプラスチックの突起部分が引っかかるように取り付ける

⚠ 注意

- ◆ キャップカバーを閉める時は、ストッパーを外してから閉めてください。ストッパーを外さずに閉めようとすると、ストッパーが曲がったり、キャリッジに接触して故障の原因となる場合があります。



12

ワイパーブレードの交換が完了しました
YES: OK / NO: CANCEL



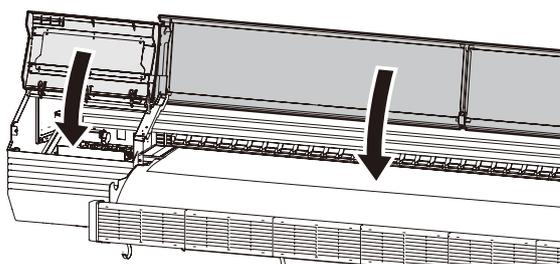
OK キーを押す

13

カバー
シメテクダサイ



14



ワイパーカバーとフロントカバーを閉める

⚠ 注意

- ◆ ワイパーカバーを閉める時は、ストッパーを外してから閉めてください。ストッパーを外さずに閉めようとすると、ストッパーが曲がったり、キャリッジに接触して故障の原因となる場合があります。

15

キャリッジ イト ウチュウ
シハ ラクオマチクダ サイ

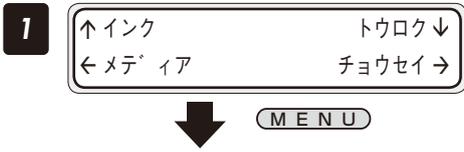


移動完了

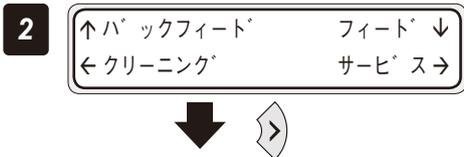
#ワイパープレートコウカン
>

ワイパークリーニング液の交換

ワイパークリーニング液は、プリンターの交換メッセージが表示された場合に交換します。
ワイパークリーニング液の交換周期は目安として約6ヶ月です。



本機をオフラインにして、**MENU** キーを押す



> キーを押す



✓ キーを押して「#ワイパークリーニングエキコウカン」を選択する

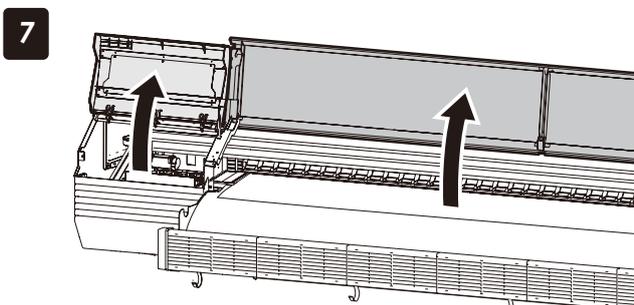


OK キーを押す



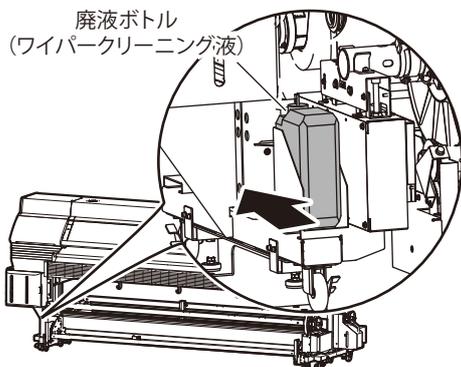
OK キーを押して、実行を開始する

中止する場合は、**CANCEL** キーを押す。



フロントカバーを開けてから、ワイプカバーを開ける

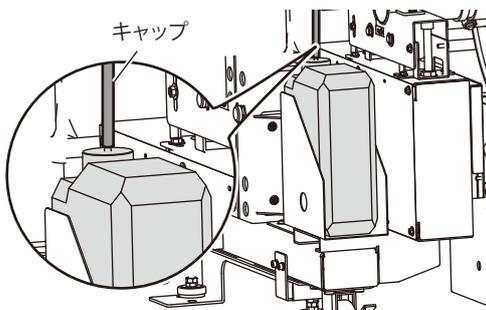
8



新品の廃液ボトル（ワイパークリーニング液）がセットされていることを確認する
 セットされていない場合は、廃液ボトル（ワイパークリーニング液）のキャップを外し、ユニットにセットする



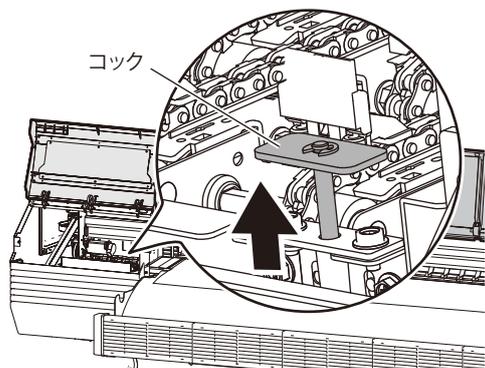
キャップ



⚠ 注意

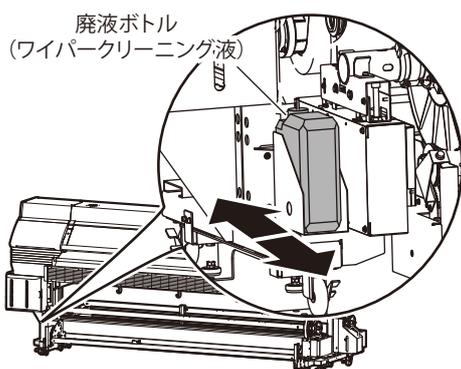
- ◆ チューブ付きのキャップを廃液ボトル（ワイパークリーニング液）にしっかりと被せてください。

9



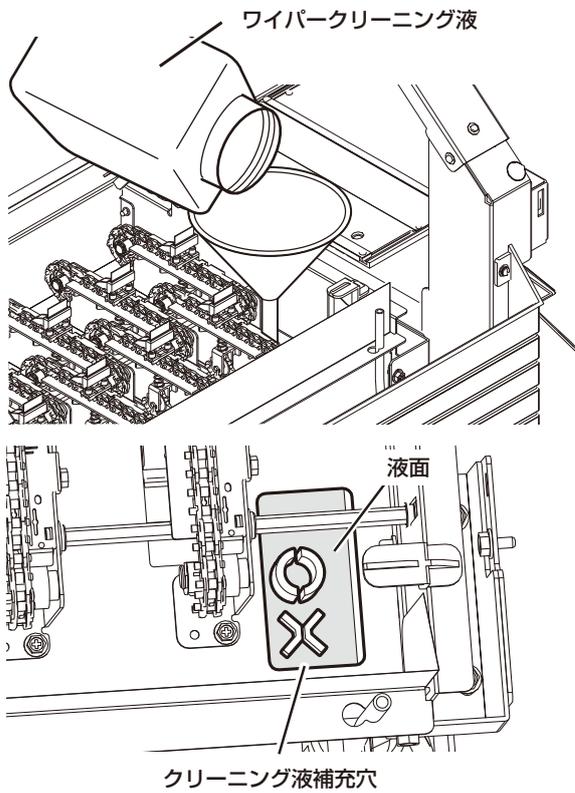
コックを矢印方向に引っ張ると、ワイパークリーニング液が廃液される
 ワイパークリーニング液が完全に廃液されるまで実施する

10



ワイパークリーニング液が完全に廃液されたことを確認した後に、廃液ボトル（ワイパークリーニング液）をユニットから外して新品と交換する。

11



ワイパークリーニング液を補充する

“○” マーク上面より上にならない範囲で補充します。

12

ワイパーエキコウカン カンリョウ?
YES: OK/NO: CANCEL



ワイパークリーニング液の交換が完了したら

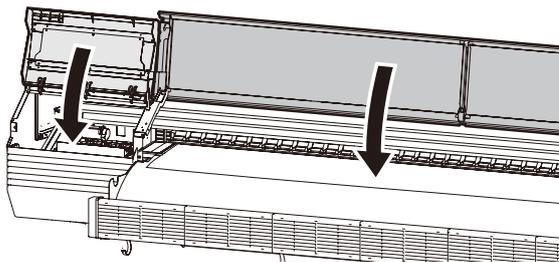
OK キーを押す

13

カバーヲ
シメテクダサイ



14



ワイプカバーとフロントカバーを閉める

⚠️ 注意

◆ ワイプカバーを閉める時は、ストッパーを外してから閉めてください。ストッパーを外さずに閉めようとする、ストッパーが曲がったり、キャリッジに接触して故障の原因となる場合があります。

15

キャリッジ イド ウチュウ
シハ ラクオマチクダサイ

↓ 移動完了

#ワイパークリーニングエキコウカン
>



基本仕様

項目	仕様 / 機能
	IP-7900-22/23
記録方式	ピエゾ式カラーインクジェット記録方式
解像度	(主走査方向) × (副走査方向) 360dpi × 360dpi × DDP、360dpi × 540dpi × DDP、 540dpi × 540dpi × DDP、720dpi × 720 dpi、900dpi × 900dpi
記録速度	17.6m ² /h 104 インチ幅、12 パス (標準モード) (環境温度およびヘッド温度により変わります)
給紙 / 排紙方向	背面給紙、前面排紙
メディアの種類	塩ビ / ターポリン / メッシュターポリン / 電飾ターポリン (FF) / ソルベント用コート紙
メディア幅	最大 104 インチ (2642mm)
インクカートリッジ	一般溶剤インク (8 色) (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、グレイ、ライトグレイ) 各 1500ml
インタフェース	USB2.0
騒音	待機時 : 50dB (A) 以下 動作時 : 60dB (A) 以下 (連続音) 給紙、巻き取りモーター音、インク供給中を除く
発熱量	15552KJ/H
作図保証領域	両端部から 5mm を除く部分 (エッジガード使用時は 10mm)
電源定格	プリンター電源 : 6A AC200V - AC240V 50Hz/60Hz ヒーター電源 : 12A AC200V - AC240V 50Hz/60Hz
電源入力範囲	プリンター電源 : AC180V - AC260V 50Hz/60Hz ± 1Hz ヒーター電源 : AC180V - AC260V 50Hz/60Hz ± 1Hz
消費電力	プリンター電源 : 1440W 以下 ヒーター電源 : 2880W 以下
外形寸法	4126mm (W) × 1366mm (D) × 1513mm (H) ± 10mm
質量	600kg 以下 (ロールメディアおよびインクは含みません)
印刷保証範囲	20 ~ 25°C / 40 ~ 60% RH (ただし結露しないこと)
動作時温度 / 湿度範囲	15 ~ 30°C / 30 ~ 70% RH (ただし結露しないこと)
休止時、長期保存温度 / 湿度範囲	5 ~ 35°C / 10 ~ 80% RH 以下 (ただし、結露しないこと)
設置スペース	4926mm 以上 (W) × 3366mm 以上 (D) × 2200mm 以上 (H)
保守スペース	7126mm 以上 (W) × 3366mm 以上 (D) × 2200mm 以上 (H)

消耗品

印刷する前に

印刷してみる

メンテナンス

こんなときには

さく

インクカートリッジ

【8色用インク】1本入り箱

品番	インク色	インク容量
IP6-221	Y (イエロー)	1500 ml
IP6-222	M (マゼンタ)	1500 ml
IP6-223	C (シアン)	1500 ml
IP6-224	K (ブラック)	1500 ml
IP6-225	Lc (ライトシアン)	1500 ml
IP6-226	Lm (ライトマゼンタ)	1500 ml
IP6-227	Gy (グレイ)	1500 ml
IP6-228	Lgy (ライトグレイ)	1500 ml

地域毎に型番が異なることがあります。詳細は、販売店にお問合せ下さい。

警告

- ◆ インクには、絶対に火気を近づけないでください。火災の危険があります。
- ◆ インクは飲んだり、目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず直ちに医師の手当てを受けてください。

注意

- ◆ 弊社指定のインクカートリッジ以外は絶対に使用しないでください。本機の故障の原因となります。
- ◆ インクの有効期間は、製造日より18ヶ月です。
- ◆ インクカートリッジは、使用前に振ったりしないでください。
- ◆ インクカートリッジをインクトレイにセットし、8スロット全てに装着してください。交換などで取り外した後は、必ず新しいものを装着してください。

廃インクボトル

品番	内容物	容量
IP6-109	廃インクボトル	1個

廃液ボトル (ワイパークリーニング液)

品番	内容物	容量
IP5-299	廃インクボトル	1個

警告

- ◆ 廃インクボトルには絶対に火気を近づけないでください。火災の危険があります。
- ◆ インクは飲んだり、目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず直ちに医師の手当てを受けてください。

注意

- ◆ 廃インクボトルが一杯になったら、付属のキャップを確実に締めて産業廃棄物として処理してください。

日常メンテナンスキット A

品番	内容物	容量
IP7-230	キャップクリーニング液 A	300 ml
	ワイパークリーニング液 A	200 ml
	スピット液 A	100 ml
	スポイト	10個
	クリーニング棒	10本
	クリーニング棒 (大)	30本
	ピンセット	1本
	スピットケース	1個
	手袋	30個
	袋	1包

警告

- ◆ 液は、飲んだり目の中に入らないように注意してください。呼吸困難になったり、目の障害の原因となります。もし目に入った場合は、直ちに清浄な水で洗い流した後、医師の手当てを受けてください。また、誤って飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず直ちに医師の手当てを受けてください。

キャップクリーニング液 A

品番	内容物	容量
IP6-272	キャップクリーニング液 (300ml)	1本

ワイパークリーニング液セット A

品番	内容物	容量
IP7-231	ワイパークリーニング液 A (300ml)	3本
	漏斗	1個

クリーニング棒

品番	内容物	容量
IP6-147	クリーニング棒	300本
	袋	6包

クリーニング棒 (大)

品番	内容物	容量
IP7-264	クリーニング棒 (大)	120本

保管液セット A

品番	内容物	容量
IP7-237	保管液カートリッジ A	8本
	ダミーサブカートリッジ	8本

洗浄液セット A

品番	内容物	容量
IP7-236	洗浄液カートリッジ A	8本
	ダミーサブカートリッジ	8本

シートマウントクリーニングキット A

品番	内容物	容量
IP7-225	キャップクリーニングシート	12枚
	ヘッドクリーニングシート	12枚
	シートマウント洗浄液 A (100ml)	3本
	スポイト	3本
	手袋	24個

スピット液セット A

品番	内容物	容量
IP7-232	スピット液 A (300 ml)	3本

サブカートリッジ

品番	インク色	容量
IP7-211	Y (イエロー)	400 ml
IP7-212	M (マゼンタ)	400 ml
IP7-213	C (シアン)	400 ml
IP7-214	K (ブラック)	400 ml
IP7-215	Lc (ライトシアン)	400 ml
IP7-216	Lm (ライトマゼンタ)	400 ml
IP7-217	Gy (グレイ)	400 ml
IP7-218	Lgy (ライトグレイ)	400 ml

ワイパーブレード

品番	内容物	容量
IP7-233	ゴムブレード	8枚
	スポンジブレード	8枚

スピットケースセット

品番	内容物	容量
IP7-167	スピットケース	4個
	スピットユニット (2部品)	1枚
	チューブ	1本
	袋	1個

インクトレイ

品番	内容物	容量
IP7-123	インクトレイ	1個

手袋セット

品番	内容物	容量
IP7-138	手袋	100個

吸収スポンジ (オプション「メッシュ印刷キット」用)

品番	内容物	容量
IP7-127	吸収スポンジ	10個

吸収シート (オプション「メッシュ印刷キット」用)

品番	内容物	容量
IP7-124	吸収シート	1巻

排気ファンフィルター

品番	内容物	容量
IP7-028	排気ファンフィルター	60枚

ダストフィルター

品番	内容物	容量
IP7-027	ダストフィルター	1ロール

オプション

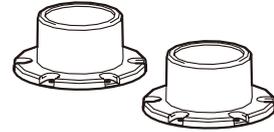
エキゾーストアタッチメント (IP7-013)

本機に排気ダクトを取り付けるためのユニットを、オプションとして用意しています。

推奨の風量は以下の通りです。

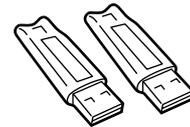
1.2 ~ 1.8CMM (風速 3.0-4.5m/秒)

*CMM = Cubic meter per minutes



PS RIP (GamaPrint Pro OKI Edition)(IP-560)

IP-7900-22/-23 専用 RIP ソフトウェアをオプションとして用意しています。

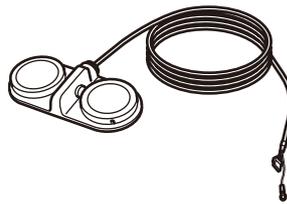


メッシュ印刷キット (IP7-011)

メッシュターポリン (ライナーなし) を印刷するときを使うキットです。

フットスイッチ (IP7-014)

給紙装置、巻き取り装置の巻き取りスイッチ、送り出しスイッチの機能を足で操作できるスイッチを用意しています。



(巻き取り装置に接続したフットスイッチ)

- ・ 内巻き／外巻きの設定は、プリンターの巻き取り装置の巻き取り方向スイッチで設定します。
- ・ フットスイッチの黒スイッチは、プリンター巻き取り装置の巻き取りスイッチ (黒) と同じ機能です。メディアを巻き取り用のスクローラに巻き取りたいときに黒スイッチを踏んでください。
- ・ フットスイッチの白スイッチは、プリンター巻き取り装置の送り出しスイッチ (白) と同じ機能です。メディアを巻き取り用のスクローラから送り出したいときに白スイッチを踏んでください。

(備考)

- ・ フットスイッチを取り付けても消費電力は増加しません。

⚠️ 注意

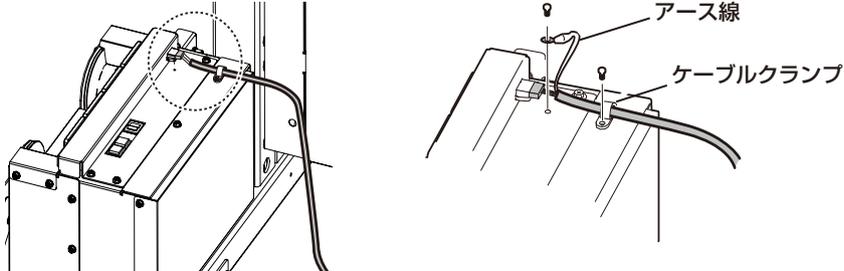
- ◆ 湿気の多い場所や水分のかかる可能性のある場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- ◆ 濡れた手で本ユニットを接続したり外したりしないでください。故障の原因となります。
- ◆ インクが本ユニットに付着した場合は、すみやかに拭き取ってください。そのまま放置すると、表面が溶けてしまう可能性があります。
- ◆ 本ユニットを接続するときや外すときは、コネクタ部を持ってください。コードを引っ張ると、断線やコネクタ接触不良の原因となります。
- ◆ アース線は必ず接続してください。接続しないとノイズによる誤動作や故障の原因となります。
- ◆ フットスイッチを強く踏みつけないでください。スイッチ部の故障の原因となります。
- ◆ フットスイッチの接続ケーブルの上に物を置かないでください。断線等の故障の原因となります。

■ 取り付け方

⚠ 注意

◆ フットスイッチを取り付ける時は、あらかじめプリンターの電源スイッチをオフにしておいてください。

フットスイッチのコネクタを巻き取り装置のコネクタ部分に差し、アース線をネジ止めします。
装置に付いているケーブルクランプのネジをゆるめて外し、ケーブルをはさんで元の位置に固定します。



スクローラ (IP7-015)

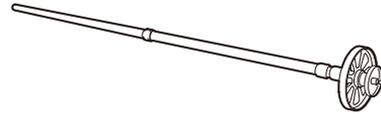
給紙装置、巻き取り装置に共通で使えるスクローラです。

テンショナー 104(IP7-023)

2類ターポリンを印刷するときに使うキットです。

オフセットローディングキット 104(IP7-025)

メディアをワイプよりにずらしてセットするときに使うキットです。



サービス拠点

故障・保守サービスについては、サービス拠点または販売店にお問い合わせください。

<https://www.oki.com/jp/printing/support/otoiawase/repair/index.html>

◆本機に関するお問い合わせ

本機に関するお問い合わせは、弊社営業までご連絡ください。

株式会社沖データ

◇国内営業本部

〒108-8551

東京都港区芝浦4-11-22 (OKI ビジネスセンター 1 号館)

TEL : 03-6453-7534

◇ホームページアドレス

<https://www.oki.com/jp/printing/>

印刷する前に

印刷してみる

メンテナンス

こんなときには

はるく

索引

かな		け	
あ		警告メッセージ 125	
アフターヒーター 20		さ	
い		サービスコールエラー 116	
インクカートリッジ 139		サブカートリッジ 19, 140	
インクトレイ 19, 140		サブカートリッジカバー 18	
インクボックスカバー 18		し	
インクカートリッジの交換 129		シャフト押さえ 18	
え		仕様 138	
エキゾーストアタッチメント 141		使用環境 17	
エラーメッセージ 116		消耗品 139	
塩ビ 23, 50		す	
お		スキュー 122	
オフライン 21		スピットケース 19	
オペレータコールエラー 116		スピットケースセット 140	
オンライン 21, 22		スピット液セット 140	
送り出し/巻き戻しスイッチ 18		スピット液の補充 81	
か		スクローラ 142	
加圧操作ノブ 18, 34		せ	
外装のクリーニング 79		洗浄液セット 140	
き		設置スペース 16	
キー 20		そ	
キャスト 18		操作パネル 18	
キャッピングユニット 19		ソルベント用コート紙 23, 50	
キャッピングユニットのクリーニング 89, 92, 95		た	
キャップカバー 18		たるみ巻き 52	
キャップクリーニング液セット 140		ターポリン 23	
キャップ側 12		つ	
キャリッジ 19		ツウジョウクリーニング 99	
吸収シート 140		て	
吸収スポンジ 140		テンションバー 18	
く		テンションバーガイド 18	
クリーニング棒 140		テンションバーの長さ調整 37	
クリーニング棒 (大) 140		手袋セット 140	

電源コード	29
電飾ターポリン (FF)	23, 50

に

日常メンテナンス	60
日常メンテナンスキット	139

の

ノズルプリント	101, 103
---------	----------

は

廃インクボトル	139
廃インクボトルの交換	127

ひ

ヒータパワーインレット	29
ヒータパワースイッチ	29
ヒーター	20

ふ

プラテン	19
フランジ押さえ	18
プリヒーター	20
プリンタ電源インレット	29
プリンタ電源スイッチ	29
プリントヒーター	20
フロントカバー	18
フットスイッチ (IP7-014)	141

ほ

保守スペース	16
防護バー	18
保管液セット	140

ま

巻き取り方向スイッチ	18
------------	----

め

メディアエッジガード	19, 36
メディアエッジガードの清掃	83
メディアジャム	113, 115
メディアの印刷可能領域	11

メディアの取り外し	44
メディア乾燥ファン	18
メッシュターポリン	23, 50
メッシュ印刷キット (IP7-011)	141

り

両面印刷	56
------	----

わ

ワイパークリーニング液セット	140
ワイパーブレード	140
ワイパーブレードの汚れチェック	66, 67, 68, 71, 74, 85, 87

ワイプカバー	18
ワイプユニット	19
ワイプ側	12

アルファベット

L

LCD	20
LED	20

U

USB ケーブル	28
USB コネクタ	18

